

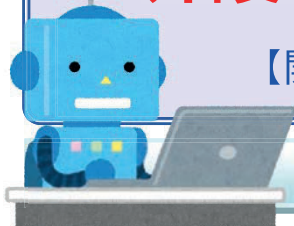
厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

参加費無料

介護ロボット全国フォーラム

令和7年
1/31(金)
11:00~16:30

【開催場所】TOC有明4階コンベンションホール



～ 開催のご案内 ～

テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上を考えよう

「介護ロボット全国フォーラム」は、既に商品化あるいは、近々商品化を予定している介護ロボット等のデモンストレーションをする機会を設けるとともに、厚生労働省と経済産業省が連携して行う介護ロボットに係る各種事業の進捗報告を行い、さらには開発・普及に向けた先駆的な取組事例の紹介等を行います。

高齢者や障害者の在宅および施設サービスに従事される方は勿論のこと、地域で普及を目指す行政の方々、この分野への新規参入や機器開発を検討されている企業・研究機関の皆様におかれましては、是非ともご参加いただければ幸いです。

最新機器の体験やデモを可能とする会場開催を基本としますが、シンポジウムにつきましては、会場での視聴と合わせて、オンラインによるリアルタイム配信も行います。

1. 開催日・場所

開催日	時間	開催場所
令和7年1月31日 (金)	11:00~16:30	TOC有明(東京都江東区有明) ※別添参照 4階コンベンションホール WEST・EASTホール https://www.toc.co.jp/saiji/ariake/

※シンポジウムは、オンラインによるリアルタイム配信も行います。(アーカイブ視聴は予定しておりません。)

2. 参加費(会場・オンライン)

無料

3. 内容「別紙」のとおり

4. 参加申込みの方法

○テクノエイド協会のホームページより、事前登録をお願いします。
会場へお越しの方は、QRコードが入場の際に必要なになります。



テクノエイド協会ホームページ: https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab40_detail

5. 参加人数

- 会場参加 1,000名(先着順)
- オンラインによる視聴 最大1,000名
ウェビナーを予定していますが、定員オーバーの場合には、
視聴できませんのでご容赦ください。

6. 事務局

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東・松本・美和・五島(ごしま)
162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
電話番号 03(3266)6883 / Eメール robocare@techno-aids.or.jp



介護ロボット全国フォーラム ～開催プログラム～

10:30 受付開始

11:00 開場

WESTホール 最新機器の展示、体験、デモ、相談 (11:00-16:30)

高齢者や障害者の自立や介助、介護者の業務を支援する介護ロボットを中心に、製品化された実機の展示・説明・相談ほか(40社の実機を展示)



※上記のうち出展のない分野もあります。詳しくは協会HPをご覧ください。

EASTホール シンポジウム (13:00-16:10)

介護ロボットに係る重点政策及び、事業の成果、先進事例の報告等を行います。(入退室自由)

13:00	開会 挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 常務理事 黒岩 嘉弘 司会 公益財団法人テクノエイド協会
13:10-13:50 (各20分) 行政報告	「テクノロジー等を活用した介護現場における生産性向上に関する最新動向」 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 峰村 浩司 氏 「経済産業省における福祉機器の施策動向」 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 室長 渡辺 信彦 氏
13:50-14:00	<休 憩>
14:00-14:40 (各20分) 成果報告	「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について」 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵 「介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況」 株式会社NTTデータ経営研究所 太刀川 遼 氏
14:40-14:50	<休 憩>
14:50-16:10 (各20分) 基調報告	テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上の実践 「介護施設向けタイムスタジアプリのモニター報告について」 パラマウントベッド株式会社 小林 宥華 氏 「介護施設における薬の仕分け、配薬ミス削減・生産性向上に資する製品・システムの社会実装」 エトリア株式会社 徳植 義人 氏 テクノロジーを活用した新たな介護システムの提案、事例 ※活用ミーティング推薦 「スタッフが本来の業務に集中できる環境づくりとその効果」 株式会社プレイフル ナーシングホームLiBひらか 藤井 裕太 氏 「『業務棚卸』をキーワードに介護現場の DX 化を推進する」 株式会社あきた創生マネジメント 阿波野 聖一 氏
16:10	閉会 公益財団法人テクノエイド協会

16:30 閉会

A detailed map of the Ariake area in Tokyo. The TOC Ariake is marked with a blue building icon and a red callout box labeled 'TOC有明'. The map shows the surrounding infrastructure, including the Ariake Line (りんかい線) and the Yamanote Line (山手線). Key locations labeled include Ariake Coliseum (有明コロシアム), Ariake Tennis Forest (有明テニスの森), Ariake Center Building (有明センタービル), Hotel Sunroute Ariake (ホテルサンルート有明), Ariake Front Tower (有明フロントタワー), Ariake Central Tower (有明セントラルタワー), Ariake Bay (東京ベイ), Ariake Washington Hotel (有明ワシントンホテル), Ariake Bay Side Hotel Trussardi (ホテルトラステディ東京ベイサイド), Ariake Bay Aniselle (アニセル東京ベイ), Ariake West Building (西館), Ariake East Building (東館), Ariake Big Sight Station (東京ビッグサイト駅), Ariake International Exhibition Station (国際展示場駅), Ariake Station (有明駅), and Ariake Bay Bridge (レインボーブリッジ). Walking routes are indicated by red dotted lines with arrows, showing distances of 3 minutes to International Exhibition Station and 4 minutes to Ariake Station and Ariake Big Sight Station. A compass rose is located in the bottom left corner.

東京都江東区有明3丁目5番7号
電話 03-5500-3535



りんかい線「国際展示場」駅より徒歩3分
ゆりかもめ「東京ビックサイト」駅「有明」駅より徒歩4分

首都高速湾岸線「有明」「臨海副都心」出口より約5分、同台場線「台場」出口より約5分

テクノロジー等を活用した 介護現場における生産性向上に関する最新動向

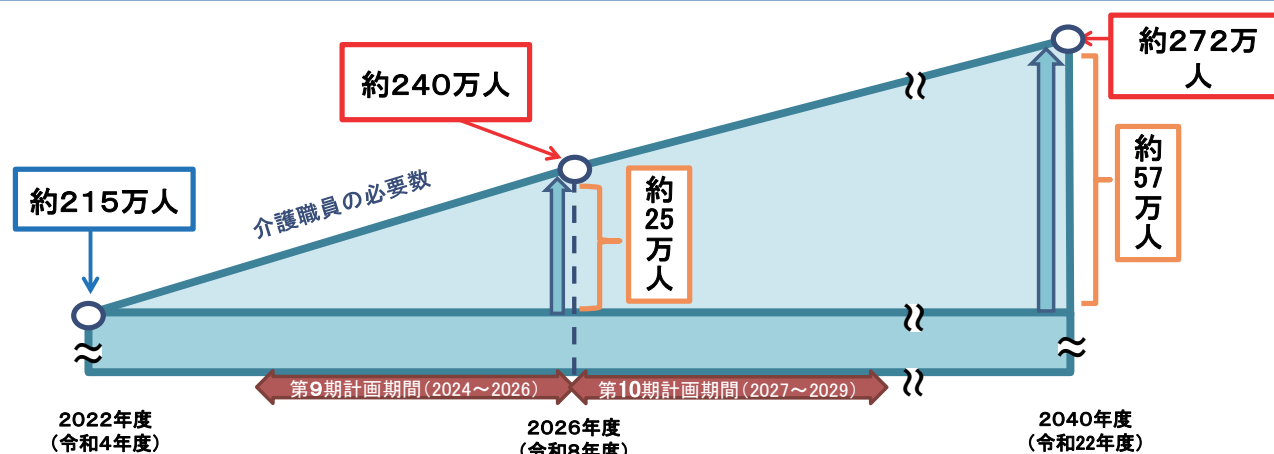
厚生労働省 老健局高齢者支援課長

峰村 浩司

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

- 第9期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、
 - ・ 2026年度には約240万人（+約25万人（6.3万人/年））
 - ・ 2040年度には約272万人（+約57万人（3.2万人/年））
 となった。 ※（）内は2022年度（約215万人）比
- 国においては、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受入環境整備など総合的な介護人材確保対策に取り組む。

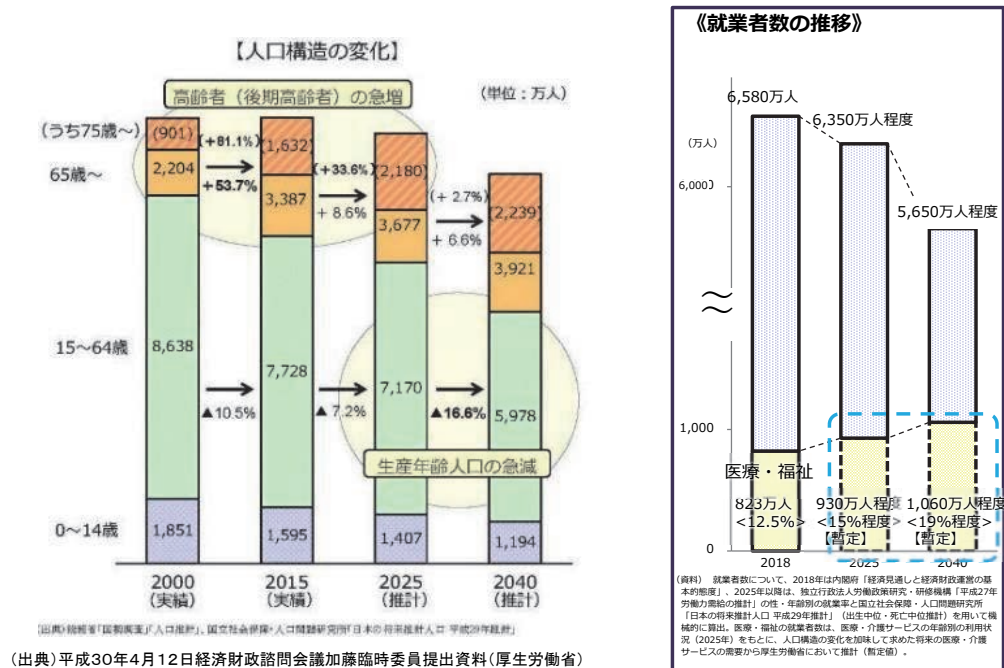


注1) 2022年度(令和4年度)の介護職員数約215万人は、「令和4年介護サービス施設・事業所調査」による。

注2) 介護職員の必要数(約240万人・272万人)については、足下の介護職員数を約215万人として、市町村により第9期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量(総合事業を含む)等に基づく都道府県による推計値を集計したもの。

注3) 介護職員の必要数は、介護保険給付の対象となる介護サービス事業所、介護保険施設に従事する介護職員の必要数に、介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員の必要数を加えたもの。

○人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化。



2

総合的な介護人材確保対策（主な取組）

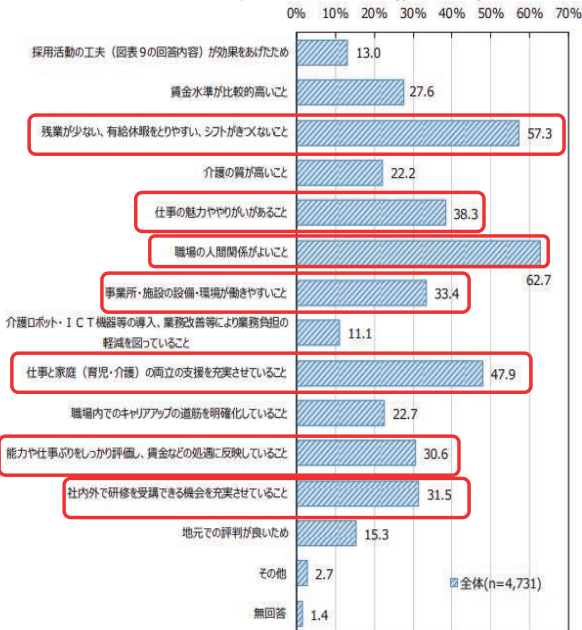
介護職員の 処遇改善	○ 介護人材の確保のため、これまでに累次の処遇改善を実施。介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算の創設・拡充に加え、介護職員の収入を2%程度（月額平均6,000円相当）引き上げるための措置を、2024年2月から5月まで実施。 ○ 令和6年度報酬改定では、以下の改正を実施。 ・ 介護職員の処遇改善のための措置をできるだけ多くの事業所に活用されるよう推進する観点から、3種類の加算を一本化。 ・ 介護現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう、加算率を引き上げ。
多様な人材 の確保・育成	○ 介護福祉士修学資金貸付、再就職準備金貸付による支援 ○ 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施から、研修受講後の体験支援、マッチングまでを一体的に支援 ○ ボランティアポイントを活用した介護分野での就労的活動の推進 ○ 多様な人材層の参入促進、介護助手等の普及促進 ○ 他業種からの参入促進のため、キャリアコンサルティングや、介護・障害福祉分野の職業訓練枠の拡充のため、訓練に職場見学・職場体験を組み込むことを要件に、訓練委託費等の上乗せ、訓練修了者への返済免除付きの就職支援金の貸付を実施 ○ 福祉系高校に通う学生に対する返済免除付きの修学資金の貸付を実施 ○ 介護施設等における防災リーダーの養成
離職防止 定着促進 生産性向上	○ 介護ロボット・ICT等テクノロジーの導入・活用の推進 ○ 令和6年度介護報酬改定による生産性向上に係る取組の推進（介護報酬上の評価の新設等） ○ 介護施設・事業所内の保育施設の設置・運営の支援 ○ キャリアアップのための研修受講負担軽減や代替職員の確保支援 ○ 生産性向上ガイドラインの普及、生産性向上の取組に関する相談を総合的・横断的に取り扱うワンストップ相談窓口の設置 ○ 悩み相談窓口の設置、若手職員の交流推進 ○ ウイズコロナに対応したオンライン研修の導入支援、介護助手としての就労や副業・兼業等の多様な働き方を実践するモデル事業の実施
介護職 の魅力向上	○ 学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進 ○ 民間事業者によるイベント、テレビ、SNSを活かした取組等を通じて全国に向けた発信を行い、介護の仕事の社会的評価の向上を図るとともに、各地域の就職相談のできる場所や活用できる支援施策等の周知を実施
外国人材の受入 環境整備	○ 介護福祉士を目指す留学生等の支援（介護福祉士修学資金の貸付推進、日常生活面での相談支援等） ○ 「特定技能」等外国人介護人材の受入環境整備（現地説明会等による日本の介護のPR、介護技能向上のための集合研修、介護の日本語学習支援、介護業務等の相談支援・巡回訪問の実施等） ○ 特定技能の受入見込数を踏まえ、試験の合格者見込数を拡充するとともに、試験の開催国を拡充

3

介護人材の確保について（採用がうまくいっている理由）

- 人材の確保について事業所側に「採用がうまくいっている理由」を尋ねたところ、最も多いのは「職場の人間関係がよいこと」であった（62.7%）。
- 次いで、「残業が少ない、有給休暇をとりやすい、シフトがきつくないこと」の 57.3%、「仕事と家庭（育児・介護）の両立の支援を充実させていること」の 47.9%、「仕事の魅力ややりがいがあること」の 38.3%、「事業所・施設の設備・環境が働きやすいこと」の 33.4%の順となった。

＜採用がうまくいっている理由（複数回答）＞



（資料出所）介護労働安定センター「令和5年度介護労働実態調査」

＜法人格別、事業所規模別採用がうまくいっている理由（複数回答）＞

法人格別	事業所規模別	回答数	採用活動の工夫（回答9の回答内容）が効果があがった理由	賃金水準が比較的高いこと	残業が少ない、有給休暇をとりやすい、シフトがきつくないこと	介護の質が高いこと	仕事の魅力ややりがいがあること	職場の人間関係がよいこと	事業所・施設の設備・環境が働きやすいこと	介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っていること	仕事と家庭（育児・介護）の両立の支援を充実させていること	職場内でのキャリアアップの道筋を明確化していること	能力や仕事をしっかりと評価し、賃金などの処遇に反映していること	社内外で研修を受講できる機会を充実させていること	地元での評判がよいこと	その他	無回答
全体	全体	4,731	13.0	27.6	57.3	22.2	38.3	62.7	33.4	11.1	47.9	22.7	30.6	31.5	15.3	2.7	1.4
民間企業	4人以下	3,045	12.5	27.8	58.3	22.3	38.9	64.6	32.7	10.5	46.7	22.2	34.7	27.5	14.8		
社会福祉協議会	5～9人	122	9.8	22.1	62.3	22.1	40.2	59.8	25.4	10.7	48.4	23.8	18.9	41.8	19.7		
社会福祉法人	10～19人	689	18.9	29.8	55.3	19.3	34.4	55.3	37.9	16.7	49.6	26.0	24.1	41.7	16.4		
医療法人	20～49人	452	10.4	25.4	60.2	20.6	34.1	61.3	33.2	8.2	49.3	19.5	21.7	34.7	13.1		
NPO	50～99人	136	18.4	23.5	52.2	33.1	49.3	75.7	33.1	14.0	55.1	30.1	30.9	43.4	24.3		
社団・財団法人	100人以上	105	5.7	22.9	53.3	30.5	47.6	54.3	30.5	4.8	52.4	25.7	24.8	42.9	16.2		
協同組合	4人以下	63	4.8	28.6	41.3	27.0	46.0	68.3	30.2	9.5	52.4	17.5	20.6	30.2	15.9		
地方自治体	5～9人	26	7.7	38.5	42.3	7.7	38.5	42.3	42.3	0.0	26.9	7.7	0.0	38.5	11.5		
その他	10～19人	57	3.5	29.8	54.4	21.1	31.6	52.6	40.4	8.8	49.1	17.5	26.3	26.3	17.5		
事業所規模別	20～49人	439	9.6	22.6	54.2	17.5	40.1	56.9	27.6	8.2	36.0	12.3	23.9	25.7	10.9		
	50～99人	1,128	10.8	24.4	61.3	23.1	42.8	66.9	32.8	8.2	46.9	18.6	31.1	26.2	14.5		
	100人以上	1,632	12.7	27.0	56.4	22.5	40.2	66.4	32.2	8.9	47.1	23.7	30.7	30.6	14.6		
	4人以下	1,082	16.0	30.3	57.4	21.8	34.5	58.6	36.0	13.5	52.9	27.0	32.7	35.3	18.1		
	5～9人	328	16.5	36.6	54.6	22.0	24.4	54.0	39.3	23.2	53.4	27.1	31.1	46.0	14.9		
	10～19人	78	20.5	43.6	51.3	26.9	32.1	52.6	39.7	32.1	59.0	41.0	34.6	50.0	25.6		

（注1）「その他」は「無回答」を除く。また、地方自治体はデータ数が少ないため参考値。
 （注2）表頭※1は「残業が少ない、有給休暇をとりやすい、シフトがきつくないこと」。
 ※2は「介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っていること」。
 ※3は「能力や仕事をしっかりと評価し、賃金などの処遇に反映していること」の略。
 （注3）網掛けセルは全体よりも5ポイント以上上回るもの、斜線セルは全体よりも6ポイント以上下回るもの。

4

より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き） （介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン）

①職場環境の整備

取組前

取組後



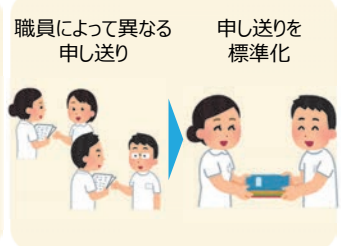
②業務の明確化と役割分担 （1）業務全体の流れを再構築



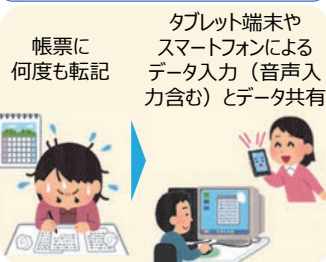
②業務の明確化と役割分担 （2）テクノロジーの活用



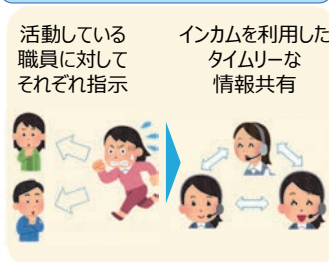
③手順書の作成



④記録・報告様式の工夫



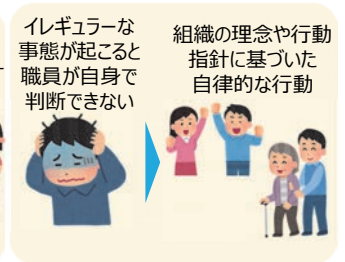
⑤情報共有の工夫



⑥OJTの仕組みづくり



⑦理念・行動指針の徹底



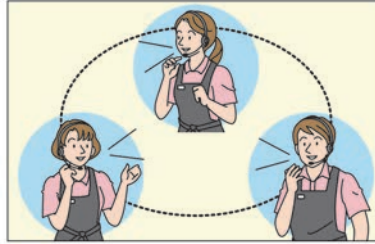
5

介護分野におけるテクノロジーの活用例

スマートフォンを活用した
記録・入力省力化



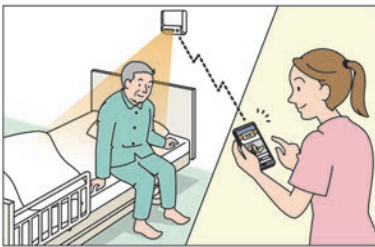
インカムを活用した
コミュニケーションの効率化



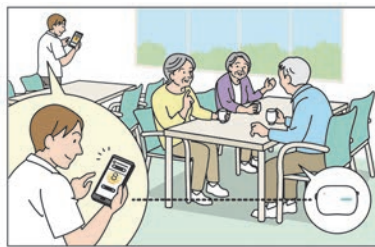
移乗支援機器を活用した
従事者の負担軽減



センサーを活用した見守り
による省力化・ケアの質向上



センサーを活用した排泄予測
による省力化・ケアの質向上

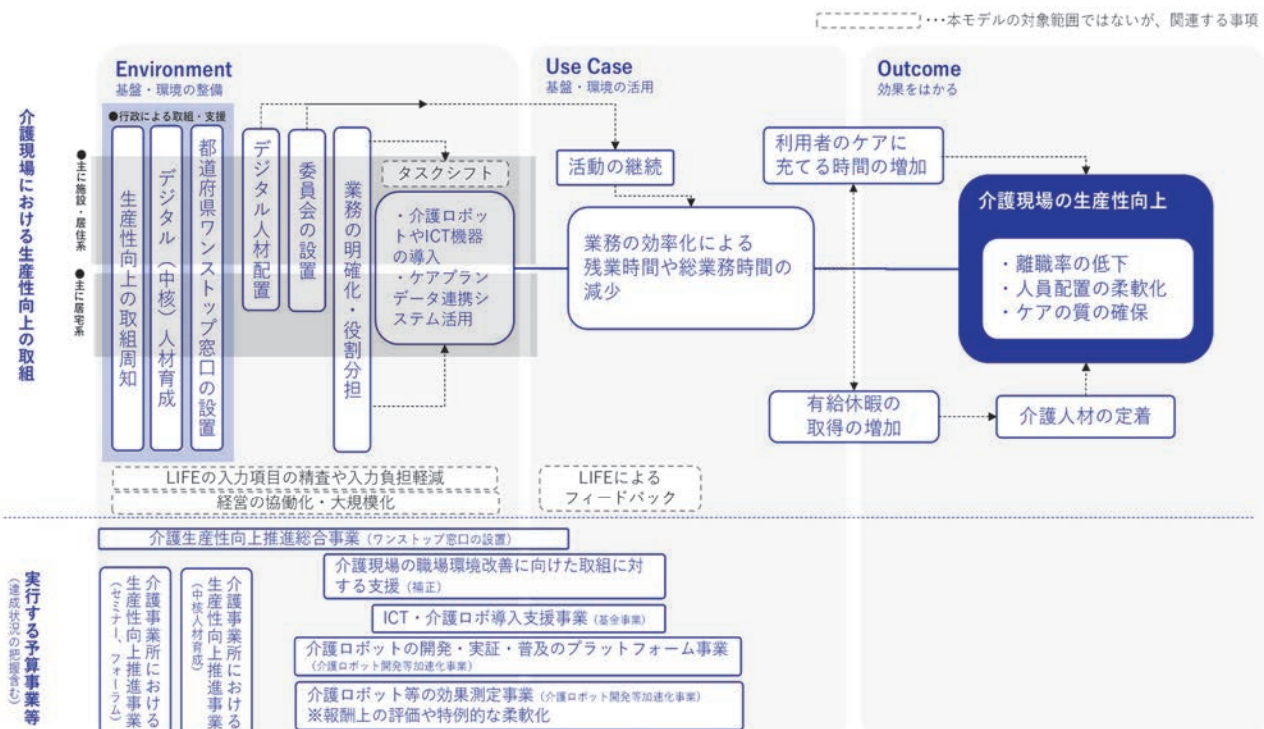


情報の収集・蓄積・活用の
円滑化によるケアの質向上



6

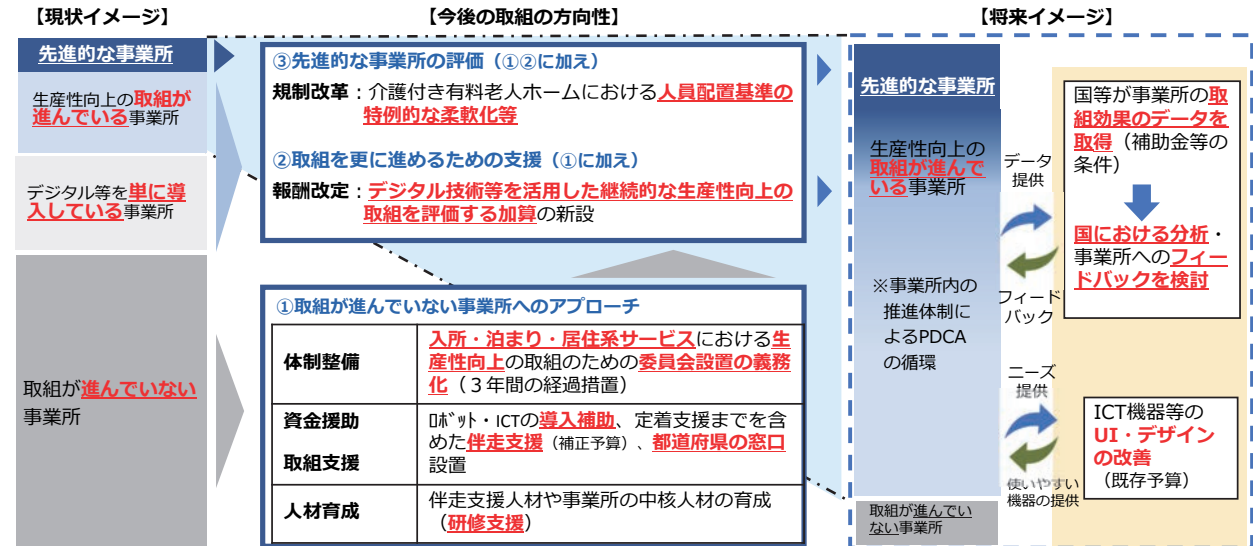
介護分野におけるロジックモデル



7

介護分野におけるデジタル行財政改革の方向性

- デジタル技術の導入支援や相談窓口の設置など様々な支援を行っており、生産性向上が進む事業所がある一方で、取組が幅広く普及しているとは言えない状況である。
- このため、①補正予算を含む財政支援、②介護報酬改定において生産性向上の取組を促進、③人員配置基準の柔軟化等で先進的な取組を支援、④明確なKPIでPDCAサイクルを回すことなどに取り組む。



8

介護分野におけるKPI

- 介護分野におけるデジタル行財政改革を推進するため、基盤・環境の整備（インプット）や基盤・環境の活用（アウトプット）の各段階で適切なKPIを設定し、効果の創出（アウトカム）を目指す。

基盤・環境の整備	Environment	2023年	2026年	2029年	2040年	定義等
		2023年	2026年	2029年	2040年	定義等
基盤・環境の整備	生産性向上策等周知件数	2,570件 (R5暫定値)	増加	増加	—	(半年度)セミナー、フォーラム、都道府県窓口セミナーへの参加件数、職域再生回数増加
	デジタル（中核）人材育成数（2023年度より実施）	500名	5,000名	10,000名	—	(累計) デジタル（中核）人材育成プログラム受講人数（国が実施するもので、自治体や民間が実施する研修等の数は含んでいない）
	都道府県ワンストップ窓口の設置数（2023年度より実施）	5	47	47	47	(累計) 各都道府県における設置数
	委員会設置事業者割合※（2024年度より実施）	—	【2024年夏までに調査を実施し、目標を設定】			(累計) 入所・泊まり・居住系サービスは3年後義務化予定、KPIは全サービスを対象とする（一部サービスを除く）
	ケアプランデータ連携システム普及率（2023年度より実施）	—	40%	80%	100%	(累計) 管内事業者が利用している市区町村の割合
	事業者が活用している自治体の割合	—	—	50%	100%	(累計) 管内事業者が3割以上利用している市区町村の割合
	ICT・介護ロボット等の導入事業者割合※	29%	50%	90%	90%以上	経過改善加算の職域環境要件の算定状況を集計
	介護現場のニーズを反映したICT・介護ロボット等の開発支援件数	52件 (R5暫定値)	60件以上	60件以上	—	(半年度) 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける開発企業とニーズのマッチング支援件数を集計
	生産性向上の成果（対象：加算取得事業者及び補助対象事業者）※	—	—	—	—	デジタルを活用した報告（年1回）を原則とし、都道府県及び厚生労働省が確認できること
	①全介護事業者	—	—	—	—	—
基盤・環境の活用	1ヶ月の平均残業時間の減少	6.4h	減少又は維持	減少又は維持	減少又は維持	3年間の平均値が前年度より減少又は維持（令和4年度全産業平均13.8h）
	有給休暇の取得状況（年間平均取得日数）	7.4日	8.4日	10.9日	全産業平均以上	3年間の平均値が目標値又は前年度より増加又は維持（令和4年（又は令和3会計年度）平均取得日数10.9日）
	②加算取得事業者及び補助金を利用して機器を導入した事業者（2024年度より実施）	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	1ヶ月平均残業時間が①の群より減少する事業者の割合	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	有給休暇の取得状況（年間平均取得日数）が①の群より増加する事業者の割合	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	③上位加算取得事業者及び特例的な柔軟化を実施する事業者（2024年度より実施）	—	25%	25%	25%	タイムスタディの実施（令和4年度実証事業並の変化率）
	総業務時間の減少割合	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	1ヶ月平均残業時間が②の群より減少する事業者の割合	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	有給休暇の取得状況（年間平均取得日数）が②の群より増加する事業者の割合	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	年間離職率の変化※	15.7% (R4暫定)	15.3%	15.0%	全産業平均以下	3年間の平均値が目標値又は前年度より減少又は維持（令和4年度全産業平均15.0%）
効果をはかる	①全介護事業者	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	②加算取得事業者及び補助金を利用して機器を導入した事業者（①の群より減少した事業所の割合）	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	③上位加算取得事業者及び特例的な柔軟化を実施する事業者（②の群より減少した事業所の割合）	—	30%	50%	90%以上	事業者からの報告
	人員配置の柔軟化（老健、特養、特定（注2））※	—	1.3%	8.1%	33.2%	令和5年度の介護事業経営実態調査を軸とし、人員配置の変化率を確認

注1 ※をつけたものはサービス類型毎にデータを集計・分析し公表する予定としており、サービスが限定されていないものは原則全サービスとする

注2 職員一人あたりに対する利用者の人数は、老人保健施設で2.2対1、介護老人福祉施設で2.0対1、特定施設入居者生活介護指定施設（介護付きホーム）で2.6対1となっている（令和5年度介護事業経営実態調査結果より算出）

注3 参考指標として介護職員全体の給与（賞与込みの給与）の状況を対象年毎に確認

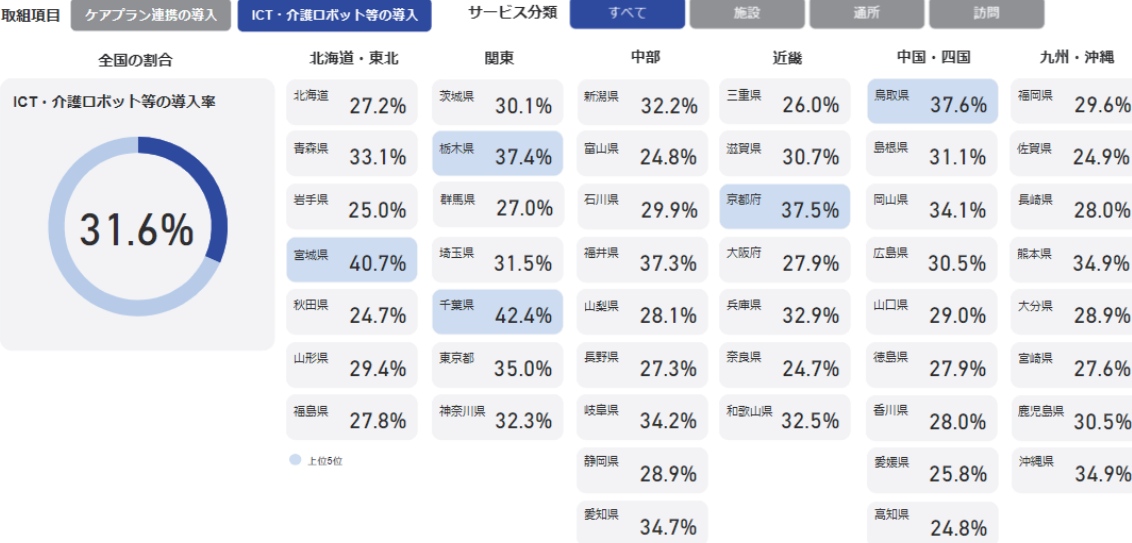
注4 本KPIは、必要に応じて随時に見直しを行うものとする

9

介護現場の生産性向上に関するダッシュボード
介護現場の生産性向上のための取組状況

介護現場の生産性向上のための取組状況（都道府県別）

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



介護現場の生産性向上に関するダッシュボード <https://www.digital.go.jp/resources/govdashboard/nursing-care-productivity>

10

【介護人材確保・職場環境改善等に向けた総合対策】

令和6年度補正予算 1,103億円

施策名: 介護人材確保・職場環境改善等に向けた総合対策

老健局
高齢者支援課(内線3997)
認知症施策・地域介護推進課((内線3983)
老人保健課((内線3968)

① 施策の目的

- 介護人材の確保のためには、他産業の選択・他産業への流出を防ぐため、全産業平均の給与と差がつく中、緊急的に賃金の引き上げが必要。
- 賃上げとともに、介護現場における生産性を向上し、業務効率化や職場環境の改善を図ることにより、職員の離職の防止・職場定着を推進することが重要。これらは働きやすさの改善のための事業者における基盤整備とともに、具体的なテクノロジーの導入・投資への支援、経営等の協働化・大規模化等を通じた職場環境改善が必要。
- また、訪問介護については、小規模な事業者が多く、中山間や離島などの事業所も含め、人材不足が顕著で経営資源にも制約があるため、経験年数の短い方でも安心して働き続けられる環境整備や、地域の特性・事業所規模を踏まえた経営支援、福祉施策と労働施策の連携体制強化やホームヘルパーの魅力発信を通じた人材確保の促進が必要。

② 対策の柱との関係

I	II	III
○		

③ 施策の概要

介護人材確保・職場環境改善等事業 806億円 処遇改善加算を取得している事業所のうち、生産性を向上し、更なる業務効率化や職場環境の改善を図り、介護人材確保・定着の基盤を構築する事業所に対する支援 ※人件費に充てることが可能 ※処遇改善加算の更なる取得促進をあわせて実施	介護テクノロジー導入・協働化等支援事業 200億円 生産性向上・職場環境改善等に係る具体的なテクノロジーの導入・投資への支援、経営等の協働化・大規模化への支援	訪問介護の提供体制確保支援 97.8億円 ホームヘルパーの同行支援など、経験年数の短い方でも安心して働き続けられる環境整備や、地域の特性・事業規模を踏まえた経営支援、福祉施策と労働施策の連携体制強化やホームヘルパーの魅力発信を通じた人材確保促進
--	---	--

④ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

介護現場における生産性向上や職場環境改善等を図ることにより、介護職員の確保・定着や介護サービスの質の向上につなげる。

11

13

介護テクノロジー導入・協働化等支援事業 テクノエイド協会による介護テクノロジーのカタログ化

【課題・背景】

(事業所) どのようなテクノロジーを導入したらよいかわからない
(都道府県) 補助金の対象であるかどうかすぐに判断できない

- 「介護テクノロジー利用の重点分野」(2024年6月改訂)の決定を契機に、テクノエイド協会が、福祉用具情報システム(TAIS)を活用し、実用化されている介護テクノロジーを利用した製品情報を収集し、厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる製品情報を提供する事業を開始(2024年12月～)。
- TAISコードの登録を行った製品の製造・輸入事業者から申請を受け、協会が設置する外部有識者からなる「厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる製品の検討委員会」の審査を経て、該当製品の選定を行い、協会のホームページ上に介護テクノロジーのどのカテゴリーに該当するかがわかるよう情報を掲載。
- こうした情報を、国が制度を創設し、都道府県が実施している介護テクノロジーの導入支援(補助)事業の対象製品の「カタログ」として活用する方向で検討中。
- 補助金申請事業者の製品選定の補助や申請書類の簡素化及び都道府県の審査事務負担の軽減を期待。

1 申請受付	年間を通じて、受付しております。 毎月10日までに受理した情報について、翌月の1日に情報提供いたします。(※1) ※1 ただし、記載内容の不備や確認作業に時間を要する場合等は、この限りではありません。
2 検討委員会	介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会は、毎月、25日前後に開催いたします。 厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる製品の検討委員会は、年2回程度を予定しております。
3 情報提供	毎月1日、協会のホームページを更新いたします。情報提供を開始します。(※2) ※2 年末年始や祝祭日等については、多少前後します。
4 ご請求	登録が完了し、情報提供を開始した後、ご請求させていただきます。 ただし、更新料については、毎年4月中旬頃、ご請求させていただきます。(※3) ※3 登録料は年度単位となります。基本、毎年自動更新となりますので、翌年度へ更新を希望しない場合、毎年3月10日までに協会へ必ずお申し出ください。

提出書類等一覧 ※登録を希望の方は、以下の書類等を必ず提出してください。	
①登録申込書	登録の申込書に当たります。
②企業情報/登録用紙	初回登録時のみ、ご提出いただく書類です。
③「福祉用具情報」登録用紙	1製品につき1枚、ご提出いただく書類です。
④登録する用具の画像データ及び③のExcelデータ	USB、CD等にデータを入れて提出してください。
⑤製品カタログ	当該製品(登録しようとしている用具)が掲載されたカタログを必ず提出してください。なお、カタログが未作成の場合、当該製品の仕様や使用方法等が確認できる書類を必ず添付してください。

- 情報登録は有料
 - 企業情報: ¥11,000/年(更新¥5,000)
 - 用具情報: ¥6,000/年(更新¥3,300)
- 年度単位(4月～翌年3月) 更新制
- 選定後、安全性や有効性に懸念が生じた場合、状況に応じて再審査を行う。

14

介護テクノロジー導入・協働化等支援事業 カタログ化の考え方

補助金の対象となる機器

福祉用具情報システム(TAIS) テクノエイド協会 <https://www.techno-aids.or.jp/ServiceWelfareGoodsList.php>

介護テクノロジーのカテゴリから探す NEW!

TAISに未掲載の介護テクノロジー ※都道府県が判断

介護記録ソフト

ケアブランドデータ連携標準仕様ベンダー試験結果
厚生労働省 介護ソフト機能調査結果※

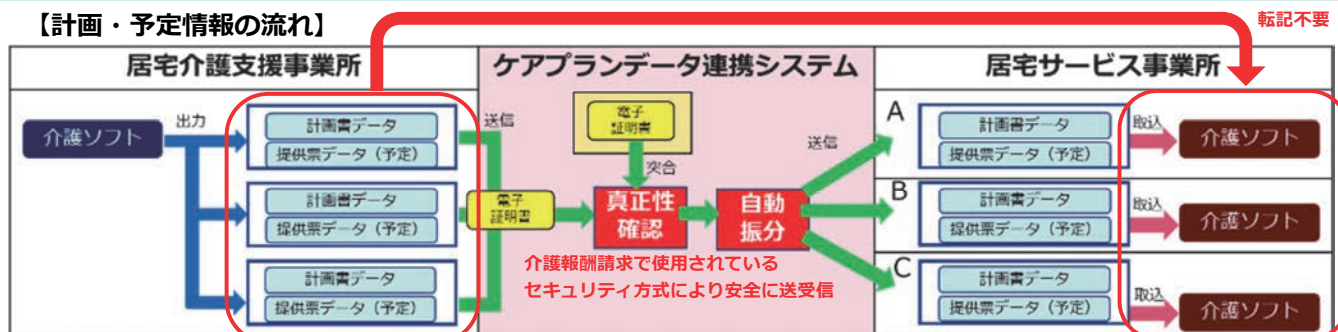
介護記録ソフトについては、カタログやこれらの情報を参考に、実際の業務改善計画書に即して、必要性を判断する

※ 介護記録ソフトには、①1つのソフトで多くの機能を網羅しているもの ②特定の機能に特化したもの があり、主な要件である「一気通貫」を実現するのに複数のソフトを組み合わせる場合もある。

※ これまでは、各都道府県が介護ソフトベンダーから必要な資料を個別に入手していたところを、厚生労働省が一元的にベンダーから情報収集して定期的に都道府県に情報提供することとしている。

15

これまで毎月紙でやり取りされ、介護事業所の負担が大きかったケアプラン（計画・予定・実績の情報）をオンラインで完結するシステムを提供。
「データ連携標準仕様」に対応した介護ソフトとの連携により、ケアマネ・サービス事業所共に転記不要による事務負担の軽減を実現。



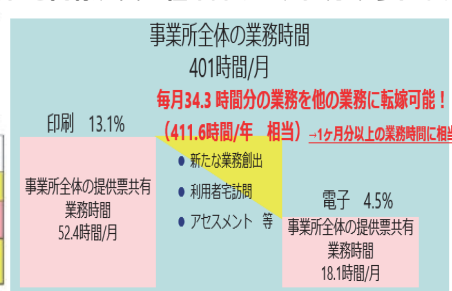
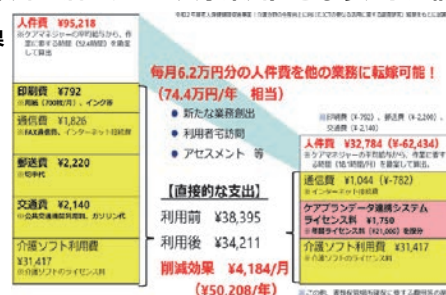
- 手間、時間の削減による **事務賃等の削減**
- データ自動反映による従業員の「**手間**」の削減・効率化
- 作業にかける「**時間**」の削減
- 従業員の「**心理的負担軽減**」の実現
- 従業員の「**ライフワークバランス**」の改善
- 事業所の「**ガバナンス**」、「**マネジメント**」の向上



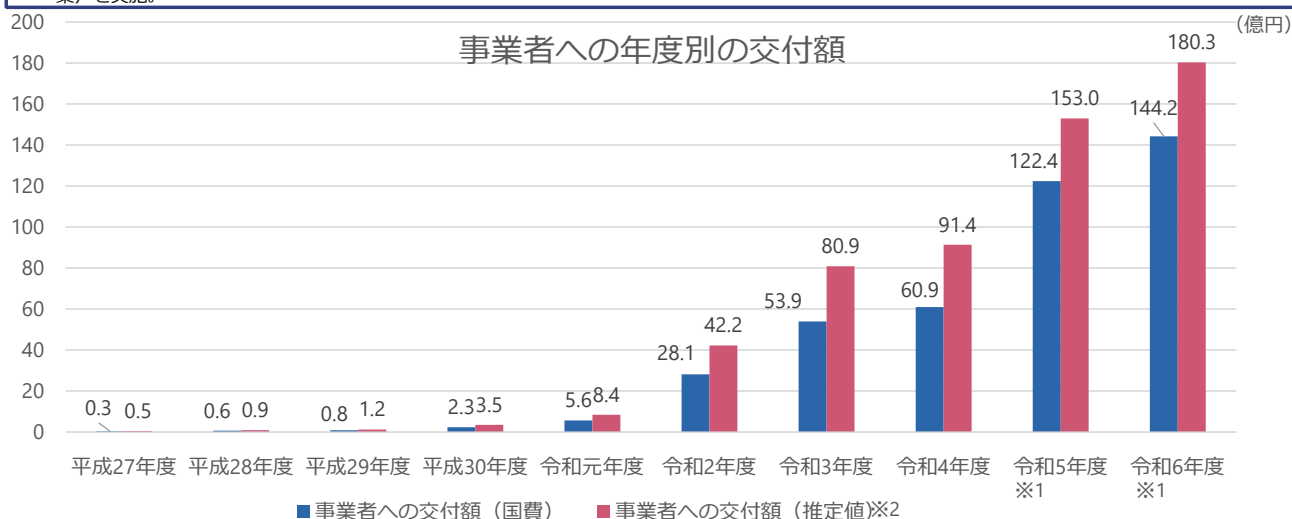
イメージキャラクター
ケアプー



ヘルプデスクサポートサイト



- 地域医療介護総合確保基金を活用した「介護ロボット導入支援事業」は平成27年度、「ICT導入支援事業」は令和元年度より実施（以下、2事業を合わせて基金事業）。介護ロボット及びICTの一層の普及を図る観点から導入補助額の引上げ等、累次の拡充を行っている。
- また、令和5年度は、令和5年度補正予算を活用した「介護サービス事業者の生産性向上や協働化を通じた職場環境改善事業」（以下、補正予算事業）を実施。



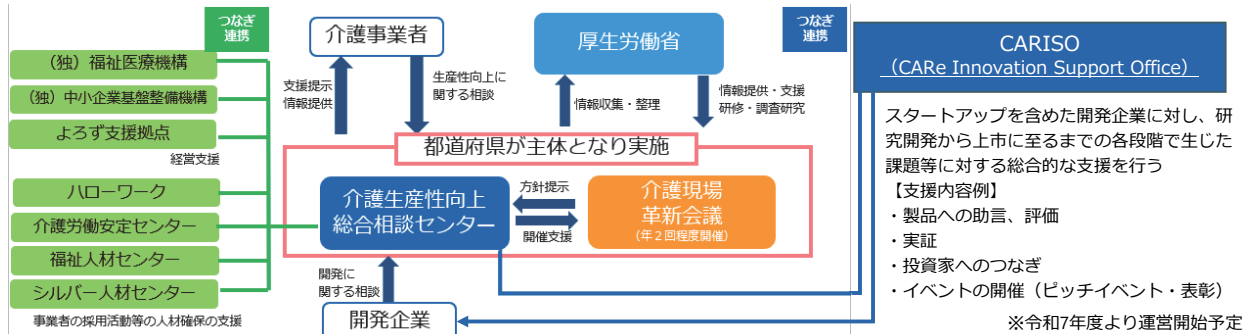
※1令和5年度は、43都道府県において基金事業から補正予算事業へ組み替えを実施したため、補正予算事業の交付額を掲載。なお、組み替えを実施していない4県の事業者への交付額（国費）は8.6億円、事業者への交付額（推定値）は12.9億円である。また、令和6年度は交付決定前のため、交付予定額を掲載していることに留意。なお、負担割合について、基金事業は国2/3・都道府県1/3、補正予算事業は国4/5・都道府県1/5と違いがあることに留意。

※? 都道府県によって補助割合が異なるため、推定値であることに留意。

ワンストップ相談窓口・介護現場革新会議による生産性向上の取組推進施策の全体像

都道府県による生産性向上の取組推進に係る政策スキーム

- 各都道府県に設置する介護現場革新会議において、各地域の業界団体、職能団体、福祉協議会等の参画のもと、各地域の状況・課題を踏まえた上で、関係者の社会的対話を通じてワンストップ相談窓口の運営方針の検討・策定や、各都道府県独自の生産性向上の取組推進のための実施施策（※）を検討する。
（※）介護現場革新会議で決定した事業には基金を活用した補助を実施する（国が2／3補助）
- 介護現場革新会議において決定した対応方針（管内地域の介護現場の生産性向上や人材確保を推進する観点から、地域における介護現場の課題に即した対応方針や計画・KPIの設定等）に基づき、ワンストップ相談窓口を運営するとともに、年2回程度開催される介護現場革新会議において、対応方針の進捗を確認するとともに、PDCAサイクルを回す。
- 経営ノウハウの乏しい中小社会福祉法人等に対し、よろず支援拠点等へのつなぎ連携を実施し、経営力強化の支援を行うことで、人材不足が深刻化する中で介護サービスの安定提供につながっていく（**介護サービス事業者の支援**）
- ワンストップ窓口は開発企業の相談対応も受け付け、CARISOへのつなぎ連携を行い、開発企業の支援を実施する。（**開発企業の支援**）



取組の先行事例

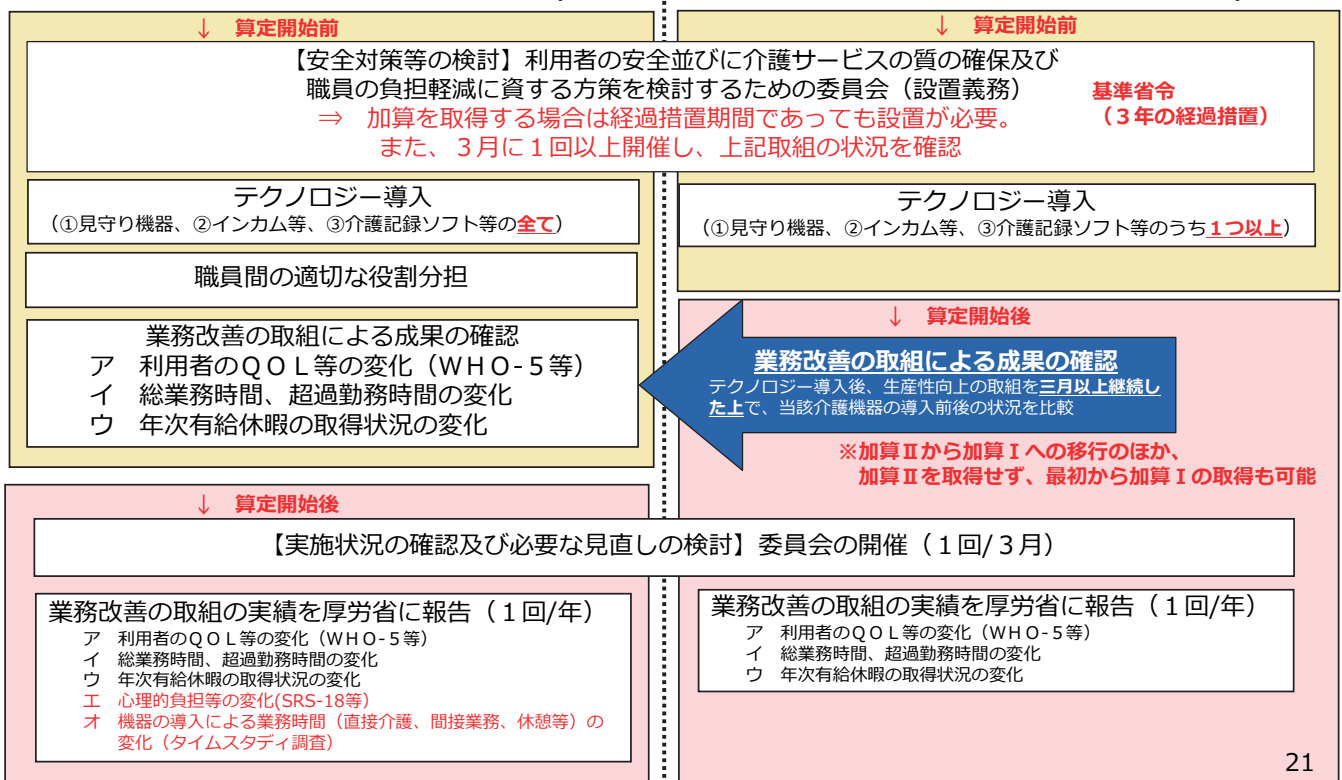
大分県において、介護現場革新会議での議論に基づき、介護施設に対して伴走事業を実施し、モデル施設を育成。webサイト『KAIGO SWITCH』（※）にて、モデル施設の取組内容を動画で紹介し、横展開を実施
（※） [KAIGO Switch- 知って？ウェルビーイングな介護](#)

20

生産性向上推進体制加算（Ⅰ）及び（Ⅱ）の概要（仕組みのイメージ）

生産性向上推進体制加算（Ⅰ）100単位/月

生産性向上推進体制加算（Ⅱ）10単位/月



21

介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業（R6度実証事業）

介護現場において、テクノロジーの活用等による生産性向上の取組を推進するため、介護施設等における効果実証を実施するとともに、実証から得られたデータの分析を行い、次期介護報酬改定の検討等に資するエビデンスの収集等を行うことを目的とする。

実証テーマ① 「生産性向上に先進的に取り組む特定施設における人員配置基準の特例的な柔軟化」に関する実証

令和6年度介護報酬改定（特定施設における人員配置基準の特例的な柔軟化）を踏まえ、本特例措置を適用又は適用予定の特定施設を対象に、生産性向上の取組の効果を実証。

実証テーマ② 「生産性向上推進体制加算（Ⅰ）」等に関する実証

生産性向上推進体制加算（Ⅰ）を算定又は算定要件を満たす施設等を対象にテクノロジーの活用等による効果を実証。

実証テーマ③ 見守り機器等を活用した夜間見守りに関する実証

令和3年度以降の介護報酬改定（夜間の人員配置基準緩和等）を踏まえ、特養（従来型）や老健施設（ユニット型を除く）以外のサービスも含め、夜間業務における見守り機器等の導入による効果を実証。

実証テーマ④ 介護事業者・テクノロジー開発企業等からの提案手法による生産性向上の取組に関する実証

生産性向上の取組に意欲的な介護事業者やテクノロジー開発企業等から、取組の目標や具体的な取組内容等の提案を受け付け、提案を踏まえた実証を実施。

想定する調査項目

※具体的な調査項目、調査手法（実証施設数含む）については、事業内に設置する有識者で構成する実証委員会にて検討

- ・介護職員の業務内容・割合がどのように変化したか
- ・ケアの質が適切に確保されているかどうか（利用者のADL、認知機能、意欲等に関する評価、ケア記録内容 等）
- ・介護職員の働き方や職場環境がどう改善したのか（職員の勤務・休憩時間、心理的不安、意欲の変化 等） 等

実施スケジュール

4月～6月	実証施設選定（テーマ①～③）、提案募集・選定（テーマ④）、実証計画（調査項目・手法等）の策定
5月30日～6月21日	公募申請書の受付
6月・7月	事前調査
9月・10月	事後調査（1回目）
11月・12月	事後調査（2回目）
12月～3月	データ分析、実証結果のとりまとめ

実証テーマ④ 応募・採択状況

- ・応募件数：52法人
- ・採択件数：11法人

22

令和6年度 介護職員の働きやすい職場環境づくり 内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰優良賞 受賞事業所一覧

内閣総理大臣表彰

特別養護老人ホーム 六甲の館 (兵庫県)	特別養護 老人ホーム	・ <u>ノーリフティングケア</u>（※）で職員の腰痛対策（腰痛あり職員56%→9%） ※介護職員が入所者を抱え上げない介護。リフト等を活用。 ・ <u>居住・生活費支援など外国人材が働きやすい職場づくり</u> ・ 利用者の特性に合わせた見守り機器の導入 ・ 人間関係をよくする等のスキル研修の実施 ・ <u>離職率の低下（16%→3%）</u> など職場環境改善の様々な成果
-------------------------	---------------	--

厚生労働大臣表彰 優良賞

特別養護老人ホーム悠西苑 (秋田県)	特別養護 老人ホーム	・ 仕事と家庭の両立の支援（多様な休暇制度） ・ 間接業務の事務職員への積極的なタスクシフト ・ 「1人1研修」を掲げた多様な研修の実施
介護付きホームメッツ長岡 (新潟県)	介護付き 有料老人 ホーム	・ 無資格、かつ短時間でも働ける「<u>サポーター制度</u>」を導入 →人材確保と同時に地域交流。地域内での介護の魅力発信
ヤザキケアセンター紙ふうせん (静岡県)	訪問介護	・ 訪問介護、通所介護等のサービスの特性に応じた最適なICT導入 ・ <u>定期的なエンゲージメントサーベイ</u>（※）の実施等による離職率改善・ストレス軽減 （※）従業員のモチベーション、会社への愛着心の調査
特別養護老人ホームゆめあまみ (大阪府)	特別養護 老人ホーム	・ 見守り機器や移乗支援機器の効果的活用による効率化 ・ フィンランドの事業者との双方向の人材交流 ・ 独自の介護技術試験結果に応じた手当支給
特別養護老人ホームかるべの郷 さざんか（兵庫県）	特別養護 老人ホーム	・ 職員主導による人事評価項目策定と手当充実、研修会等の開催 ・ インカムや見守り機器の積極的導入

※この他、厚生労働大臣表彰奨励賞を63事業所に授与

23

特別養護老人ホーム 六甲の館

ろっこうのやかた

内閣総理大臣表彰

■ 基本情報

- ・ 社会福祉法人弘陵福祉会
- ・ 介護老人福祉施設
- ・ 兵庫県神戸市
- ・ 利用者数：70名、従業員数：48名（常勤33名/非常勤15名）

※利用者数及び従業員数は令和6年1月1日時点



ノーリフティングケアによる腰痛対策

睡眠状態	ほほ寝たきり	やや動きあり	離床事故リスクあり
センサータイプ	バイタル (心拍・呼吸)	カメラ	カメラ
見守り機器			

利用者の状態に応じたテクノロジーの選択

■ 主な取組概要

利用者ファーストのための職員ファースト

職員の待遇改善に係る取組

- ✓ ノーリフト宣言を行い、腰痛ゼロ施設を目指し、腰痛対策を強化
- ✓ 外国人が働きやすい環境を実現
(日本語学校の授業料や居住・生活費を支援、結婚時2ヶ月の一時帰国許可等)

生産性向上の取組

- ✓ ICT・介護助手・外部サービスの活用とノーリフティングケア（人力で抱えない介護）の推進（天井リフト23台導入等）で余裕のある介護を実現
- ✓ 利用者の特性にあった複数の見守り機器を個別アセスメントで選定し、100%導入
- ✓ 浴室にリフト2台設置により入浴介助に要する職員を半減させレクリエーション活動が充実

人材育成に係る取組

- ✓ 5S活動に、スマイル（笑顔）とスピーディ（頼まれたらすぐ実行）を加えた7S活動を推奨
- ✓ ノーリフティングケアのメソッド導入のための手当の支給や研修の実施
- ✓ 人間関係を良くする褒めるスキル研修を推奨

■ 主な成果

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| ✓ 職員に占める外国人の割合 32% | ✓ 1夜勤中の平均訪室回数 6.3回→3.8回 |
| ✓ 腰痛ありの職員 56%→9% | ✓ 平均年間残業時間 880時間→76時間 |
| ✓ 平均有給休暇取得日数 6.7日→9.9日 | ✓ 職員1人あたり利用者数 2.05人→2.25人 |
| | ✓ 褥瘡処置人数の月平均 2.25人→0人 |

■ その他

- ✓ 兵庫県「ひょうごノーリフティングケアモデル施設」に認定
- ✓ 『ELDERCARE INNOVATION AWARD 2020』FINALIST
- ✓ 日本看護協会『看護業務の効率化先進事例アワード2021』奨励賞
- ✓ 神戸市老人福祉施設連盟『第2回 R-R-1』グランプリ
- ✓ 全国経営協『社会福祉HERO's TOKYO 2023』ヒーローズ賞

経済産業省における 福祉機器の施策動向

**2025年1月31日
商務・サービスグループ
医療・福祉機器産業室**

施策の背景

高齢化の進展（平均寿命と高齢化率）

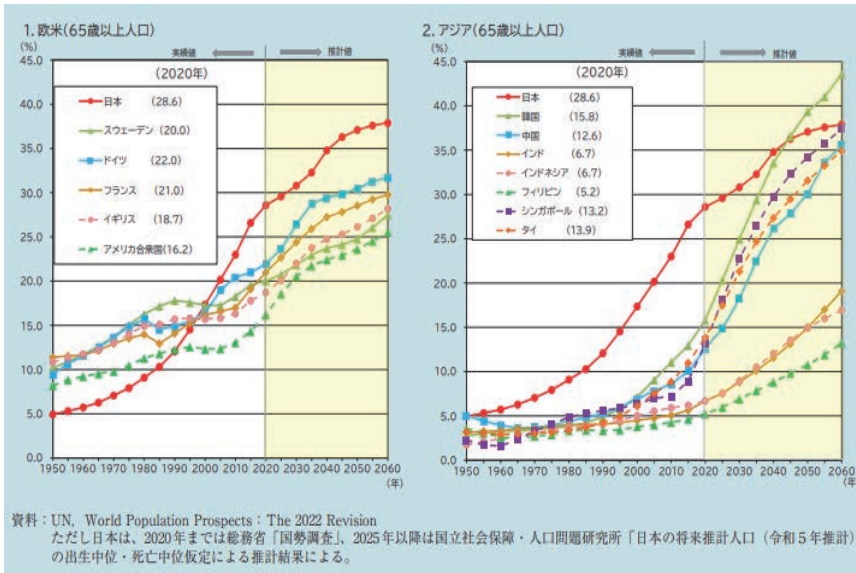
- 日本は世界一の長寿国である
- 高齢化率においても世界で最も高い水準にあり、2050年には65歳以上人口比率は40%近くに達する見込み

世界の平均寿命

順位	国名	平均寿命 (男女平均)
1	日本	84.5
2	シンガポール	83.9
3	韓国	83.8
4	スイス	83.3
5	オーストラリア	83.1
6	ノルウェー	82.9
7	ルクセンブルク	82.8
8	スペイン	82.7
8	スウェーデン	82.7
10	アイスランド	82.6

(出所) World Health Statistics 2024

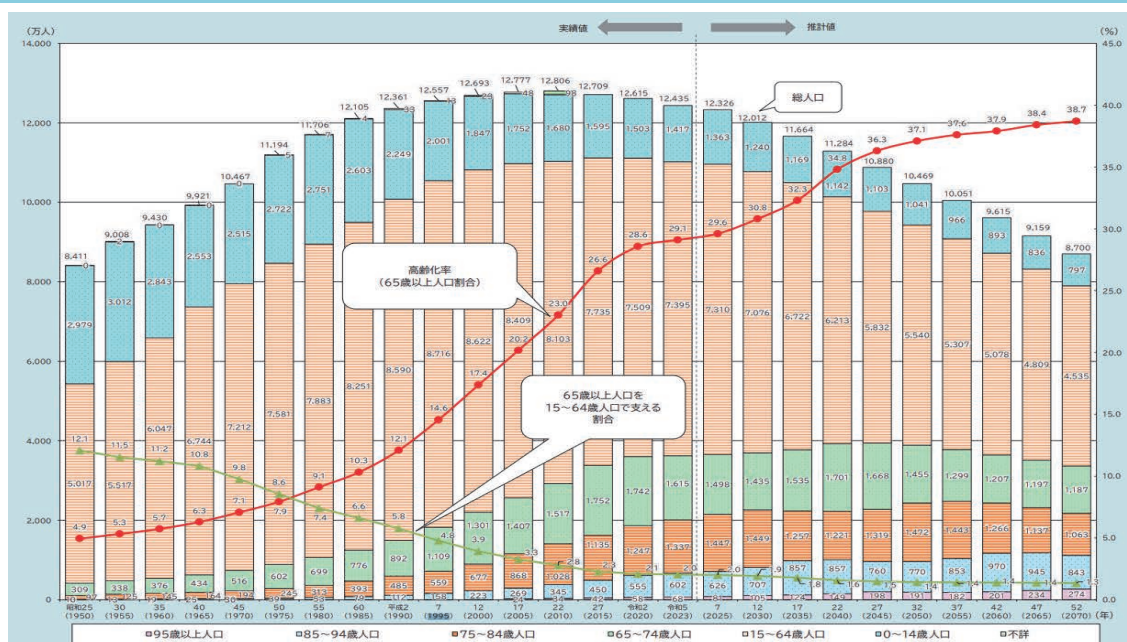
世界の高齢化率の推移（総人口に占める65歳以上人口の推移）



(出所) 令和6年版高齢社会白書 2

生産年齢人口の減少

- 少子高齢化の進行により、我が国の生産年齢人口（15～64歳）は1995年をピークに減少
- 生産年齢人口の減少により、労働力の不足、国内需要の減少による経済規模の縮小など様々な社会的・経済的課題の深刻化が懸念されている

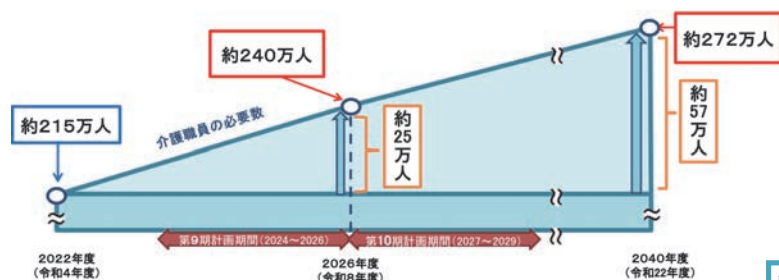


(出所) 令和6年版高齢社会白書 3

介護離職ゼロに向けた課題（介護人材の不足）

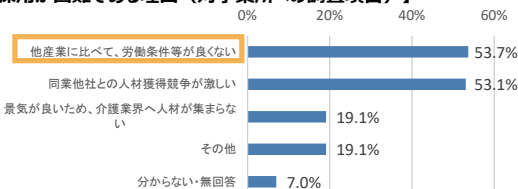
- **2040年時点で、介護職員は約60万人不足する見込み**
- この背景としては、「賃金が低い」、「仕事がつい（身体的・精神的）」「社会的評価が低い」、「休みがとりにくい」等の理由により、介護職員の採用が困難
- 介護人材不足を解消するためには、**介護する側の生産性向上や負担軽減、介護される側の自立や社会参画の促進（介護需要の低減）に資する機器**の開発・普及が有効な手段になりえる

【介護人材の需給の推計】

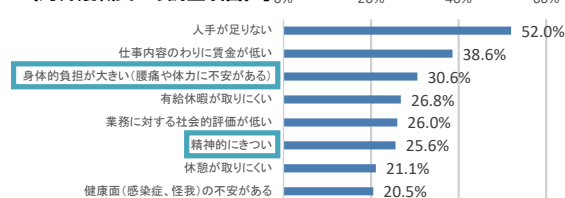


(出所)「第9期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について (令和6年7月12日)」別紙1より

【採用が困難である理由（対事業所への調査項目）】



労働条件の悩み、不安、不満等（上位8位抜粋）
【対介護職員への調査項目】

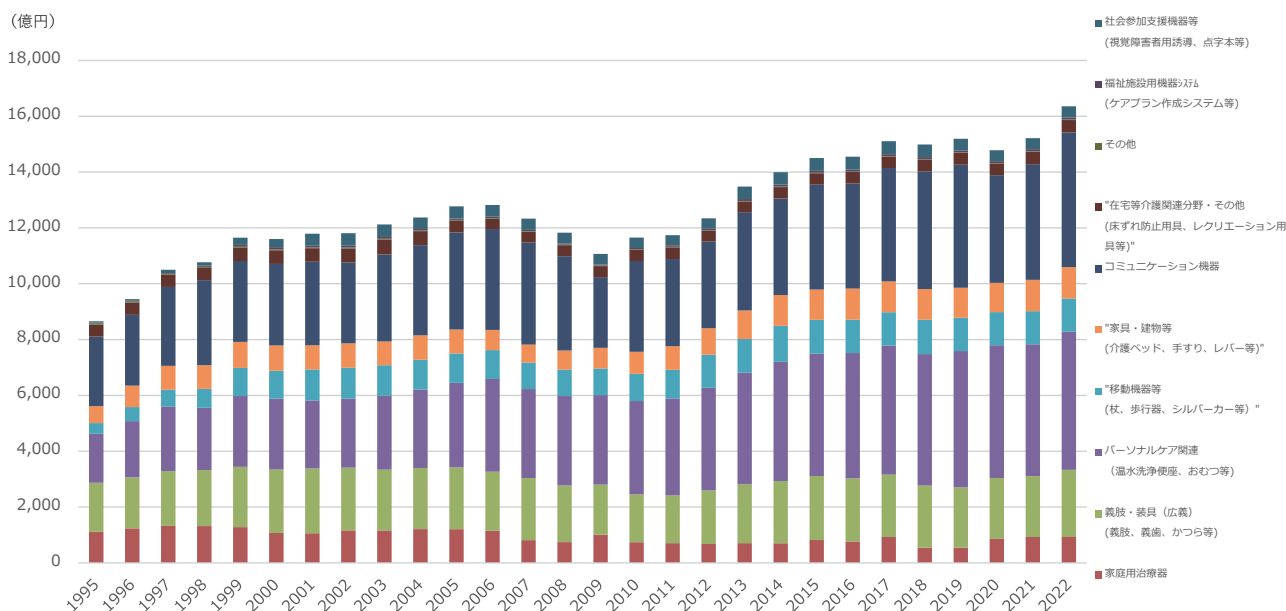


(出所) 公益財団法人介護労働安定センター「令和2年度介護労働実態調査」より、経済産業省が作成

4

我が国の福祉用具関連産業の市場規模

- 福祉用具（狭義）の2022年度の福祉用具関連産業の市場規模は、約1.6兆円（対前年度比107.5%）



(出所) 日本福祉用具・生活支援用具協会 福祉用具産業市場動向調査報告【2022年版】より作成

※狭義の福祉用具・・・ユニバーサルデザインやアクセシブルデザインとよばれる「共用品」を含まない

5

福祉用具関連施策

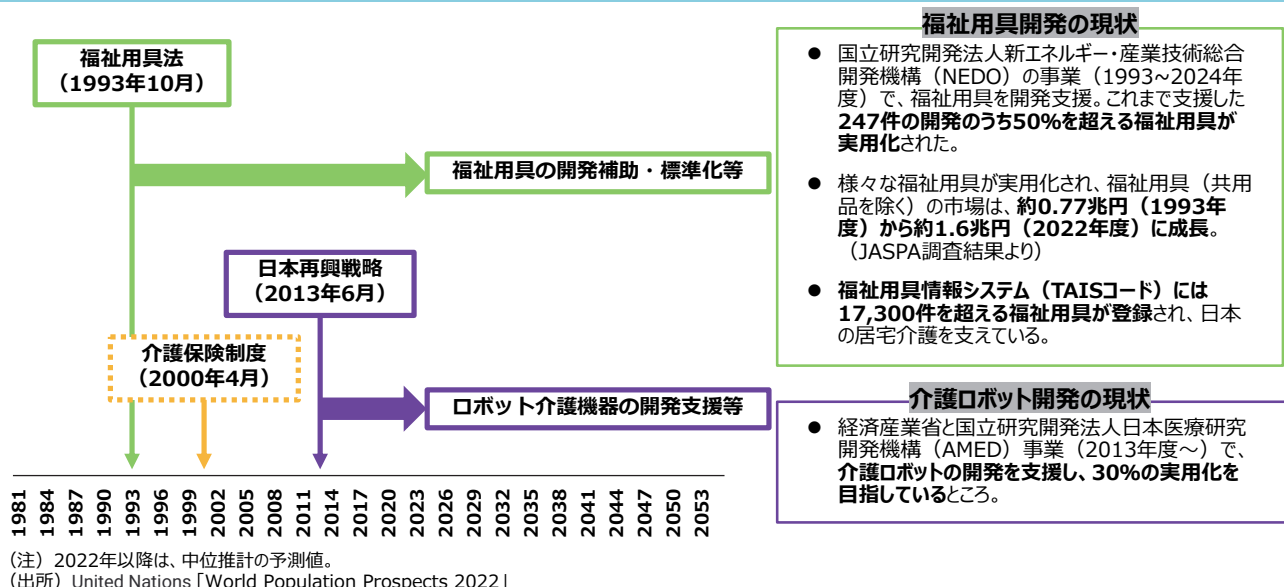
- ・福祉機器開発支援（NEDO）
- ・ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

6

福祉用具法（1993年）と日本再興戦略（2013年）



- 「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律（通称、「福祉用具法」）」が1993年に制定され、経済産業省と厚生労働省で福祉用具の開発支援等を開始
- 2000年に介護保険法が施行され、介護保険制度が開始。「日本再興戦略（2013年）」において、高齢者等が地域で安心して暮らせるように、介護ロボット産業の活性化の実現が掲げられ、厚労省と経産省で介護ロボットの開発及び導入支援を開始



7

福祉機器開発支援（NEDO）

8

SBIR推進プログラム概要（内閣府）



プロジェクト概要	科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（2021年4月1日改正法施行）の規定により定められた、指定補助金等の交付等に関する指針（2021年6月18日閣議決定）に基づき、多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等の研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目的として、内閣府が司令塔となって、省庁横断的に実施する「日本版SBIR（Small Business Innovation Research）制度」の一翼を担うものです。
事業のスキームと方法	● 対象事業者は、単独ないし複数で、原則、本邦の中小企業等の研究開発実施者とします。 ● 研究開発課題は、関係府省庁等が実施する研究開発課題や研究開発フェーズについては、内閣府ガバニングボードにより決定されます。 ● 日本版SBIR制度指定補助金等における、本事業を含む指定補助金等では、このうち研究開発初期段階（PoC※1、F/S※2）を行うフェーズ1及び実用化開発支援を行うフェーズ2の多段階選抜方式を導入し実施します。

※1「概念実証（PoC: Proof of Concept）」とは技術シーズの原理確認又は市場でのニーズ確認の実証を行います。

※2「実現可能性調査（F/S: Feasibility Study）」とは、新製品や新事業に関する実行可能性や実現可能性を検証するための調査です。具体的には、科学的・技術的メリットの具体化と研究開発の実施、技術動向調査、市場調査、ビジネスプランの作成等を行って事業の実現可能性の目途を付けることです。

※詳細はNEDOホームページでご確認ください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100402.html

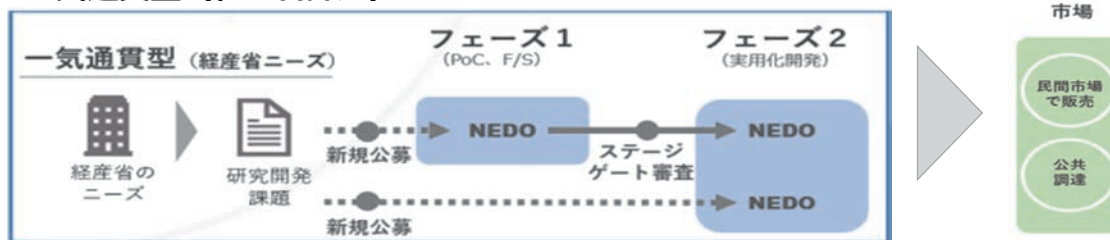


9

SBIR推進プログラム 2024年度公募概要（内閣府）

- 経産省では、「高齢者の自立支援や介護者の負担軽減に資する福祉機器の開発」の課題を設定し、PoC・F/S及び実用化研究開発を支援

■ 一気通貫型（経産省課題）



■ 研究開発課題

（公募期間：2024年4月30日～5月31日正午）

一気通貫型				
NO.	課題設定元 (経産省内)	公募対象フェーズ		研究開発課題
		フェーズ1	フェーズ2	
1	ロボット政策室	—	○	食品製造分野での自動化を実現するロボティクス技術の開発
2	産業構造課	○	○	市町村が被災状況を把握するための技術の開発
3	金属課	○	—	アルミリサイクルプロセスの効率化・高度化に資する技術の開発
4	素形材産業室	○	○	高生産性を実現する新方式による金属積層造形技術の開発
5	素形材産業室	○	○	素形材産業の製造現場における目視検査等の自動化技術の開発
6	宇宙産業室	○	○	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
7	医療・福祉機器産業室	○	○	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発

※フェーズ2では、研究開発実施体制に実証機関を含み、実証試験が行われることが必須要件
（実証機関のユーザーを対象とし、開発した福祉用具がユーザーニーズを的確に反映しているか、安全性が十分に担保されているか等）

10

2024年度 採択課題一覧

フェーズ	事業名	事業者名
1	医療・福祉事業所における EBP 推進のためのセンサーデータを活用したリハビリ評価 システムの開発	株式会社デジリハ
1	遠隔デジタルケアによるフレイル改善プログラム の開発および実現可能性調査	株式会社アイスリーメディカル
1	高齢者社会の安全・快適性を実現するオートフォーカス老眼鏡の開発	株式会社エルシオ
2	発話障害者が声を使って入力する音声合成 システムの開発と実証	株式会社ヒューマンテクノシステム
2 (SG通過)	足元センサを活用した歩行測位・周辺 検知の高精度化研究開発事業	株式会社Ashirase
2 (SG通過)	スマートシューズを起点とした転倒予 防・健康寿命延伸サービスの研究開発	株式会社ORPHE

<https://www.nedo.go.jp/content/100981020.pdf>
<https://www.nedo.go.jp/content/100981089.pdf>

11

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

- ・開発支援
- ・海外展開支援

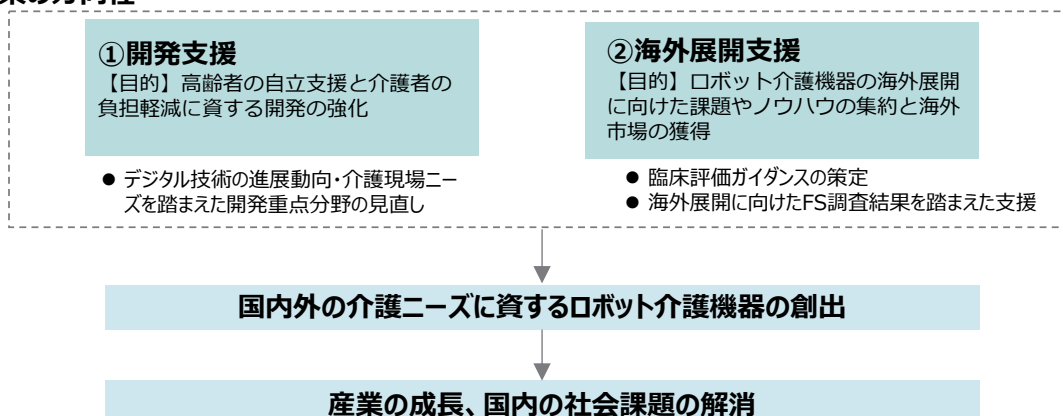
12

ロボット介護機器産業の施策の方向性



- 高齢化率の進展、社会保障費の増大、介護人材不足といった社会課題を解決するため、介護する側の生産性向上や負担軽減、介護される側の自立や社会参画の促進（介護需要の低減）に資するロボット介護機器の開発が求められる
- デジタル技術の進展動向や介護現場のニーズ等を踏まえつつ、ロボット介護機器の重点分野として開発・普及を促進することで社会課題の解決を目指すとともに、産業競争力強化を図り、世界に先がけて高齢化が進む日本で成功モデルを作りつつ、世界市場の獲得を目指す

支援施策の方向性



13

重点分野改訂について（開発支援）

- 昨今の ICT・IoT 技術を用いたデータ利活用が進む状況や、介護現場における新たな社会課題を踏まえつつ、革新的な機器の開発促進・普及を目指すため、「**ロボット技術の介護利用における重点分野**」の改訂を行うとともに、名称を「**介護テクノロジー利用の重点分野**」に変更
- 介護テクノロジー利用の重点分野として、**新たに3分野を追加し、合計9分野16項目**に拡充。また**既存の分野・項目の定義文についても必要な見直し**を実施。
- **2025年4月から改訂後の重点分野での運用を開始**

（1）追加する3分野

機能訓練支援

- ✓ 介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム

食事・栄養管理支援

- ✓ 高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム

認知症生活支援・認知症ケア支援

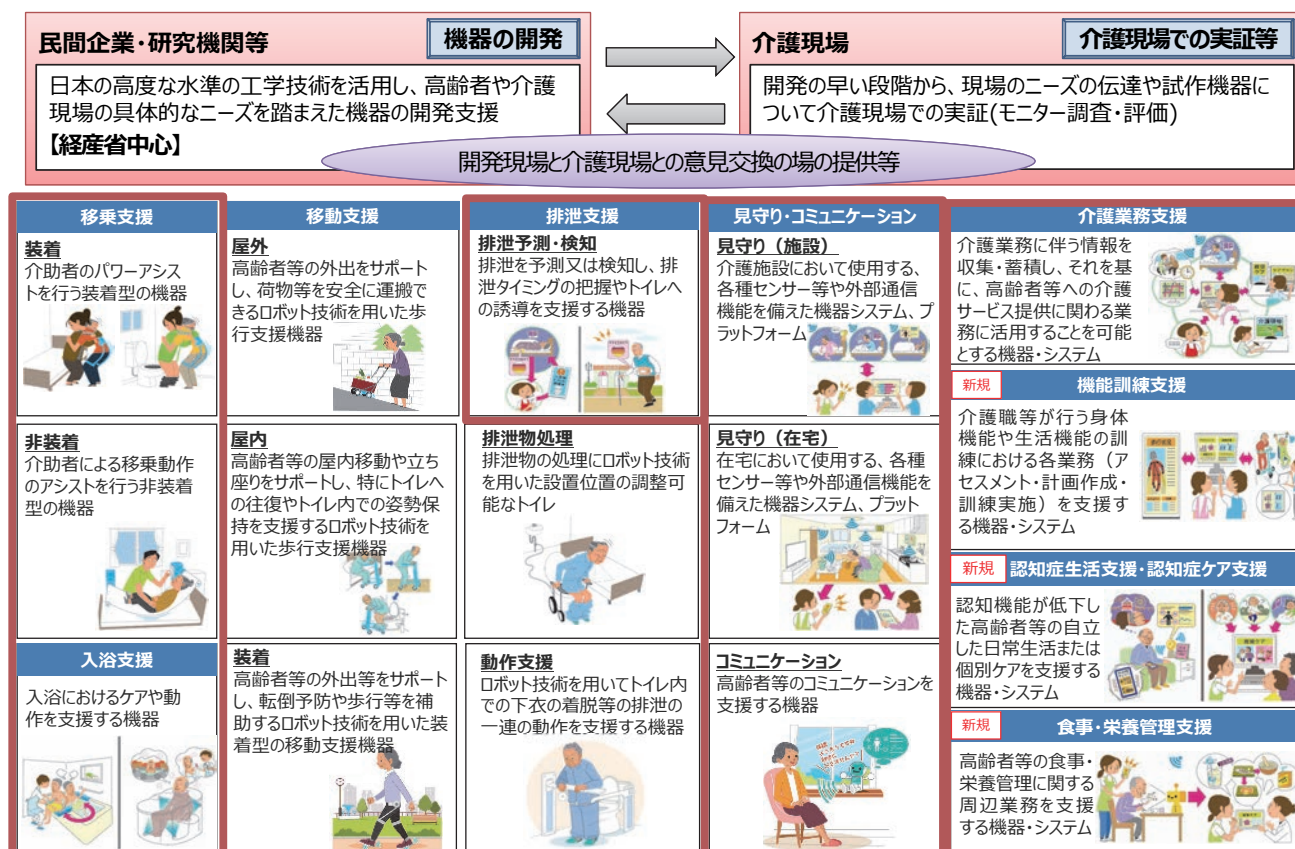
- ✓ 認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム

（2）定義文の見直しを行う分野・項目

- 移乗支援（装着）
- 移乗支援（非装着）
- 排泄支援（排泄予測・検知）
- 見守り・コミュニケーション（施設）
- 見守り・コミュニケーション（在宅）
- 見守り・コミュニケーション（コミュニケーション）
- 入浴支援
- 介護業務支援
- ※（ ）内は項目名

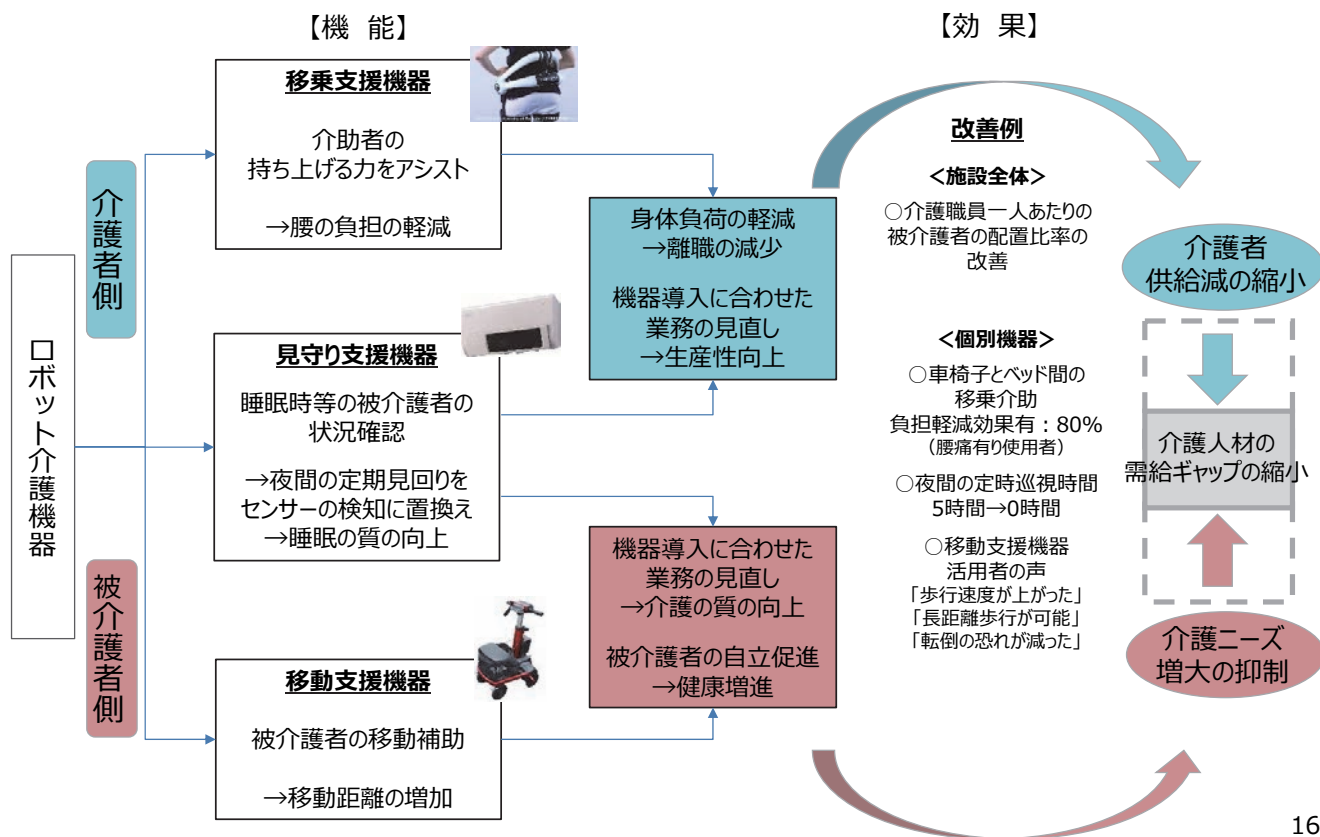
14

（2025年度より運用開始）介護テクノロジー利用の重点分野及び開発・導入促進体制



15

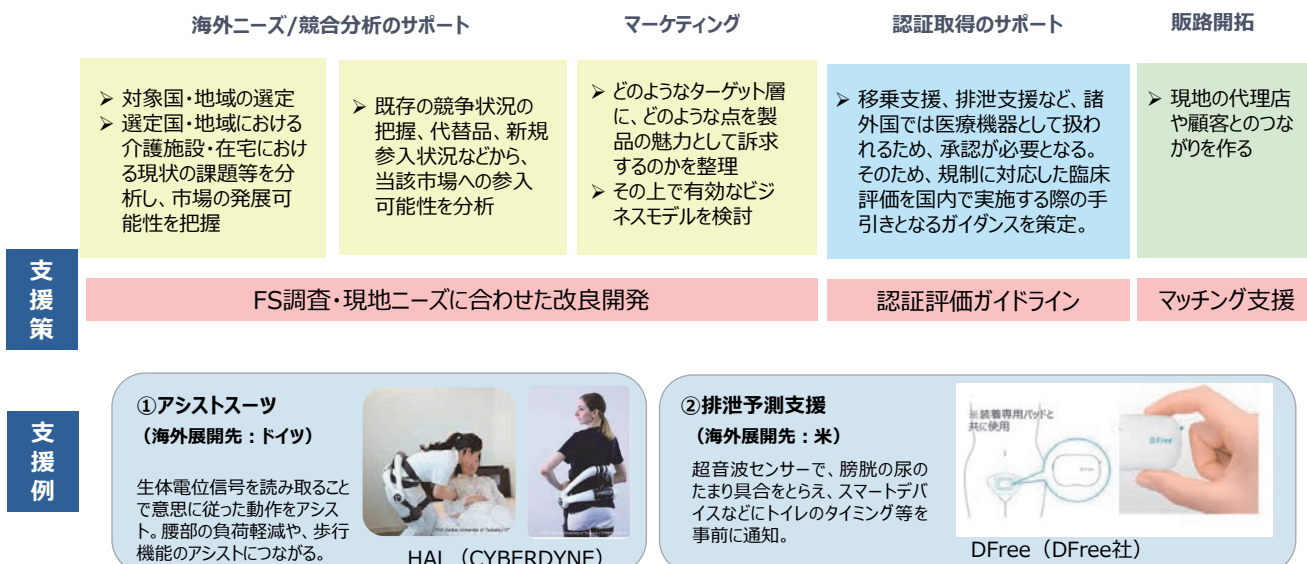
ロボット介護機器導入後の改善イメージ（開発支援）



16

海外展開支援策（海外展開支援）

- ロボット介護機器の海外展開では、国ごとの介護ニーズ・介護制度・文化を的確に捉えることや、医療機器認証への対応などのノウハウ不足がハードルになっている
- そのため、在宅向けのロボット介護機器の**上市・規制承認に向けた実効性の検証（FS調査）**や**現地ニーズに合わせた改良開発を支援し、各国の制度や背景を踏まえた知見を集約**するとともに、**認証取得のサポート**を行うことで、海外展開を促進する



17

ロボット介護機器に関する海外の概況（海外展開支援）

	アジア型		欧州型			米国型	日本
	中国	シンガポール	フィンランド	オランダ	ドイツ		
高齢者人口	■ 高齢者人口は 増加傾向 (2021→2035年 ☞ 約1.7～2倍)		■ 高齢者人口は 増加傾向 (同左 ☞ 約1.2～1.4倍)			■ 高齢者人口は 増加傾向 (同左 ☞ 約1.4倍)	■ 高齢者人口は横ばい (同左 ☞ 約1倍)
介護サービスの トレンド	■ 在宅介護 を推進		■ 在宅介護 を推進			■ 介護施設の入居費用が高いため、 在宅介護のニーズが高い	■ 諸外国と比較し施設サービスが 充実。在宅介護のニーズも高 まっている。
ロボット介護 機器の普及 状況	■ 施設・在宅ともに、ほとんど 普及していない		■ 施設・在宅ともに、ほとんど普及 していない			■ 見守り、コミュニケーション など 一部 普及しつつある	■ 施設見守り を中心に普及しつつ ある
ロボット介護 機器の医療 機器該当性	■ 中国では病院で使われる 移動 支援、排泄予測 が医療 機器に該当		■ 移乗支援の一部、移動支援、 排泄支援 が医療機器に該当			■ 移乗の一部、移動支援、排泄 支援 が医療機器に該当	■ すべて非医療機器
ロボット介護 機器 関連の施策	■ 【中国】 スマート養老計画 に基づき高齢者に適したス マート製品の開発を奨励 ■ 【シンガポール】 スマート ネーション構想において、ヘル スケアは重点分野の一つ		■ 【フィンランド】 医療・介護サービ スのデジタル化を積極的に推進し ている ■ 【オランダ】・【ドイツ】 ロボット介 護機器の研究や実証実験が進 行中（オランダでは、特にコミュニ ケーションロボットに着目）			■ 医療・介護に特化したものでは ないが、国立衛生研究所による 研究開発支援やスタートアップ向 け支援がある	■ 経産省・厚労省で「ロボット技 術の介護利用における重点分 野」を定め、開発・導入を支援 ■ 自治体によっては独自の開発・ 導入補助制度がある
有望分野	■ 移動支援（装着） ■ 排泄予測 ■ 介護業務支援		【フィンランド】 ■ 在宅介護見守り、 介護業務支援 【オランダ】 ■ 在宅介護見守り、 コミュニケーション 【ドイツ】 ■ 移乗支援 （装着）			■ 排泄予測	■ 介護業務支援

18

医療・健康推進事業のうち、 （４）次世代型医療機器開発等促進事業 令和7年度予算案額 24億円（新規）

商務・サービスグループ
医療・福祉機器産業室

事業目的・概要
事業目的 革新的な医療機器・システムの開発等による国内外市場の獲得を通じ、「健康・医療戦略」（令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更）の基本理念である「世界最高水準の技術を用いた医療の提供への寄与」及び「経済成長への寄与」の実現を目的とする。 加えて、高齢化の進展による介護需要の増加により、介護現場では人材の不足が深刻化している状況を踏まえ、介護の生産性向上や介護の質の向上等を実現することを目的とする。
事業概要 I 研究開発事業 （１）革新的な医療機器創出事業 我が国の医療機器産業の国際競争力を強化するため、グローバル市場獲得を見据えた最先端の科学技術を駆使した革新的な医療機器・システムの研究開発を支援する。 （２）医療機器版3R事業 我が国の医療機器産業の競争力強化を通じた医療機器の安定供給を実現するため、供給途絶リスクの高い医療機器の国産化を目的とした開発や、再製造医療機器の開発を支援する。 II 事業環境整備事業 （１）医療機器開発ガイダンス事業 医療機器実用化を促進する環境整備のため、開発ガイダンスの策定等を行う。 （２）介護テクノロジー社会実装のためのエビデンス構築事業 介護現場の課題を解決する介護テクノロジーの普及を促進する環境整備のため、社会実装に向けたエビデンス構築・基盤整備支援及び取得したエビデンスを活用した海外展開支援等を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）
国 → 補助(定額) → AMED → 民間企業等 I (1) 委託・補助 (2/3) I (2) 補助 (2/3) II (1) 委託 II (2) 委託・補助 (1/3、2/3) ※ ※大企業：補助 (1/3) 中小企業：補助 (2/3) 大学・研究機関等：委託
成果目標・事業期間
令和7年度から令和12年度までの6年間の事業であり、 I (1) 革新的な医療機器創出事業 短期的には令和17年度までに支援課題のうち30%の国内実用化、長期的には国内実用化課題のうち80%の海外実用化を目指す。 II (2) 介護テクノロジー社会実装のためのエビデンス構築事業 短期的には令和9年度までの支援課題について、令和12年度までに30%の国内実用化、長期的には令和17年度までに海外展開率5%の達成を目指す。

19

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

開発補助（2024年度）

- 厚生労働省と定めた重点分野に基づき、**介護施設や在宅等の介護現場における生産性向上や、介護の質の向上、高齢者の自立**に資するロボット介護機器の改良及び開発を支援※

※ 125件の支援を行い35件が実用化（2013～2023年度まで：前身事業含む）

補助金額の規模：移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援については1課題あたり年間上限2000万
（開発段階から海外展開を見据えた提案の場合は年間上限2600万円）
 見守り・コミュニケーション及び介護業務支援については1課題あたり年間上限4000万
（開発段階から海外展開を見据えた提案の場合は年間上限4600万円）

研究開発期間：2024年7月～2026年度末
 補助率：大企業 1/3、中小企業 2/3

研究開発課題名	代表機関	重点分野
歩行支援ロボットに関する研究開発 【開発補助・海外展開】	RT.ワークス株式会社	移動支援（屋外移動）
センシングによる高齢者のアセスメント及びそのデータを 活用した状態像の維持・改善を目指した研究開発 【開発補助・海外展開】	コニカミノルタ株式会社	介護業務支援（業務支援）
おむつ組み込み型排尿検知センサーを用いた排尿予 測システムに関する研究【開発補助】	東レ株式会社	排泄支援（排泄予測）

20

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

開発補助：機器開発の動向

- **重点分野策定当初**は、移乗支援・移動支援機器等の**メカ系の開発**が多く見られた
- **近年**はデジタル技術の進展から、スマートフォン等のデバイスと連携させた**ICT機器の開発**が進む

メカ系

移乗支援（装着）

事業者：CYBERDYNE株式会社 HAL



- 皮膚表面の微弱な生体電位信号を用いることで人間の運動意思を反映した動作アシストが可能。腰にかかる負荷を低減

移動支援

事業者：RT.ワークス株式会社 RT.1



- 使用者の操作力や路面環境を勘案したアシスト・ブレーキ制御等の歩行アシスト機能付きカート

ICT系

排泄予測

事業者：トリプルダブリュージャパン株式会社 DFRee



- 超音波を利用して膀胱の変化を捉え、排尿のタイミングを事前、事後で各デバイスに通知し管理が可能

見守り

事業者：コニカミノルタ株式会社 HitomeQ



- 画像センシング技術を活用し、データに基づいた新しい介護オペレーションを実現

21

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

海外展開支援：FS調査（2022年度）

- 2022年度は、海外展開を目指す企業による**各国でのFS調査を支援し、現地の介護制度や文化的背景、ニーズやマーケティング等の知見を集約**
- 2022年度に実施した諸外国の概況調査及びFS調査を支援した企業の**調査結果をAMEDのHPで公開**

■在宅向けロボット介護機器海外展開 事前調査報告書（2023年3月20日版）

主要11か国に関する、高齢化・介護制度、サービス、施策に関する調査結果を公表



<https://www.amed.go.jp/content/000110860.pdf>

■在宅向けロボット介護機器海外展開支援 開発事業者のノウハウ集（2023年3月）

R4年度採択事業者による進出予定国での海外展開FS調査結果を公表



<https://www.amed.go.jp/content/000113505.pdf>

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

海外展開支援：臨床評価ガイダンス（2024年度）

- 2024年度に海外展開に向けた臨床評価についてのガイダンスを公開し、ロボット介護機器開発者に向けた**臨床評価の手順やロボット介護機器における臨床研究の注意事項を紹介**

Chapter 1 はじめに

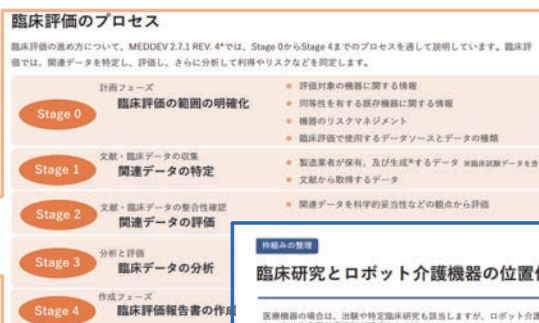
ロボット介護機器を世界に広めるために	4
本ガイダンスの構成	5
日本とEUの医療機器規制の違い	9
医療機器のクラス分類	8
臨床評価とは？	11

Chapter 2 臨床評価の手順

① 臨床評価を実施するにあたって	14
② 臨床評価に必要な基本情報の収集	19
③ 関連文献の評価と臨床データの分析	30
④ 臨床評価報告書の作成	43

Chapter 3 ロボット介護機器における臨床研究の注意事項

① 臨床研究に対する基礎知識	52
② 臨床研究の計画と実施	60



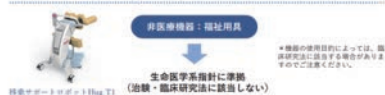
臨床研究とロボット介護機器の位置付け

医療機器の場合は、治験や特定臨床研究に該当しますが、ロボット介護機器は医療機器ではないため生命医学系分野に該当します。

【特定臨床研究】
臨床研究とは、「臨床研究」とは、医薬品等¹を人に対して用いることにより、当該医薬品等の有効性及び安全性を明らかにする研究をいう。
「医薬品等を用いる」とは、人に対して投与又は使用する行為のうち、医行為に該当するものを行うことを指します。

特定臨床研究—臨床研究のうち、以下のものを特定臨床研究という。
1. 医薬品等製造販売業者又はその特許関係者から研究資金等の提供を受けて実施する臨床研究
2. 承認・適応外の医薬品等（医薬品、医療機器、再生医療等）を対象に行われる臨床研究

移転サポートロボットHug T1の場合



ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

海外展開支援：介護テクノロジーの海外調査（2024年度）

- 重点分野や機器ごとの有望進出領域とその展開方法、関係機関が行うべき支援策、その支援策の実行に向けたロードマップ等の整理を目的として「介護テクノロジーの海外展開に係る調査」を2024年度に実施中

調達案件名

介護テクノロジーの海外展開に係る調査

調達形態	公告日	入札締切日	開札日
一般競争入札	令和06年08月21日	令和06年10月09日	令和06年10月10日

【対象（予定）】

中国・シンガポール・
ベトナム・タイ・インドネシア・
インド・フィンランド・オランダ・
ドイツ・アメリカ・イギリス・
フランス・イタリア・韓国・
オーストラリア

入札公告のダウンロード



介護テクノロジーの海外展開に係る調査(PDF 版 171KB)

<https://www.chotatsu.amed.go.jp/public/world/info/procurement/proc/detail/id/000001823>

24

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

海外展開支援：シンポジウム（2024年度）

- 介護テクノロジーの海外展開に向けて海外展開を目指す国内事業者の開発成果を発信することを目的に、在京大使館職員を招いたシンポジウムを12月5日に開催した
- 引き続き、介護テックの海外輸出産業化に必要な海外市場調査やネットワーク構築等を支援していく

【シンポジウム内容】

- 日本の介護テクノロジーの開発・活用について【基調講演、パネルディスカッション】
- 海外展開を目指す国内事業者からのピッチ
- 参加者による情報交換会（ネットワーキング構築）



25

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

環境整備支援：ガイドライン等（～2024年度）

- ロボット介護機器開発における環境整備事業として、安全基準ガイドラインの策定、海外展開に向けた臨床評価ガイダンス策定、開発成果の普及等を実施

①安全基準ガイドライン策定（2024年度）

- 2020年度まで実施した事業では、重点分野13項目について、安全な機器を設計するための基準、試験方法等を開発。
- 開発段階から安全性を踏まえた開発が重要となる3つの製品群（移動支援機器、装着型移乗支援機器、非装着型移乗支援機器）の共通する機能について、定量的な安全性能や安全基準等を整理して、安全な機器の開発を容易化するガイドライン策定を検討中。（2024年度末に公表予定）

②海外展開に向けた臨床評価ガイダンス（2023年度）

- ロボット介護機器は、今後高齢化が進む海外においても活用が期待され、産業競争力強化の観点からも期待が大きいが、海外に展開することができる企業数は少ない状況。
- 欧州展開時に必要となるCEマーキング取得を例として、必要な臨床評価の手続きや内容、手順、注意点を整理し、国内で評価する際の引きとなるガイダンスを作成（2024年4月公表）。

③環境整備・エコシステム構築

- 各種ガイドライン、ハンドブック、マニュアル等の前身事業からの成果をポータルサイト等を通じて普及させるとともに、相談窓口の運営やセミナーの開催を通じて成果普及・エコシステムの構築を行う。

26

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

環境整備支援：介護ロボットポータルサイト

- ロボット介護機器の開発と活用を推進するため、開発事業者、介護事業者・ケアマネージャー・福祉用具相談員・自治体担当者などに向けて、介護現場で安全かつ効果的に活用できるロボット介護機器についての情報を発信
- AMEDでの開発支援事例、介護ロボットの活用方法や導入事例の紹介等の情報発信のほか、セミナーの実施、相談窓口の運営を行っている



27

ロボット介護機器開発等推進事業（AMED）

環境整備支援：介護ロボットポータルサイト（相談窓口）

- 開発や事業化に関わる専門的な相談や、介護現場での利活用に関する相談に対して、ロボット介護機器の正しい理解と安全運用の観点を含めてアドバイザー等から回答
- アドバイザーは、ロボット介護機器の開発経験のある事業者や導入経験の豊富な介護サービス事業者や経営者等から構成される

相談窓口アドバイザーのご紹介

氏名	現職等	サポート分野
新村 猛 氏	がんこフードサービス（株）代表取締役、慶應義塾大学大学院特任教授、立命館大学客員教授、博士（工学）	ビジネス設計、人とロボットのオペレーション設計、データ解析
藤井 仁 氏	RT. ワークス（株）代表取締役社長	ロボット介護機器研究開発・製造・販売・導入全般
小林 正典 氏	DFree（株）取締役	ロボット介護機器研究開発・製造・販売・導入全般
保田 淳子 氏	一般社団法人日本ノーリフト協会 代表理事	介護現場へのロボット介護機器導入
得永 真人 氏	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 事業推進部長	介護現場へのロボット介護機器導入、介護制度
柴田 智広 氏	九州工業大学大学院教授、博士（工学）、日本ロボット学会介護ロボット研究専門委員会委員長、厚生労働省介護ロボットプラットフォーム事業リビングラボネットワーク座長	ロボット介護機器研究開発・製造・導入全般
鈴木 健太 氏	社会福祉法人友愛十字会 法人本部事務局総務部 人材確保・育成推進室副室長 兼 同企画部介護生産性向上推進室長、特別介護老人ホーム友愛荘 施設長	介護現場へのロボット介護機器導入、介護制度
梶谷 勇 氏	国立研究開発法人産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 人間拡張研究センター 生活機能ロボティクス研究チーム	ロボット介護機器研究開発・安全運用、マニュアル類
大畑 光司 氏	北陸大学 医療保健学部 理学療法学科 教授	ロボット介護機器研究開発安全運用・海外展開支援

<https://robotcare.jp/jp/home/index>



28

令和6年度補正予算

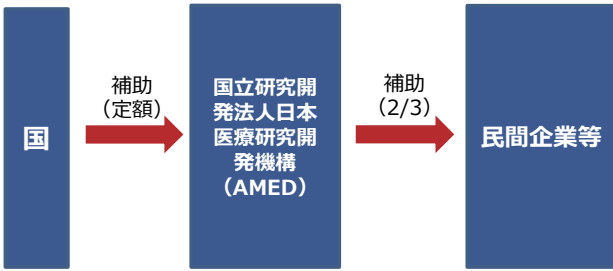
介護DXを利用した抜本的現場改善事業

29

介護DXを利用した抜本的現場改善事業

令和6年度補正予算要求額 19億円

商務・サービスグループ
医療・福祉機器産業室

事業の内容	事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）
事業目的 高齢化の進展による介護需要の増加や生産年齢人口の減少により、介護現場の人材不足が深刻化している状況。産構審新機軸部会第3次中間整理（令和6年6月3日）で示されたとおり、介護人材の人手不足や介護需要の増大を受け、ICT活用や介護ロボットの導入等の取組により生産性向上が徹底される等、ビジネス供給構造の変化が見られているところ。 本事業では、機器・システムの改良及び効果検証等を支援し、介護DXパッケージモデルの確立、またその投資効果を明らかにすることで、介護の生産性向上や介護の質の向上等を実現することを目的とする。 事業概要 介護テック企業、コンサルタント、福祉施設等でコンソーシアムを組み、機器・システムに改良を加えながら、介護DXパッケージモデルを確立し、効果検証等を支援することで、その投資効果を明らかにする。 また、地域毎に介護人材不足を解消したモデル施設を確立し、成功モデル事例の積極的な横展開を促進することで、介護現場の環境改善を高め、地方創生の推進に資する取組とする。	事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）  <pre>graph LR; A[国] -- "補助 (定額)" --> B[国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)]; B -- "補助 (2/3)" --> C[民間企業等];</pre> 成果目標 令和6年度の単年度事業であり、短期的には、令和8年度までに、支援する課題の50%で目標とする投資効果を得ることを目指す。 長期的には、令和12年度までに、介護DXの横展開を225施設等に行うことを目指す。

30

ご清聴ありがとうございました

経済産業省 商務・サービスグループ
医療・福祉機器産業室
渡辺 信彦

03-3501-1562
bzl-ifukushitu-fukushijigyo@meti.go.jp

介護ロボット全国フォーラム

福祉用具・介護ロボット 実用化支援事業の実施について

【内 容】

1. 事業の位置づけ
2. 全体の概要
3. 各事業の実施結果報告(令和6年度)

◆日時:令和7年1月31日(金) 14:00~14:20
◆場所:TOC有明(東京都江東区有明) 4階コンベンションホール

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵

The Association for Technical Aids(ATA)

1



介護ロボット開発等加速化事業

老健局高齢者支援課 (内線3969)

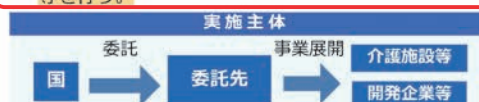
令和6年度概算要求額 8.9億円 (5.0億円) ※ ()内は前年度当初予算額 ※令和4年度第二次補正予算額 3.9億円

1 事業の目的

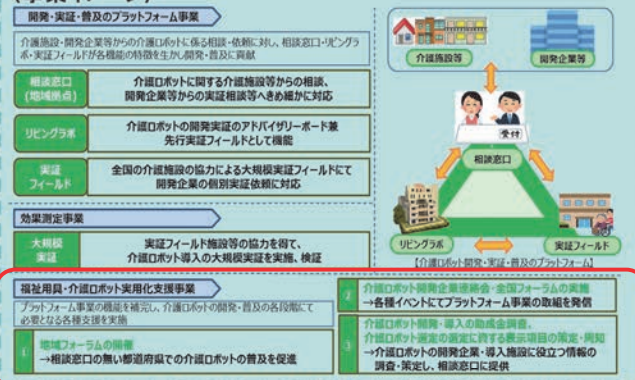
- 介護現場の業務効率化を進めるため、テクノロジーの活用を推進しているところであるが、このためには、介護現場に対する導入資金の支援だけでなく、介護現場におけるテクノロジーへの理解を促進し、開発企業が介護ロボット市場に参入しやすい環境を整備する必要がある。
- 本事業では、①介護施設・開発企業双方からの介護ロボットに関する相談窓口や開発実証を行うリビングラボ等の「開発・実証・普及のプラットフォーム」を運営するとともに、②介護ロボット等の導入効果に係る大規模実証、③介護ロボットに関するフォーラム等による情報発信を行う。

2 事業の概要・スキーム、実施主体等

- (1) 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業
 - 相談窓口の設置 (全国15箇所)
 - リビングラボの設置 (全国8箇所)
 - 地域における介護生産性向上総合相談センター(基金事業)の支援事業(中央管理事業)
 - 2025年大阪万博での効果的な取組の情報発信に係る好事例の収集及び普及方策の企画・検討(相談窓口等と連携)
- (2) 効果測定事業
 - 生産性向上の取組に係る効果測定事業(実証施設数[100]施設程度)
- (3) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業
 - 介護ロボット等に係る生産性向上の取組の情報発信等を行う。



〈事業イメージ〉



【事業実績】 令和4年度 全相談窓口における相談件数 1,139件

(※) 下線は令和6年度拡充分

The Association for Technical Aids(ATA)

2

【具体的な取り組み内容(令和6年度)】

相談窓口の設置

介護ロボットの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証に協力できる施設・事業所
等をリストアップし、開発の状態
に応じて企業等へつなぐ

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請（1,266か所）



モニター調査等の実施

介護現場のニーズをふまえた
介護機器の開発支援に係る
取り組み

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件以上)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件以上)
- 介護ロボット等モニター調査(10件以上)



普及・啓発

国民の誰もが介護ロボットに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく

- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 介護ロボット等活用ミーティング
- 介護ロボット全国フォーラムの開催
- 介護ロボット地域フォーラムの開催(6か所)
- 介護ロボット試用貸出リスト
- 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信 等

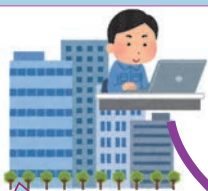


調査の実施

- 介護ロボットの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護ロボット導入支援事業等に係る実態調査(11~12月)

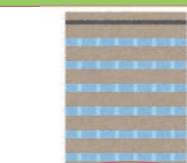
介護施設と開発企業のマッチングを図る

【開発企業】



- 自分たちが持っている
技術が介護現場で役立
てられるかな？
- 実際の現場でモニター
調査をおこなってみたい
な。

テクノエイド協会



マッチング支援

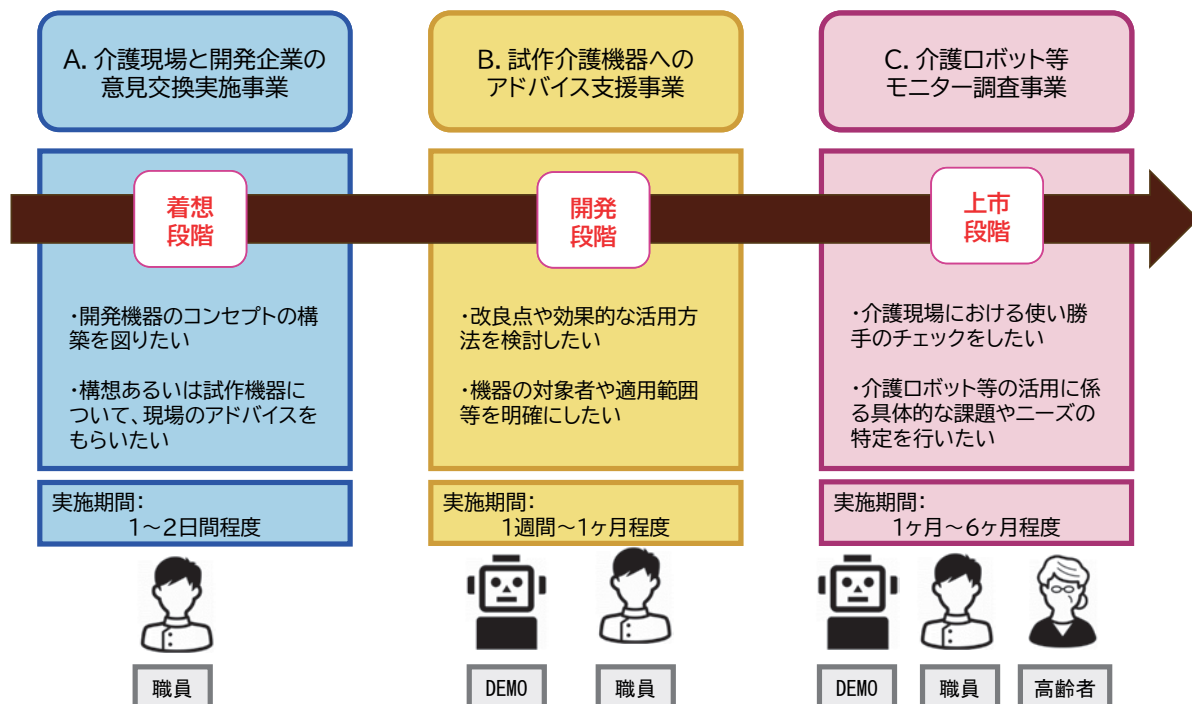
【介護施設】



- 機器開発に参加して、
貢献してみたいな。
- これから導入を考えて
いるけど、新しい技術や
機器を体験してみたいな。

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場でのモニター調査等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

開発段階に応じた3つの事業を実施



The Association for Technical Aids(ATA)

5

事業へ参加するメリット

【開発企業側】



- ・企業が持っているシーズを活かすための方法を確認することができる。
- ・現場の生の声を聞くことができる。
- ・開発中の試作機器を試し使いしてもらうことができる。
- ・成果報告の冊子に掲載されるので、幅広くPRすることができる。
- ・施設と繋がりを持つことができ、モニターや実証の場が広がる。

【介護施設側】



- ・最新の福祉用具・介護ロボットに触れることができる。
- ・現場の声を企業に伝えることができる。
- ・福祉用具・介護ロボットへの職員の関心を高めることができる。
- ・国の事業に参加することで、職業意識(モチベーション)や施設の魅力を高めることができる。
- ・実証協力費を得ることができる。

The Association for Technical Aids(ATA)

6

専門職が評価している場面①



The Association for Technical Aids(ATA)

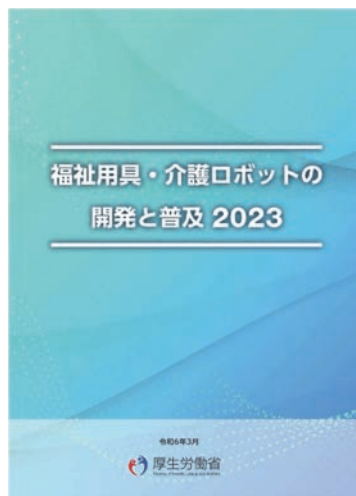
7

専門職が評価している場面②



8

福祉用具・介護ロボットの開発と普及の作成



本書は、開発コンセプト段階の機器から実用化手前の機器において、専門職からのアドバイスやモニター手法および、その結果を示しており、今後本分野に参入する企業等の一助となるよう情報を収録している。



テクノイド協会ホームページ
開発と普及

<https://www.techno-aid.or.jp/robot/kaihatsu2023book/index.html?pNo=1>

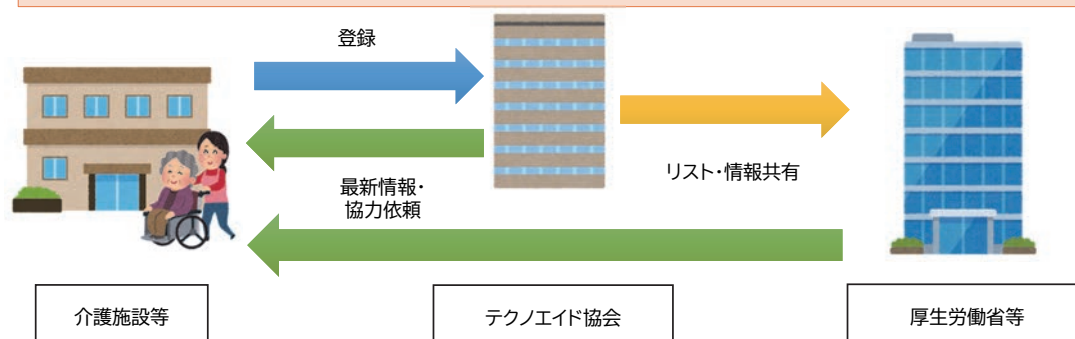
The Association for Technical Aids(ATA)

9

福祉用具・介護ロボットに係る 開発・実証フィールドの整備

目的

介護ロボット等の開発・実証フィールドを募集し、介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的とする。



区分	件数
1. 介護施設等	1,218 件
2. 都道府県・市町村	51 件
合 計	1,269 件

(令和7年1月時点)

【リストの活用】

- 介護ロボットの最新情報を提供
- 登録情報を厚生労働省等と共有

The Association for Technical Aids(ATA)

10

12

介護テクノロジー等活用ミーティング

目的

介護テクノロジー等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、働きやすい職場環境の構築を目的とする。

11月				
5日(火)	6日(水)	7日(木)	11日(月)	12日(火)
オンライン開催を予定				
13時～15時				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した生産性向上の取組を推進しよう	介護機器等を活用した安心・安全な介護を実現しよう	介護機器等を活用するICT/DX化を推進しよう	デイサービス等における訓練・介護機器等の導入・利活用を考えよう	居宅介護サービスにおける介護機器及びICTの導入・利活用を考えよう

【参加者数】

5日	6日	7日	11日	12日
284名	204名	225名	144名	131名

セッション1

- 介護テクノロジー等に関する最新情報
厚生労働省
- 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 生産性向上の取り組み
NTTデータ経営研究所
- 利活用に伴う工夫や課題、アイデア等
介護施設・企業等

個人ワーク

- 現状と課題、発言内容の整理

セッション2

- フリーに意見交換や情報交換を実施

介護ロボット地域フォーラム

目的

「介護ロボットの等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」の相談窓口(地域拠点)が無い都道府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う。

●実施内容:地域の実情やニーズに応じ、必須項目と任意項目から計画すること

(1)必須事項

- ① 介護ロボットの体験展示
※10種類程度
- ② 試用貸出の受付
※全国の相談窓口に連絡
- ③ シンポジウムの開催
 - 開催地自治体の取組紹介
 - プラットフォーム事業の紹介
 - 最新動向の情報提供

(2)任意事項

福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じて企画立案して差し支えない。

(例)

- 導入の好事例紹介
- ワークショップ
- 開発企業等によるプレゼン

介護ロボット地域フォーラムの協力機関

開催日	地域	協力機関	開催場所
11月9日(土)	石川県	(一社)日本福祉用具供給協会 東海・北陸支部 石川県ブロック 同時開催イベント:2024いしかわ介護 フェスタ	石川県産業展示館
11月21日(木)	京都府	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会	京都府立総合社会福祉会館 (ハートピア京都)
11月28日(木)	静岡県	公益財団法人介護労働安定センター 静岡支部	グランシップ静岡
12月12日(木)	島根県	公益財団法人介護労働安定センター 島根支部	くにびきメッセ 多目的ホール
12月19日(木)	沖縄県	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会	沖縄産業支援センター
1月9日(木)	愛知県	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ	名古屋市公会堂 (岡谷鋼機名古屋公会堂)

The Association for Technical Aids(ATA)

15

介護ロボット地域フォーラム開催の様子



The Association for Technical Aids(ATA)

16

介護ロボットの試用貸出リスト(相談窓口等を通じて問合せ)



○ 掲載企業:82社

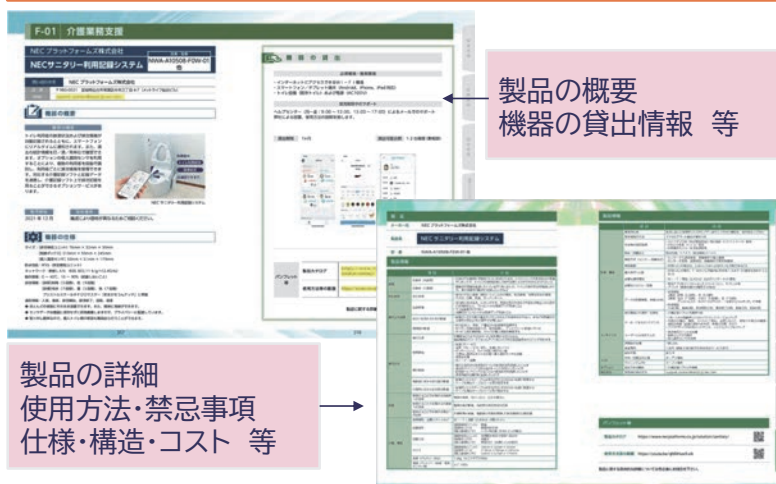


リストのダウンロード

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab33_detial

The Association for Technical Aids(ATA)

本リストは、厚生労働省が実施する介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の相談窓口等において、**開発企業と試用貸出を希望する介護施設等の取次等で活用**される。
また、協会ホームページ等で広く周知する。



製品の概要
機器の貸出情報 等

製品の詳細
使用方法・禁忌事項
仕様・構造・コスト 等

福祉用具・介護ロボット試用貸出事業(直接、開発企業へ問合せ)

貸出機器情報

※下記一覧の貸出欄に“○”が付いているものが貸出可能な機器となります。
※機器の貸出を希望される場合は、詳細情報PDFに記載の「メーカー問合せ先」へ直接お申し込みください。
※貸出の条件(期間、料金など)はメーカーや機種ごとに異なります。詳細は直接メーカーへお問い合わせください。

【一時貸出】・・・イベントや研修会等での数日間の貸出 【試用貸出】・・・機器の導入を前提とした長期間の貸出

011 移乗支援(装着)	012 移乗支援(非装着)	021 移動支援(屋外)
022 移動支援(屋内)	023 移動支援(装着)	031 排泄支援(排泄物処理)
032 排泄支援(排泄予測)	033 排泄支援(動作支援)	041 見守り支援(施設)
043 見守り支援(兼用)	050 入浴支援	060 コミュニケーション支援
070 機能訓練支援	080 服薬支援	090 認知症生活支援・ケア支援
100 食事・栄養管理支援	110 口腔ケア支援	120 介護業務支援(情報共有、記録、請求等)
130 介護業務支援(掃除、洗濯、調理等)	140 体位変換・床ずれ予防支援	150 レクリエーション
160 聴覚支援	170 視覚支援	300 その他

フリーワード

検索

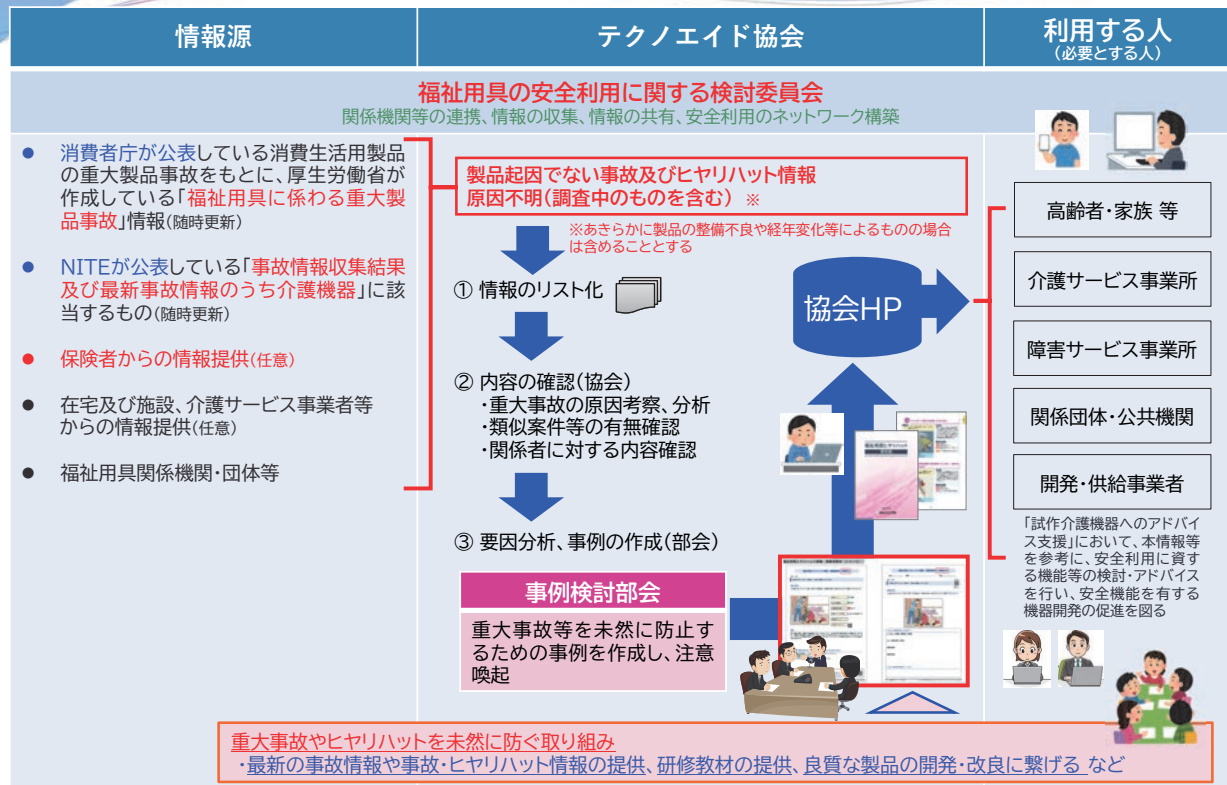
クリア

カテゴリ	登録No.	製品画像	機器名称/メーカー名	主な特長	詳細情報/動画	一時貸出	試用貸出
011 移乗支援(装着)							
	011-240084		Apogee+(アポジー・プラス) GBS株式会社	German Bionicの第6世代製品となる移乗用パワースーツApogee+(アポジー・プラス)は、最大30Kgの持ち上げ支援を提供する国内で入手可能な機器として最もパワフルな製品です。		○	○
	011-240082		介護専用アシストスーツ J-PAS fleairy (ジェイバスフレアリー) (株) ジェイテクト	装着者の動きを検知し、モーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブ型アシストスーツで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。		-	○

The Association for Technical Aids(ATA)

18

福祉用具等の安全利用に関する取り組み



The Association for Technical Aids(ATA)

19

福祉用具等の安全利用に関する取り組み

「事故・ヒヤリハット情報」の情報収集を行っております

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

最新の事故情報と安全な利用を推進するヒヤリハット情報を提供いたします

お知らせ NEW!

- 2025.01.16 【外部リンク】令和7年度「情報バリアフリー役務提供事業推進助成金」の交付
- 2025.01.16 ATLife2025「台湾福祉用具・長期介護展」開催のお知らせ
- 2025.01.09 導入支援の対象となりうる製品情報の提供について(介護テクノロジーから)
- 2025.01.09 福祉用具に係る重大製品事故について(令和7年1月6日現在)
- 2025.01.01 福祉用具情報システム(TAIS)最新情報(令和7年1月1日)を更新しました

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(厚生労働省) NEW!!

- 2025.01.06 導入支援の対象となりうる製品情報の収集・提供について NEW!!
- 2024.12.23 介護ロボット全国フォーラムの開催について NEW!!
- 2024.11.26 介護ロボットの開発・導入助成制度の補償について
- 2024.10.08 介護テクノロジー等活用ミーティングの開催について

障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会2024」

- 2024.11.12 公式パンフレットを公開しました
- 2024.10.01 Web開催がスタートしました(令和7年1月31日まで交流が可能)
- 2024.08.06 事前登録を開始しました
- 2024.08.05 地域交流会(ATAサテライト)の開催について

補聴器関係はこちら

認定補聴器技術者

福祉用具プランナー情報システム

福祉用具 eラーニング講座 (どなたでも受講できます)

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報 NEW!

福祉用具情報システム(TAIS) NEW!

- 用具検索(17,367件)
- 企業検索(791社)
- TAISへの情報登録(令和7年1月17日現在)

The Association for Technical Aids(ATA)

20

[サイト内検索](#)
[検索](#)
[協会紹介](#)
[アクセス](#)
[リンク・著作権・免責事項](#)
[個人情報保護方針](#)
[情報公開](#)
[賛助会員](#)
[リンク集](#)
[事業一覧](#)
[各種システム](#)
[調査研究](#)

最新事故情報

消費者庁、NITEが公表する**最新の事故情報**と都道府県等から情報提供された件数や特徴を掲載しています

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

この『福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報』は、福祉用具及び介護テクノロジーの利用にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、その要因分析及び加工を行い、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止することを目的としたものです。

Case:342
便器固定型の手すりの脚部に垂いすのキャスターが

Case:193
幼児が潜り込んでいたり、ゴミ箱があることに気づ

Case:128
段差解消機のスロープにさしかかったところで、後

[最新事故情報](#)
[事例検索](#)
[事例集](#)
[情報提供のお願い](#)
[情報の取り扱い](#)
[リンク集](#)
[研修教材](#)
[お知らせ](#)

The Association for Technical Aids(ATA)

21

1.最新事故情報の検索

厚生労働省、消費者庁、NITEが公開している
介護機器に係る事故及びヒヤリハット情報

都道府県等を通じて、
情報収集した事故及びヒヤリハット情報

1. 最新事故情報の検索

厚生労働省

福祉用具に係る重大製品事故について（令和7年1月6日現在）（PDF：286KB）
福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について（令和3年3月5日付 厚生労働省 事務連絡）（PDF：105KB）

事故情報データベースシステム
消費者庁

生命・身体被害に関する「消費生活上の事故情報」を公開。

事故情報を見える
382,909件
検索する

SAFE-Lite（セーフ・ライト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

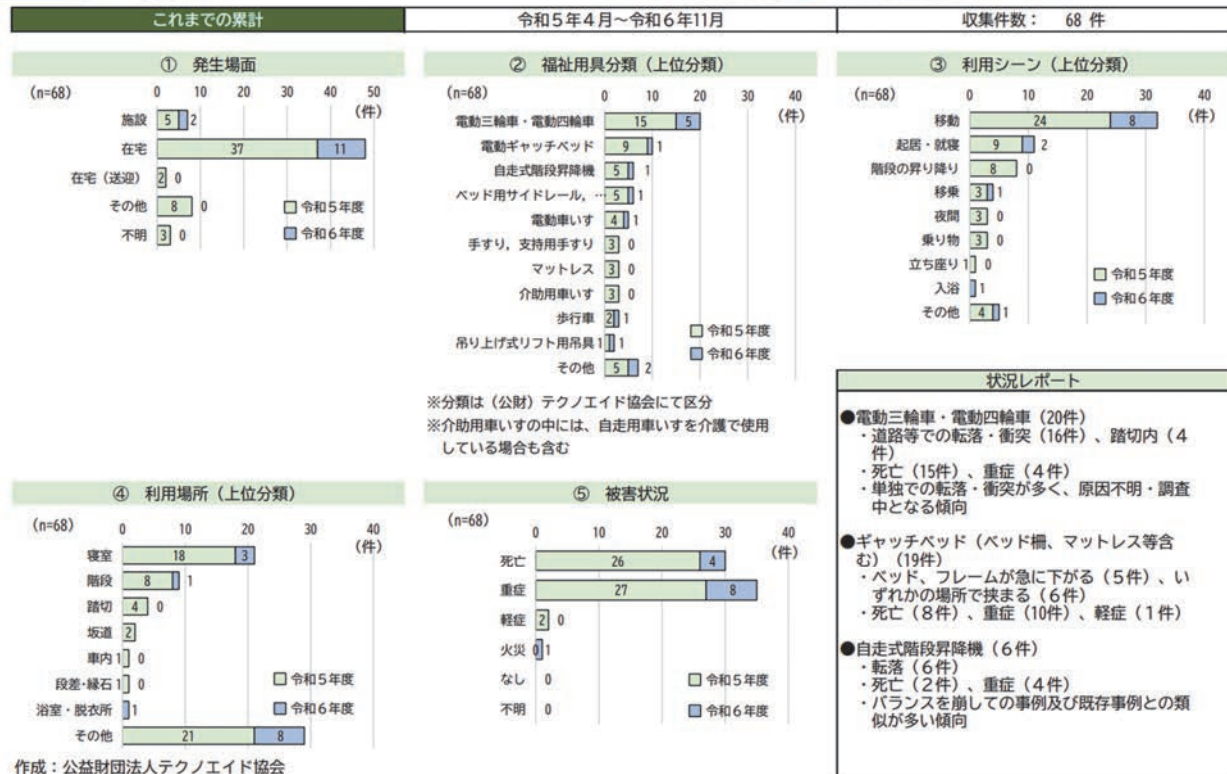
製品事故に特化したWeb検索ツール。感覚的な言葉から事故情報を検索、製品事故リスクへの気づきに活用。

NITE SAFE-Lite
フリーワードで探す
検索条件から探す
検索する

The Association for Technical Aids(ATA)

22

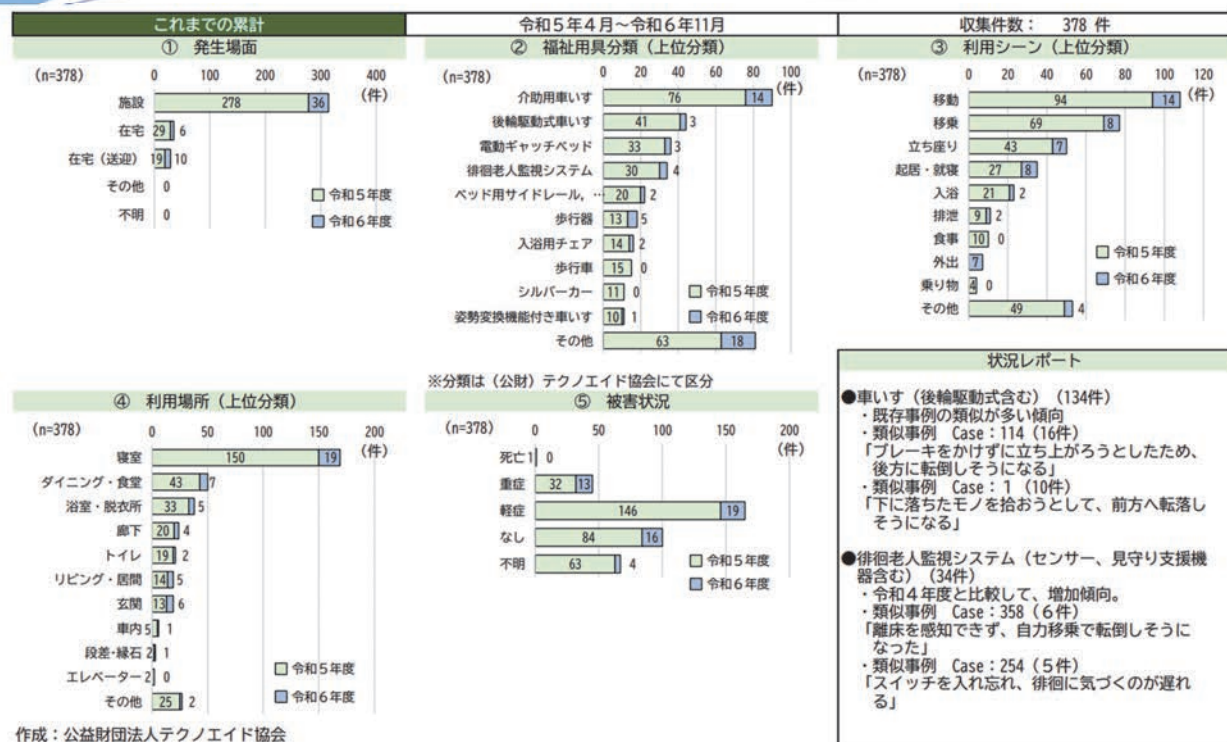
2.最近の傾向(消費者庁やNITEが公表する最新の事故情報)



The Association for Technical Aids(ATA)

23

2.最近の傾向(都道府県等から情報提供された事故・ヒヤリハット)



The Association for Technical Aids(ATA)

24

福祉用具等の利用にかかわるヒヤリハット情報の提供

福祉用具等の利用にかかわる事故及びヒヤリハット情報について、協会ホームページを通じて、広く情報発信している。

事例を探す

1月9日時点 **412件**

利用シーン から探す

起居・就寝

移動

立ち座り

移動

排泄

入浴

食事

整容

コミュニケーション

リモコン操作

階段の昇り降り

外出

乗り物

夜間

その他

主な 利用場所 から探す

寝室

リビング・居間

ダイニング・食卓

トイレ

浴室・脱衣所

廊下

階段

玄関

ドア・自動ドア

段差・縁石

坂道

脇切

車内

エレベーター

エスカレーター

その他

169件の結果があります

下に落ちた車いすを踏破りとして、前方へ転落しそうになる

1月9日時点 1件

詳細へ

フロントサドルを踏んだ状態で立ち上がり、車いすごと転落しそうになる

1月9日時点 1件

詳細へ

わずかな段差を乗り越えようとして、前方へ転落しそうになる

1月9日時点 1件

詳細へ

前後の足がフロントサドルから落ちた状態で、車いすごと転落しそうになる

1月9日時点 1件

詳細へ

前後の足がフロントサドルから落ちた状態で、車いすごと転落しそうになる

1月9日時点 1件

詳細へ

テクノエイド協会ホームページ ヒヤリハット情報 <https://www.techno-aids.or.jp/hiyari/>

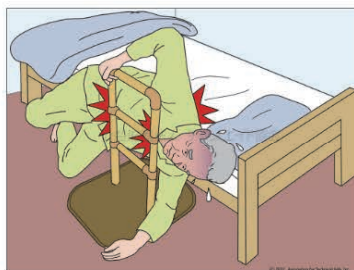
The Association for Technical Aids(ATA)

25

事故や怪我に繋がるような危険な使い方及び場面、事象等の一例

■ 手すりや普通ベッド

寝返りが原因でベッドから転落した際、横に設置していた床置き形手すりとの隙間に挟まってしまった

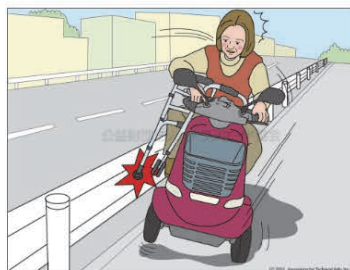


解説

床置き形手すりは、手すりの付属しない木製ベッドに組み合わせて使用されることが多くありますが、ベッドに固定されているわけではありませんが、どうしても隙間ができてしまいます。このような隙間のリスクを認識して、危険が予想される場合は介護用のベッドを利用するなどの対応が求められます。

■ 電動三輪車と歩行器

外出先で使用する歩行車を運転席にのせて走行したが、車体からはみ出っていたためガードレールと接触してしまった



解説

走行中の接触ではかなり大きな衝撃が予想されます。利用者のケガにとどまらず、歩行車への加害も考えられる危険な事例です。電動車いすは、歩行に何らかの補助が必要な人が利用するものであり、歩行補助具を積載しての走行は想定されるところですが、歩行車の安全な積載については難しいというのが現状のようです。メーカーの開発努力が期待されるところです。

■ 送迎車

車いすの固定はしっかりと出来ていたが、本人が苦しいので車両のシートベルトはつけていなかった。まさか、急ブレーキがかかるとは考えていなかった



解説

車両に乗車中のシートベルトは、一般の座席でも車いすでも同様に必要な安全装置です。車いすにも座位保持用の安全ベルトが装着されている場合がありますが、車両のものとは目的が違いますので、必ず車両のシートベルトを装着しましょう。

テクノエイド協会では、収集した情報をもとに想定される要因分析を行い、上記のような事例を作成します。

The Association for Technical Aids(ATA)

26

製品に起因しない事故及びヒヤリハットの一例

■ 車いす

介助者が急いで開こうとして、指をシートパイプとフレームの隙間に挟んだ



解説

車いすの操作に不慣れな人に起こりやすいヒヤリ・ハットではないでしょうか。車いすの操作の説明をする人は、このようなことが起きないように注意を促してください。操作する人は、例え急いでも基本通りに操作し、習慣化することが大切です。

■ ベッド

ベッドの高さを上げるつもりが、背上げの操作ボタンを押してしまい、バランスを崩した

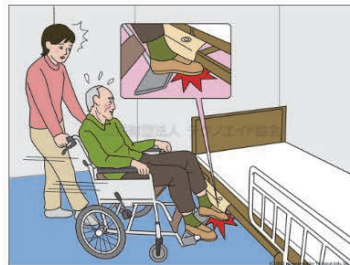


解説

立ち上がりをするために、ベッドの高さを上昇させようとし、間違えて背上げの操作ボタンを押したのかもしれませんが、すぐに間違いに気がつけば大事には至らないことではあります。パニックになってしまうことも考えられます。頻繁にこのような操作ミスが起こるときは、操作ボタンに目印を付けるなどの予防策を講じてはいかがでしょうか。

■ 車いすと移乗

利用者の片方の足がフットサポートからずり落ちていたが、介助者がそれに気づかず車いすを操作し、つま先をぶつけた



解説

特に姿勢が崩れていると足の先端は介助者が思うよりずっと先に出ていることがあります。足先は介助者からは死角になる見づらいので、特に狭い場所での移動には注意しましょう。クッション・パッドを利用したり、車いすを調整するなど座位が崩れない工夫も必要です。

The Association for Technical Aids(ATA)

27

研修教材の提供

研修教材 を利用シーンから探す



起居・就寝 (90件)



移乗 (67件)



立ち座り (56件)



移動 (175件)



排泄 (19件)



入浴 (40件)



食事 (9件)



整容 (0件)



コミュニケーション (0件)



リモコン操作 (35件)



階段の昇り降り (20件)



外出 (98件)



乗り物 (14件)



夜間 (18件)



その他 (22件)

フリーワード検索

車いす 踏切

検索

全件表示

1月15日時点 412件

研修教材の出力方法

クリア

412件の結果があります

1 2 3 4 >

The Association for Technical Aids(ATA)

28

介護ロボットの開発・導入助成制度の調査



介護ロボットに係る助成について、**開発企業に役立つ情報(シーズ側)**と、**介護施設に役立つ情報(ニーズ側)**の双方の側面から**全国調査**を行い、その結果を都道府県ごとにまとめた。

○開発助成制度の調査結果:79件

No.	都道府県	施設件数
1	北海道	4件
2	青森県	5件
3	岩手県	1件
4	宮城県	1件
5	秋田県	2件
6	山形県	2件
7	福島県	2件
8	茨城県	1件
9	栃木県	1件
10	群馬県	2件
11	埼玉県	1件
12	千葉県	1件
13	東京都	3件
14	神奈川県	6件
15	新潟県	1件
16	富山県	3件
17	石川県	2件
18	福井県	1件
19	山梨県	4件
20	長野県	1件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	4件
23	愛知県	1件
24	三重県	1件
25	滋賀県	2件

※令和6年11月時点

○導入助成制度の調査結果:68件

No.	都道府県	施設件数
1	北海道	3件
2	青森県	1件
3	岩手県	1件
4	宮城県	2件
5	秋田県	1件
6	山形県	1件
7	福島県	2件
8	茨城県	2件
9	栃木県	2件
10	群馬県	2件
11	埼玉県	3件
12	千葉県	2件
13	東京都	1件
14	神奈川県	5件
15	新潟県	1件
16	富山県	1件
17	石川県	1件
18	福井県	1件
19	山梨県	1件
20	長野県	1件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	1件
23	愛知県	1件
24	三重県	1件
25	滋賀県	1件

※令和6年11月時点

The Association for Technical Aids(ATA)

テクノエイド協会ホームページ 介護ロボットの開発・導入助成制度の調査
<https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab37.detail>

31

開発・導入助成調査の実施結果 個票例

【**開発助成制度** 調査結果】 **企業が開発に役立つ助成制度を閲覧できる**

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R6予定	R5実績	連絡窓口
1	令和6年度青森県介護関連ビジネス開発促進事業費補助金	青森県	青森県ライフイノベーション戦略アクションプラン(2021-2025)に基づき、県内の事業者等が行う医療・介護関連製品(機器・システム)の開発・改良又は公的保険外サービスの創出に係る実証に要する経費について支援	県内に事業所を有する中小企業者等	補助対象経費の2分の1に相当する額又は50万円のいずれか低い額以内の額(最終了)	随時(予算がなくなり次第終了)	採択件数: 4件 総額(予定): 2,000,000円	採択件数: 1件 総額: 995,348円	部署 経済産業部産業イノベーション推進課 担当 佐藤 寛 電話番号 017-734-9420 FAX番号 E-mail innovation@pref.aomori.jp HP_URL https://www.pref.aomori.lg.jp/sochi/sanpco/innovation/BMACbusiness_houshou.html

【**導入助成制度** 調査結果】 **施設が導入する際に役立つ助成制度を閲覧できる**

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R6予定	R5実績	連絡窓口
1	新潟県介護テクノロジー導入支援補助金	新潟県	介護ロボットやICT機器等の介護テクノロジー導入を支援することにより、介護ロボットの本格的な導入を促進し、介護従事者の負担軽減を図るとともに、介護従事者が継続して就労するための環境整備を図るため、導入経費の一部を補助する。	【介護ロボット分】 次の①～③を満たす者 ①介護保険法に基づく指定等を受けている事業所 ②新潟県内に所在する事業所 ③新潟県から補助を受けて介護ロボットを導入した実績がない事業所	【介護ロボット分】 ・ 目的要件、技術的要件、市場的要件を満たす介護ロボット ・ 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費 ・ 経費用の1/2を補助(補助上限額あり)	2024年9月30日(月)から 2024年12月27日(金)	採択件数: 未定 (R6～R8で157件採択予定) 総額(予定): 36,467千円	採択件数: 23件 総額: 7,666千円	部署 新潟県高齢福祉保健課 担当 松原 光 電話番号 025-280-5272 FAX番号 025-280-5229 E-mail nishikubara.kazu@pref.niigata.lg.jp HP_URL https://www.pref.niigata.lg.jp/sen/senryo/kaisaku/teknology2024.html

The Association for Technical Aids(ATA)

32

介護テクノロジー導入支援事業 実態調査の実施

拡
充

介護テクノロジー導入支援事業

(地域医療介護総合確保基金(介護従事者確保分)) (“介護ロボット導入支援事業・ICT導入支援事業”の発展的見直し)

令和6年度当初予算額 地域医療介護総合確保基金(介護従事者確保分)の97億円の内数(137億円の内数) ※ ()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 介護人材の確保が喫緊の課題とされる中で、介護ロボットやICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進める事により、職員の業務負担軽減を図るとともに、生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充て、介護サービスの質の向上にも繋げていく介護現場の生産性向上を一層推進していく必要がある。
- 「介護ロボット導入支援事業」「ICT導入支援事業」の統合・支援メニューの再構築を行い、介護職員の業務負担軽減や職場環境の改善に取り組む介護事業者がテクノロジーを導入する際のコストを補助し、生産性向上による働きやすい職場環境の実現を推進する。

※ 下線部は令和6年度までの拡充分。太字が令和6年度で拡充した部分。

2 補助対象

- 【介護ロボット】
- 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援など、厚生労働省・経済産業省で定める「ロボット技術の介護利用における重点分野」に該当する介護ロボット
- 【ICT】
- 介護ソフト(機能実装のためのアップデートも含む)、タブレット端末、スマートフォン、インカム、クラウドサービス、他事業者からの照会経費等
 - Wi-Fi機器の購入設置、業務効率化に資するバックオフィスソフト(勤怠管理、シフト管理等)
- 【介護現場の生産性向上に係る環境づくり】
- 介護ロボット・ICT等の導入やその連携に係る費用
 - 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備
 - Wi-Fi環境の整備、インカム、見守りセンサー等の情報を介護記録にシステム連動させる情報連携のネットワーク構築経費等
- 【その他】
- 上記の介護ロボットやICT等を活用するためのICTリテラシー習得に必要な経費

4 実施主体、実績

事業	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
介護ロボット導入支援事業(※1)	58	364	505	1,153	1,813	2,297	2,720
ICT導入支援事業(※2)					195	2,560	5,371

実施主体

国(国2/3) → 都道府県 → 一部助成 → 介護施設等

※1 都道府県が認めた介護施設等の導入計画件数。1施設で複数の導入計画を作成することがあり得る

※2 補助事業所数

5 その他

- 都道府県が介護現場の生産性向上を推進する努力義務について規定(令和5年度に介護保険法の一部を改正)

The Association for Technical Aids(ATA)

33

介護テクノロジー導入支援事業 実態調査の実施

令和5年度の調査結果



9. 介護ロボット導入支援事業等の実態調査

(1) 調査目的

介護ロボットの活用を促進するために現在の導入実態を把握することが重要である。そこで、都道府県等における介護ロボット導入支援事業等の実施状況について調査を実施した。

(2) 実施概要

調査対象: 47都道府県の介護ロボット導入支援事業所等

実施方法: 電子メールより調査票送付、電子メールにて回収

調査期間: 令和5年11月20日(月)～令和5年12月20日(水) 17:00

回収件数: 47件

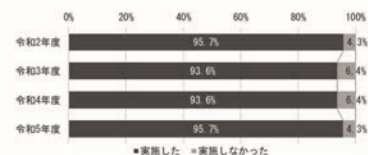
(3) 調査結果

①地域医療介護総合確保基金による令和5年度「介護ロボット導入支援事業」の実施状況

概況

●介護ロボット導入支援事業の実施状況
令和5年度は45件で地域医療介護総合確保基金による介護ロボット導入支援事業が実施された。「実施しなかった」という回答は2件あり、その理由はそれぞれ地域医療介護総合確保基金以外の財源で介護ロボットの導入支援事業を実施した、予算が限られているため実施しなかったというものであった。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施した	45	95.7%	44	93.6%
実施しなかった	2	4.3%	3	6.4%
合計	47	100%	47	100%



【令和5年度に「実施しなかった」理由】

- 他財源(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)により実施した。[宮城県]
- 予算上限等(財政部局との調整)によるもの。[福井県]

b) 来年度の実施予定

来年度の実施予定については、46件が「来年度実施を予定している」と回答した。令和5年度に介護ロボット導入支援事業を実施した45件を対象に、来年度の実施予定と実施内容を確認したところ、35件は「今年と同様に実施」、9件は「内容をより充実させて実施」と回答した。

【来年度の実施予定】

	回答数	割合
来年度実施を予定している	46	97.9%
実施の予定はない	1	2.1%
合計	47	100%

【来年度、どのように実施するか(今年度事業を実施した都道府県のみ回答)】

	回答数	割合
今年と同様に実施	35	77.6%
内容をより充実させて実施	9	20.0%
テーマ、分野を絞って実施	0	0.0%
実施しない	1	2.2%
合計	45	100%

【内容をより充実させて実施」と回答した場合の具体的な内容(主な回答)】

- 通信環境整備について、補助率の増額を検討中。
- 事業者からの要望に応じ、予算を増額して対応したい。
- 介護生産性向上総合推進事業と福祉・介護就労環境改善推進事業(ノーリフティングケア推進のための機器の活用に関する研修や業務改善アドバイザーの派遣等)を実施。
- 複数機器を連携させて更なる業務効率化に取り組む事業所への支援やケアプランデータ連携システムの活用促進につながる支援を実施したい。
- 未導入の事業所への普及促進を図る。

2025年1月、テクノエイド協会のホームページから随時、情報発信

介護テクノロジーのカテゴリから探す

9分野 16項目



移乗支援（装着）	移乗支援（非装着）	移動支援（屋内）	移動支援（屋内）	移動支援（装着）	排泄支援（排泄物処理）	排泄支援（排泄予測・検知）	排泄支援（動作支援）
見守り・コミュニケーション（施設）	見守り・コミュニケーション（在宅）	見守り・コミュニケーション（コミュニケーション）	入浴支援	介護業務支援	機能訓練支援	食事・栄養管理支援	認知症生活支援・認知症ケア支援

2,323製品

本情報の取り扱い

当協会に設置する委員会により、厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる製品選定を行い、該当すると判断されたものを掲載しております。（※）掲載している製品は、厚生労働省の導入支援事業にて各都道府県が実施している介護テクノロジーの導入支援を行う補助金の補助対象となる可能性があります。（掲載されていない製品の中にも補助対象となり得るものがありますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。）また、情報は他の福祉用具と同様、メーカーから任意に提供されたものです。従って、協会が当該製品の安全性や有効性を保証するものではありません。導入を検討する場合は、当該施設等のサービスの状況や課題等を踏まえて、慎重に検討してください。すでに製品化されている介護テクノロジーはこれ以外にもあります。

（※）まずは試用貸出リストに掲載されている製品の分類コード（CCTA95）に該当するものについて審議しました。それ以外の分類コードに該当する製品及び新たに登録された製品につきましても、引き続き審議・掲載して参りますので、当該情報につきましては、あくまで現時点のものとして参考にしてください。

The Association for Technical Aids(ATA)

35

検索結果一覧

介護テクノロジーのカテゴリから探す： 移乗支援（装着）

22件の結果があります（1件目から表示/22件中）

	株式会社イノフィス マッスルスーツ Soft-Power MS13-00 ¥54,000
	株式会社イノフィス マッスルスーツ Exo-Power:Mサイズ MS11-H0-00 ¥195,000
	株式会社イノフィス マッスルスーツ Exo-Power:Sサイズ MS11-S0-00 ¥195,000
	ユービーアール株式会社 サポートジャケット Bb+ FIT (クアタイプ) S3-FIT (C)-01 ¥32,000

福祉用具詳細

製品概要

株式会社イノフィス
マッスルスーツ Soft-Power
MS13-00
TAISコード 01553-000018
価格コード [11]123089 各の付の標準価格税別
販売年月 令和5年6月
販売価格 ¥54,000
販売価格税別 ¥54,000
製品概要 着く簡単に、新しいスタンダードな、マッスルスーツSoft-Power（ソフトパワー）は、マッスルスーツ（ソフト）で着たアシスト技術をもとにしたサポート力、快適性を追求し、高齢者の生活の質を向上させることを目的としています。

仕様・機能・性能等

カラー	ブラック
サイズ	フリー
本体重量	450g
補助力	原
適用身長	150cm～180cm
適用上の注意	本品は洗濯ネットに入れて、洗濯機で洗えます。洗濯後は陰干しで乾かしてください。
PDFファイル	パンフレット、Soft-Power、製品説明書、取扱説明書、保証書、お問い合わせ先
販売サイト	株式会社イノフィス、株式会社イノフィス、株式会社イノフィス、株式会社イノフィス
お問い合わせ先	株式会社イノフィス、株式会社イノフィス、株式会社イノフィス、株式会社イノフィス

The Association for Technical Aids(ATA)

36

令和6年6月28日
【国谷先】
老健局 高齢者支援課
介護ロボット政策調整官 佐藤 悠一
主査 兼子 雄
(代表電話) 03(5253)1111 (内線3875)
(直通電話) 03(3595)2888

報道関係者 各位

「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂しました
～テクノロジーの活用で、介護現場の課題解決を推進します！～

経済産業省と厚生労働省は、介護ロボットやICT等のテクノロジーを活用した介護サービスの質の向上、職員の負担軽減、高齢者等の自立支援を推進するべく、「ロボット技術の介護利用における重点分野」の改訂を行うとともに、名称を「介護テクノロジー利用の重点分野」に変更します。

1. 背景及び概要

厚生労働省及び経済産業省では「ロボット技術の介護利用における重点分野」（2012年策定、2014年・2017年改訂）を定め、介護ロボットやICT等のテクノロジー（以下、「介護テクノロジー」という）を活用した介護サービスの質の向上、職員の負担軽減、高齢者等の自立支援による生活の質の維持・向上に資する取組を推進するため、介護ロボット等の開発・導入を支援してきました。

※両省における支援策

経済産業省 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強化事業
(ロボット介護機器開発等推進事業)

厚生労働省 介護テクノロジー導入支援事業、介護テクノロジー定着支援事業

昨今のICT・IoT技術を用いたデータ活用が進む状況や、介護現場における新たな社会課題を踏まえつつ、革新的な機器の開発促進・普及を目指すため、「ロボット技術の介護利用における重点分野」の改訂を行うとともに、名称を「介護テクノロジー利用の重点分野」に変更します。

なお、今回の改訂内容を、令和7年度以降の施策に反映してまいります。

2. 重点分野の改訂

介護テクノロジー利用の重点分野として、新たに3分野を追加し、合計で9分野16項目となります。また既存の分野・項目の定義文についても必要な見直しを行いました。詳細は4. の別添資料をご確認ください。

なお、関係企業の皆様へ参考としていただくため、今回の見直し後の重点分野の全体像と既存分野の機器の普及率、他の機器やシステムとの連携を定義文において明記した項目を整理しましたので、あわせてご参照ください。

(1) 追加する3分野

- ・機能訓練支援
- ・食事・栄養管理支援
- ・認知症生活支援・認知症ケア支援

(2) 定義文の見直しを行う分野・項目

- ・移乗支援 (装着)
 - ・移乗支援 (非装着)
 - ・排泄支援 (排泄予測・検知)
 - ・見守り・コミュニケーション (施設)
 - ・見守り・コミュニケーション (在宅)
 - ・見守り・コミュニケーション (コミュニケーション)
 - ・入浴支援
 - ・介護業務支援
- (注) () 内は項目名

3. 今後の予定

2025年4月から改訂後の重点分野での運用を開始する予定です。

4. 添付資料

- ・【別添】ロボット技術の介護利用における重点分野 (令和6年6月改訂)
- ・(参考) 介護テクノロジー利用の重点分野の全体図と普及率
- ・(参考) 介護テクノロジー利用の重点分野定義



介護テクノロジー利用の重点分野

移乗支援 1	移動支援 3	排泄支援 7	見守り・コミュニケーション	介護業務支援 13
装着 介護者のパワーアシストを行う装着型の機器 	屋外 高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器 	排泄予測・検知 排泄を予測又は検知し、排泄タイミングの把握やトイレへの誘導を支援する機器 	見守り(施設) 10 介護施設において使用する、各種センサー等や外部通信機能を備えた機器システム、プラットフォーム 	介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等への介護サービス提供に関わる業務に活用することを可能とする機器・システム
非装着 2 介護者による移乗動作のアシストを行う非装着型の機器 	屋内 4 高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器 	排泄物処理 6 排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整可能なトイレ 	見守り(在宅) 11 在宅において使用する、各種センサー等や外部通信機能を備えた機器システム、プラットフォーム 	新たに追加 機能訓練支援 14 介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム
入浴支援 9 入浴におけるケアや動作を支援する機器 	装着 5 高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器 	動作支援 8 ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器 	コミュニケーション 12 高齢者等のコミュニケーションを支援する機器 	認知症生活支援・認知症ケア支援 15 認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム
				食事・栄養管理支援 16 高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム



ご清聴、ありがとうございました

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
セントラルプラザ4階

電話 03-3266-6883
電子メールアドレス itou@techno-aids.or.jp



介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況

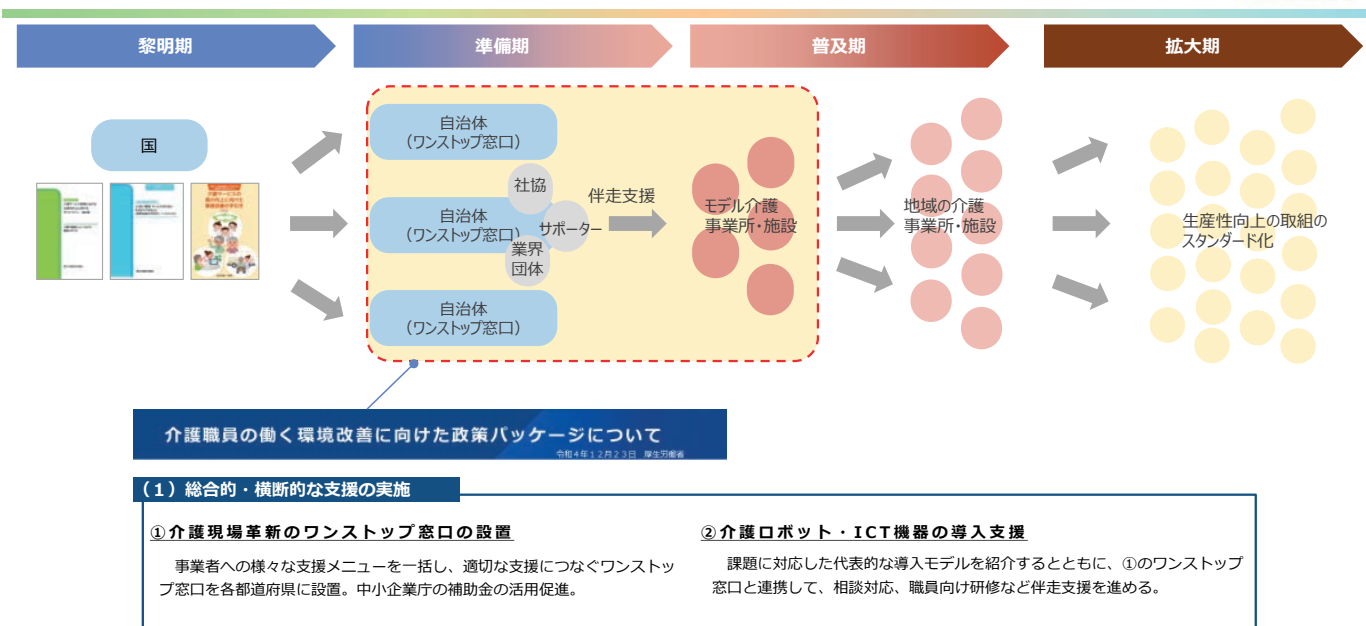
令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業

株式会社NTTデータ経営研究所
ライフ・バリュー・クリエイションユニット グループ
太刀川 遼

©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

0

介護分野における生産性向上関連事業の展開イメージ



(出所)：厚生労働省 介護職員の働く環境改善に向けた政策パッケージについて

©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

1

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム



©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

2

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム

相談窓口、リビングラボ、ワンストップ窓口 ※令和6年10月11日時点



相談窓口			リビングラボ			生産性向上相談センター（ワンストップ窓口）					
#	所在地	名称	#	所在地	名称	#	都道府県名	#	都道府県名	#	都道府県名
1	岩手	（公財）いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター	1	宮城	東北大学青葉山リビングラボ	1	北海道	11	長野県	21	岡山県
2	栃木	とちぎ福祉プラザモデルルーム 福祉用具・介護ロボット相談・活用センター	2	東京	Care Tech Lab （株）善光総合研究所	2	青森県	12	富山県	22	広島県
3	茨城	（公財）介護労働安定センター茨城支部 介護ロボット・ICT相談窓口	3	東京	Future Care Lab in Japan （SOMPOケア（株））	3	秋田県	13	福井県	23	愛媛県
4	埼玉	（福）埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館	4	千葉	柏リビングラボ （（国研）産業技術総合研究所）	4	宮城県	14	山梨県	24	高知県
5	福井	（公財）介護労働安定センター福井支部 介護ロボット・ICT相談窓口	5	愛知	藤田医科大学 ロボティクススマートホーム・ 活動支援機器研究実証センター	5	山形県	15	岐阜県	25	長崎県
6	奈良	（公財）介護労働安定センター奈良支部 介護ロボット・ICT相談窓口	6	愛知	（国研）国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター	6	福島県	16	愛知県	26	大分県
7	鳥取	（公財）介護労働安定センター鳥取支部 介護ロボット・ICT相談窓口	7	岡山	ロボット活動支援機器実証センター （吉備高原医療リハビリテーションセンター）	7	千葉県	17	三重県	27	鹿児島県
8	山口	（公財）介護労働安定センター山口支部 介護ロボット・ICT相談窓口	8	福岡	スマートライフケア共創工房 （（大）九州工業大学）	8	東京都	18	大阪府		
9	香川	（公財）介護労働安定センター香川支部 介護ロボット・ICT相談窓口				9	神奈川県	19	兵庫県		
10	佐賀	（公財）介護労働安定センター佐賀支部 介護ロボット・ICT相談窓口				10	新潟県	20	和歌山県		
11	熊本	（公財）介護労働安定センター熊本支部 介護ロボット・ICT相談窓口									

©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

3

介護ロボット導入の効果の考え方

■ 介護ロボット導入の効果の考え方

介護ロボット
導入の効果

=

介護ロボットの導入

×

マネジメント

例) 見守りロボット

見守りロボットの
効果



=

見守りロボットの導入

- 利用者の動きを検知し、**アラームを鳴らす**
- タブレットに**居室内の画像**を映し出す

×

見守りロボットのオペレーション
の再構築

- **どのような利用者**に使うか／使わないか
- タブレットの**充電管理ルール**
- **アラームの音量**は3
- **訪室ルール**
寝返り→訪室なし
ベッドからはみ出し→後で訪室
ベッド上起居→急いで訪室

(出典) 介護ロボットポータルサイト、「ロボット技術の介護利用における重点分野」

相談窓口の取組 -概要-



各種相談への対応

RENT

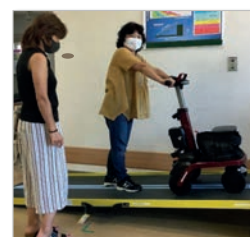
介護ロボットの試用貸出



体験展示



研修会の開催



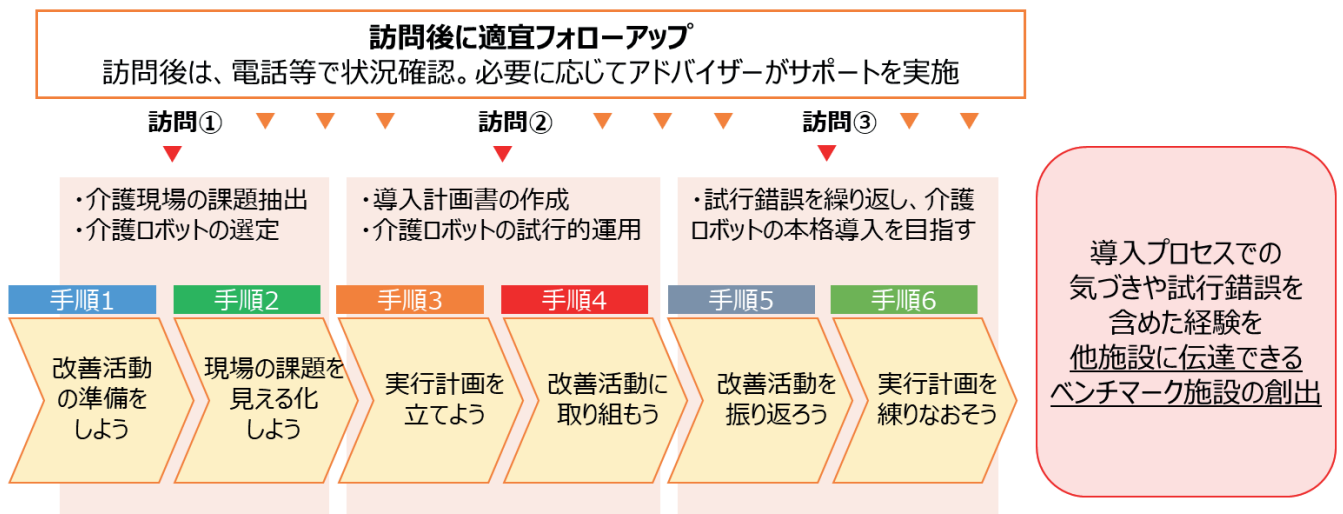
相談窓口の取組 -体験展示-



※各相談窓口では「ロボット技術の介護利用における重点分野」（平成29年10月改定）における6分野13項目に該当する製品及び介護ロボットの試用貸出リストの中から原則8種類の介護ロボットの展示を行っています。

相談窓口の取組 -伴走支援-

■ 伴走支援のイメージ



相談窓口の取組 -介護ロボットのパッケージ導入モデル-



■ 介護ロボットのパッケージ導入モデル



出典) 介護ロボットのパッケージ導入モデル <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000928398.pdf>

相談窓口の取組 -研修会-



介護ロボット活用推進 研修会のご案内

本研修会は、参加者が介護ロボットを効果的に導入するためのステップや、ポイントを理解することで、課題解決に必要な機軸の確立等、円滑な介護ロボットの導入及び活用につなげることを目的として開催いたします。また、介護ロボットの導入を効果的にするため、現場の課題を抽出することが特長となることとなります。本研修会のワークショップでは、効果的に現場の課題を抽出する「因果関係図づくり」の手法について学ぶことができます。

対象 ▶ 介護事業所・施設の経営者及び現場職員 **先着 24名**

定員 ▶ 先着順：1施設2名様（経営者1名・現場担当者1名）

日程・会場

開催場所 ▶ 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）1階 福祉ホール

2021年6月19日（土）13:00～16:00（受付開始 12:30）

プログラム

12:55-13:00 オリエンテーション

13:00-13:05 開会のあいさつ
富山県介護実習・普及センター 所長 高瀬 真由子

**13:05-13:15 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業
地域拠点の役割と事業内容についてのご紹介**

13:15-13:55 講演：「介護ロボットの効果的な導入方法」
介護ロボットに期待されるメリットと効果的な導入・活用へのアプローチ
株式会社NTTデータ経営研究所 北山 圭司

**13:55-15:55 ワークショップ
「現場の課題を見える化する因果関係図づくり」**
株式会社NTTデータ経営研究所 北山 圭司、大澤 昌浩、北山 真

16:00 閉会のあいさつ
富山県介護実習・普及センター

主催：富山県介護実習・普及センター
「厚生労働省：令和3年度 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業」

【問合せ先】 〒930-0094 富山市安住町5番21号 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）2階
富山県介護実習・普及センター
担当 高瀬 真由子 電話 076-403-6840
TEL 076-403-6840
FAX 076-432-6307

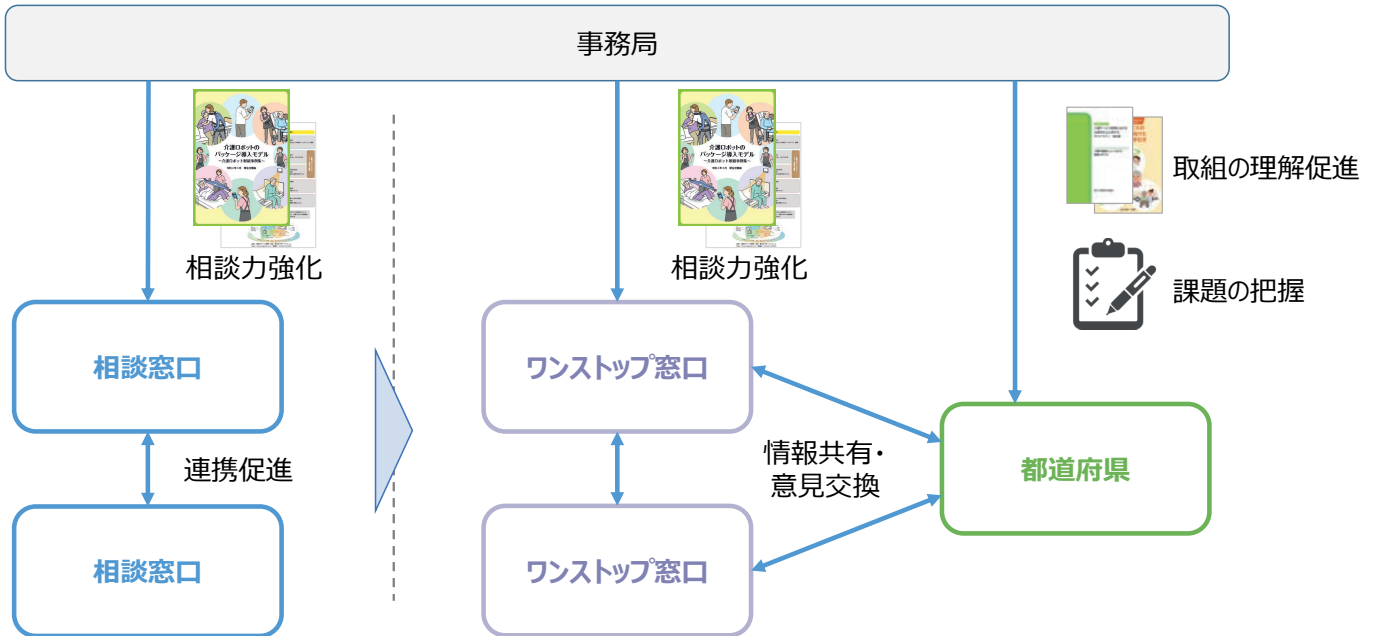


研修の様子



研修会の開催概要の一例

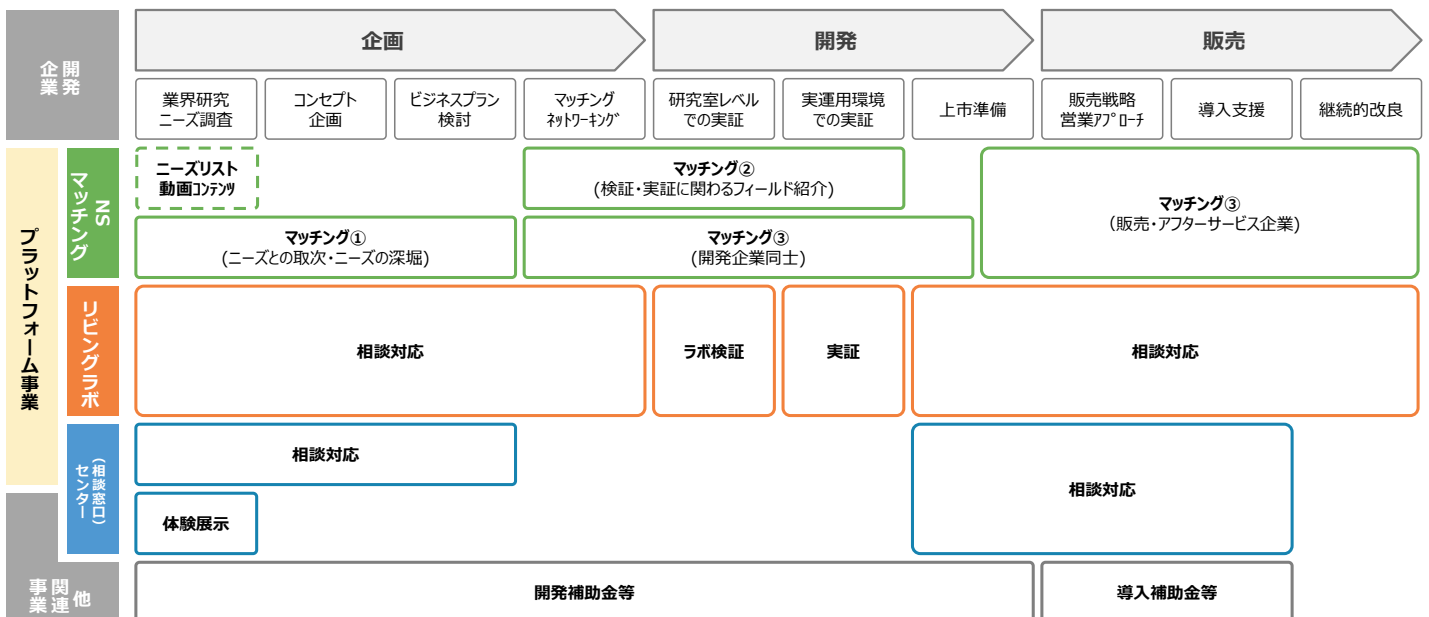
中央管理事業の取組



©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

10

開発企業に対する支援の概要



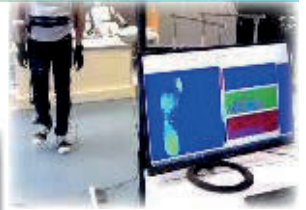
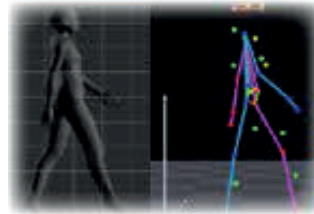
©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

出典) 介護テクノロジー開発ガイドブック 開発企業編 および 支援機関編 より弊社にて一部改変 11

リビングラボの取組 -概要-



介護ロボットの製品評価・効果検証



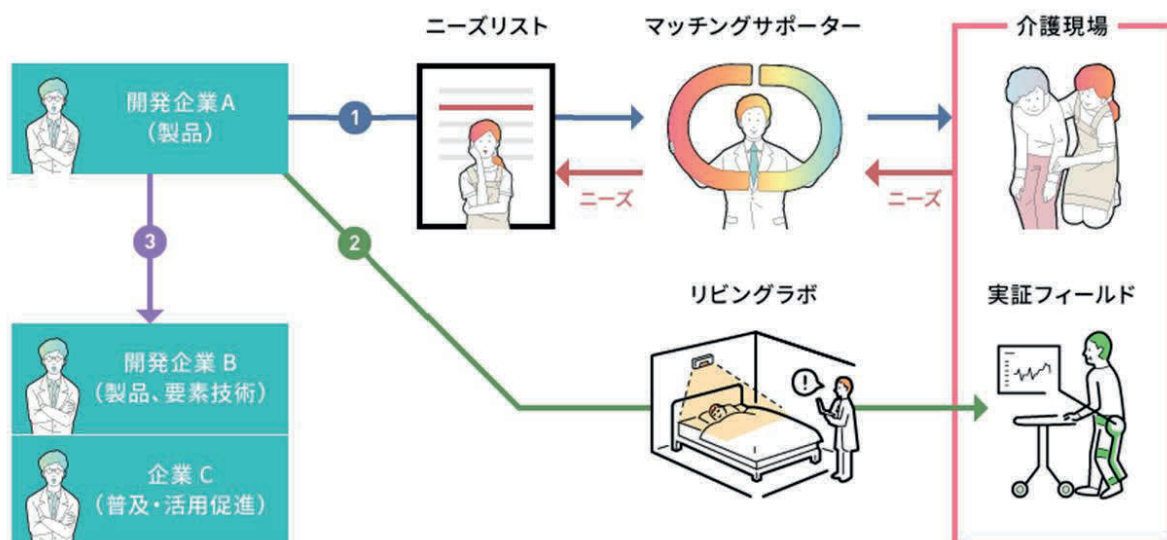
介護現場での実証支援



©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

12

ニーズ・シーズマッチング支援事業



©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

ニーズリスト（施設の場合）



		課題の持ち主	
		被介護者	介護者
生活 場面	睡眠	・排泄確認による睡眠障害と業務の効率化 ・夜間の見守り業務における精神的・身体的負担	・排泄確認による睡眠障害と業務の効率化 ・利用者の体調変化や事故に対する適切な判断・対応の標準化と職員支援 ・夜間の見守り業務における精神的・身体的負担
	覚醒・起居	・夜間の見守り業務における精神的・身体的負担	・利用者の体調変化や事故に対する適切な判断・対応の標準化と職員支援 ・デイルーム・トイレ・居室における見守り・声掛け ・夜間の見守り業務における精神的・身体的負担 ・トイレ・ベッドでの移乗介助時の腰部の負担軽減
	離床		
	移乗	・吊り上げないベッド・車椅子間の移乗介助 ・排泄時の移乗介助（車いす便座）・立位保持における介護者の身体的負担 ・トイレへの歩行車での安全な移動	・移乗リフト操作技術の習得 ・吊り上げないベッド・車椅子間の移乗介助 ・狭小スペースにおける排泄介助 ・排泄時の移乗介助（車いす便座）・立位保持における介護者の身体的負担



<https://www.mhlw.go.jp/kaigoseisansei/ns/needs/institution.html>

©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

ニーズリスト 詳細



介護現場のニーズリスト

排泄確認による睡眠障害と業務の効率化

● 場面

睡眠、排泄、記録・情報共有

場面の詳細

病院・介護施設の夜間帯における排泄（排便）支援①病院・介護施設の職員による排泄（排便）確認②利用者が排泄（排便）したことの意味伝達ができない場面

● 課題の持ち主

被介護者、介護者（介護職、専門職）

課題の持ち主の詳細

①病院・介護施設の職員、②病院・介護施設の利用者本人

● 課題の具体的内容

病院・介護施設の夜間帯における排泄（排便）については、臭いや衛生面（皮膚トラブルの防止）の観点から早急に対応する必要があるが、実際に排泄しているかどうか、一人ひとり排便の有無を確認していかなければならず、定期的な確認作業を余儀なくされている。
また、頻回な確認作業により、利用者の睡眠を阻害してしまう事も多々あり、睡眠リズムの乱れにつながっている。

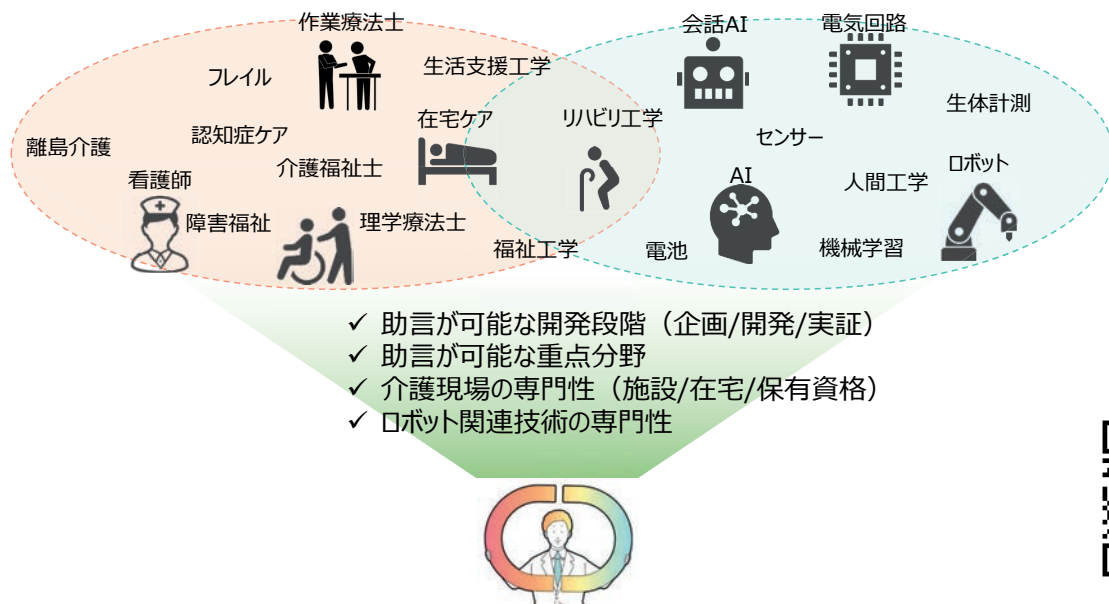
©2024 令和6年度 介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業

16

マッチングサポーター



マッチングサポーターの専門性



（ご案内）ニーズ・シーズマッチング支援事業 是非エントリーください



<https://www.mhlw.go.jp/kaigoseisansei/ns/>



The screenshot shows the MATCHING 2024 website. The '企業エントリー' (Company Entry) button is highlighted with a red box. The website features a large circular graphic with 'NEEDS' and 'SEEDS' sections, and text stating '新しい介護イノベーションはここから生まれる' (New nursing innovation is born here).

介護ロボットプラットフォーム



介護ロボット全国フォーラム

介護施設向けタイムスタディアプリの モニター報告について

2025年1月31日

パラマウントベッド株式会社 技術開発本部 要素技術部

小林有華



WELL-BEING for all beings

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

会社概要

PARAMOUNT BED

事業内容

医療・介護用ベッドを中核製品とした総合ヘルスケア事業

1. 医療・介護用ベッド等および什器備品の製造、販売
2. 医療福祉機器および家具等の製造、販売
3. 上記品目に関する輸出入、リース、レンタル、および保守・修理

会社概要

社 名 パラマウントベッドホールディングス株式会社
 資本金 42億743万300円（2024年3月31日現在）
 代表者 代表取締役社長 木村 友彦
 売上高 1060億16百万円（連結、2024年3月期）
 従業員 4,126名（連結、2024年3月31日現在）

パラマウントベッドグループ

パラマウントベッド	パラテクノ	パラマウントケアサービス
【主な事業内容】 医療福祉用ベッド、マットレス、介護用器具、 医療用器具備品等の製造および販売	【主な事業内容】 ベッド・マットレスの点検・修理、消毒、メン テナンスサービス等のサービスの提供	【主な事業内容】 パラマウントベッド製品をはじめとするさまざまな 福祉用器具を賃貸事業やリース事業へ貸出しするレンタ ル事業

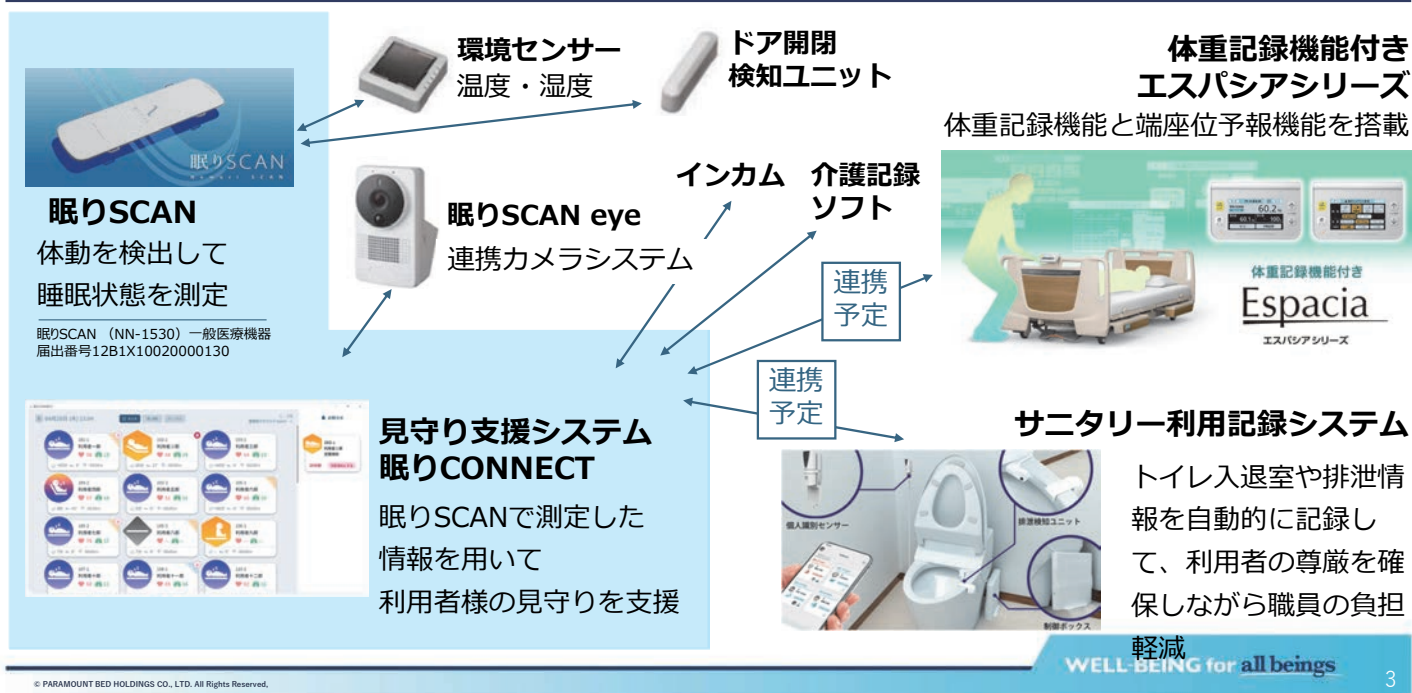


WELL-BEING for all beings

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パラマウントベッドが取り組む介護のデジタル化

PARAMOUNT BED



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

タイムスタディアプリ開発の背景

PARAMOUNT BED



製品・サービスを提供する中で、お客様から
「導入効果の見える化をしたい」
「PDCAを回すために業務を見直したい」
の声を多数いただき、
機器導入・業務改善の支援ツールとして
2022年にタイムスタディアプリの開発に着手しました

WELL-BEING for all beings

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

タイムスタディアプリ ときKANRI

WELL-BEING for all beings

5

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

タイムスタディとは

PARAMOUNT BED

誰がいつどのような業務を、どの程度の時間をかけて行っているのか調べる
(=業務時間調査)

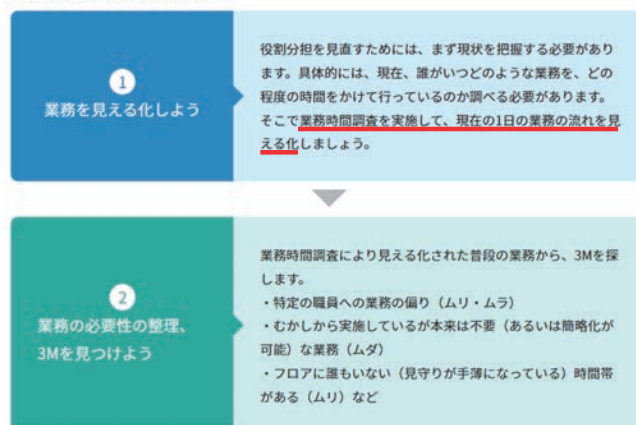
従来のタイムスタディは

- ・手書きで記録
- ・専任の担当者が業務に付き添って記録など、労力・コストがかかる



介護分野の**業務改善に向けた取組**の1つとして
厚生労働省のポータルサイトにも掲載

取組のステップとポイント



引用 介護分野における「生産性向上」とは？ | 介護分野における生産性向上ポータルサイト (厚生労働省)

WELL-BEING for all beings

6

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ときKANRI の概要

介護現場でのタイムスタディを支援する「ときKANRI」を開発しました

介護職員様が、普段の業務を行いながらご自身でタイムスタディを実施できるツール

スマートフォンアプリ



職員様

アプリ内のボタンをタップするだけで
タイムスタディを記録

WEBアプリ



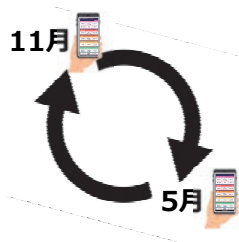
管理者様

記録した結果はWEBアプリで確認

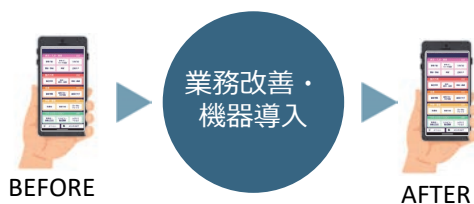
ときKANRIの概要

実施タイミング例

- ・年に1～2回、定点観測として実施



- ・業務改善や機器導入の前後に実施



実施中のイメージ

業務中にスマートフォンを身に着けて
業務を記録



スマートフォンアプリ

PARAMOUNT BED

「食事介助」を始める

「食事介助」記録中

「排泄介助」を始める

「排泄介助」記録中



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

WEBアプリ

PARAMOUNT BED

作成したレポート



閲覧

集計

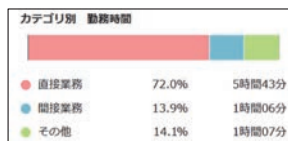
比較

WELL-BEING for all beings

10

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

直接業務：ケアに直接関係する業務（例：排泄介助）
間接業務：ケアに直接関係しない業務（例：介護記録）



業務ごとの合計時間

業務別 勤務時間と歩数			時間	歩数
		(分)	(歩)	
1	排泄介助	234	5634	
2	巡回・訪室・様子確認	110	117	
3	介護記録・事務作業	75	1080	
4	休憩/仮眠	60	127	
5	おむつ・パッド交換	45	820	
6	待機・見守り	15	93	
7	職員と会話・申し送り	2	64	

業務時間を確認できる

時系列グラフ



業務の流れを確認できる

PARAMOUNT BED

令和6年度介護報酬改定 生産性向上推進体制加算（Ⅰ）の調査票に対応

[illegible]

引用 [令和6年度介護報酬改定の主な事項について（厚生労働省 老健局）](#)
[介護保険最新情報 令和6年3月15日 厚生労働省老健局高齢者支援課](#)



介護ロボット等モニター調査事業 結果報告

調査概要

調査内容

(1) スマートフォンアプリ 有用性の評価

- ① アプリ利用状況の観察
- ② アンケート調査



(2) 結果レポート 有用性の評価

- ① 業務状況の見える化
- ② 介護ロボット導入効果の見える化



調査概要

実施施設

社会福祉法人 ノテ福祉会様



介護老人保健施設
ノテ日本医療大学リハビリ様

調査日数

12日間（4フロア×3日間）



特別養護老人ホーム
ノテ中の島様

4日間（1フロア×4日間）



特別養護老人ホーム
ノテキくすいの里様

4日間（1フロア×4日間）

4日間（1フロア×4日間）

介護ロボット
導入前後の
比較を実施

介護ロボット等モニター調査事業 結果報告

- ▶（１）スマートフォンアプリ 有用性の評価
- （２）結果レポート 有用性の評価



調査結果（１）スマートフォンアプリ 有用性の評価

①アプリ利用状況の観察

調査方法

観察者が職員様の業務に2～4時間同行し、
「ときKANRI」を使ってタイムスタディを同時記録

調査対象者

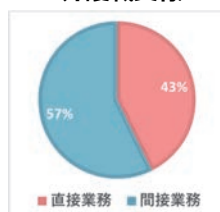
20～50代の介護職員様3名、看護職員様1名（ノデ中の島様）



調査結果

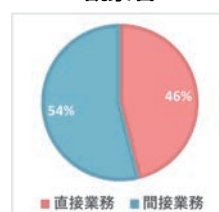
直接業務・間接業務の割合

介護職員様



平均 97% 一致

観察者



直接業務：ケアに直接関係する業務（例：排泄介助）
間接業務：ケアに直接関係しない業務（例：介護記録）

WELL-BEING for all beings

17

調査結果（１）スマートフォンアプリ 有用性の評価

①アプリ利用状況の観察

■データ詳細確認

介護職員様

作業項目	開始	終了
食事介助・水分補給	12:03	12:57
食事準備・片付け	12:57	13:21
排泄介助	13:21	13:32
介護記録・事務作業	13:32	14:07

観察者

作業項目	開始	終了
食事介助・水分補給	12:03	12:57
食事準備・片付け	12:57	13:21
排泄介助	13:21	13:30
食事準備・片付け	13:30	13:32
介護記録・事務作業	13:32	13:36
掃除・洗濯	13:36	13:37
介護記録・事務作業	13:37	13:45
薬準備・服薬介助	13:45	13:47

調査結果

介護職員様が
記録できていない項目

ルーティーンの
食事介助⇒片付け
⇒排泄介助⇒介護記録
の流れは記録できている

隙間時間で行っている業務
の記録ができていない場合
があるが、時間が短いため
全体割合への影響は少ない

WELL-BEING for all beings

18

調査結果（１）スマートフォンアプリ 有用性の評価

①アプリ利用状況の観察

■職員様コメント

Good



これくらいの手間ならできる



アプリ操作は簡単

More



業務が一覧の中にない



文字が小さくて見づらい

調査結果

①アプリ利用状況の観察 まとめ

- ・ 直接業務・間接業務の割合はほぼ正確に記録ができた
- ・ 短時間の業務は記録できなくても全体への影響は少ない

今後の課題

文字サイズの拡大、業務項目の見直し

調査結果（１）スマートフォンアプリ 有用性の評価

②アンケート調査

調査方法

タイムスタディ実施後にアンケートを実施

調査対象者

20～60代の介護職員様11名（ノテ日本医療大学リハビリ様、ノテきくすいの里様）

調査結果

Q1.「アプリ操作」自体の難易度はいかがでしたか？



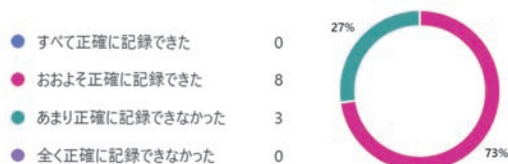
Q2.「業務中にタイムスタディを記録すること」の難易度はいかがでしたか？



②アンケート調査

調査結果

Q3. どのくらい正確に記録できましたか？



■職員様コメント

Good

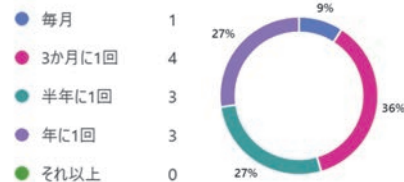


操作がシンプル



最初は少し時間がかかったが、徐々に慣れてきた

Q4. どれくらいの頻度であればタイムスタディを継続できると思いますか？



More



業務をしながら記録はできたが手間が増えた印象もある



業務に集中すると切替を忘れる

②アンケート調査

調査結果

②アンケート調査 まとめ

- ・ アプリ操作自体は簡単
- ・ 業務中の操作に大変さは感じるものの、ほぼ正確に記録ができた
- ・ 定期的の実施しても良い

今後の課題

慣れることでより正確に、細かな業務も入力できると考えられるため、
今後は一定の練習期間を設けることを提案したい

介護ロボット等モニター調査事業 結果報告

(1) スマートフォンアプリ 有用性の評価

▶ (2) 結果レポート 有用性の評価



調査結果 (2) 結果レポート 有用性の評価

①業務状況の見える化

調査方法

管理者様に結果レポートをご覧いただきながらヒアリング

■業務ごとの合計時間

遅番2名の平均



2位 排泄介助 1時間18分

準夜勤4名の平均



1位 排泄介助 2時間43分

夜勤6名の平均



1位 排泄介助 2時間29分

調査結果

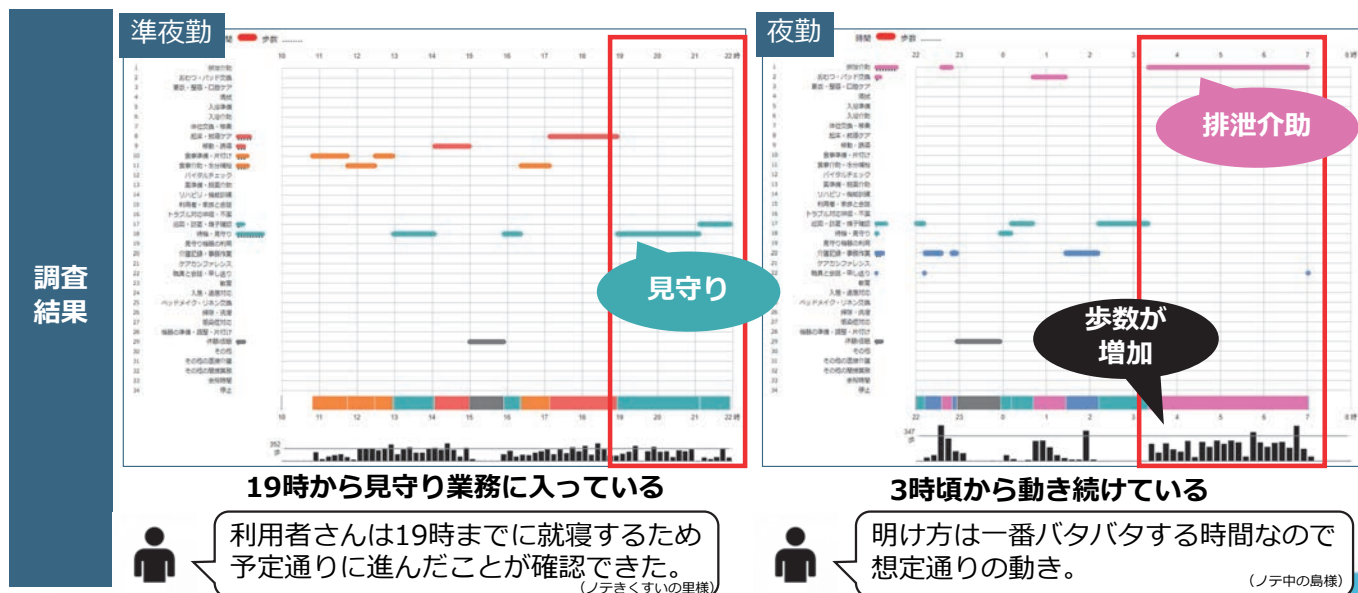


排泄介助に時間がかかることはわかっていたが
ここまでとは思わなかった

(ノテ中の島様)

調査結果（２）結果レポート 有用性の評価

①業務状況の見える化 ■時系列グラフ



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

25

調査結果（２）結果レポート 有用性の評価

①業務状況の見える化

■管理者様コメント

- ・ タイムスタディの結果は、感覚と一致していた。
- ・ 今まで漠然としていた業務量が見える化できた。
- ・ 介護施設の健康診断のようでとても良い。
- ・ 定期的に振り返りたい。

調査結果

タイムスタディの有用性を感じていただけた

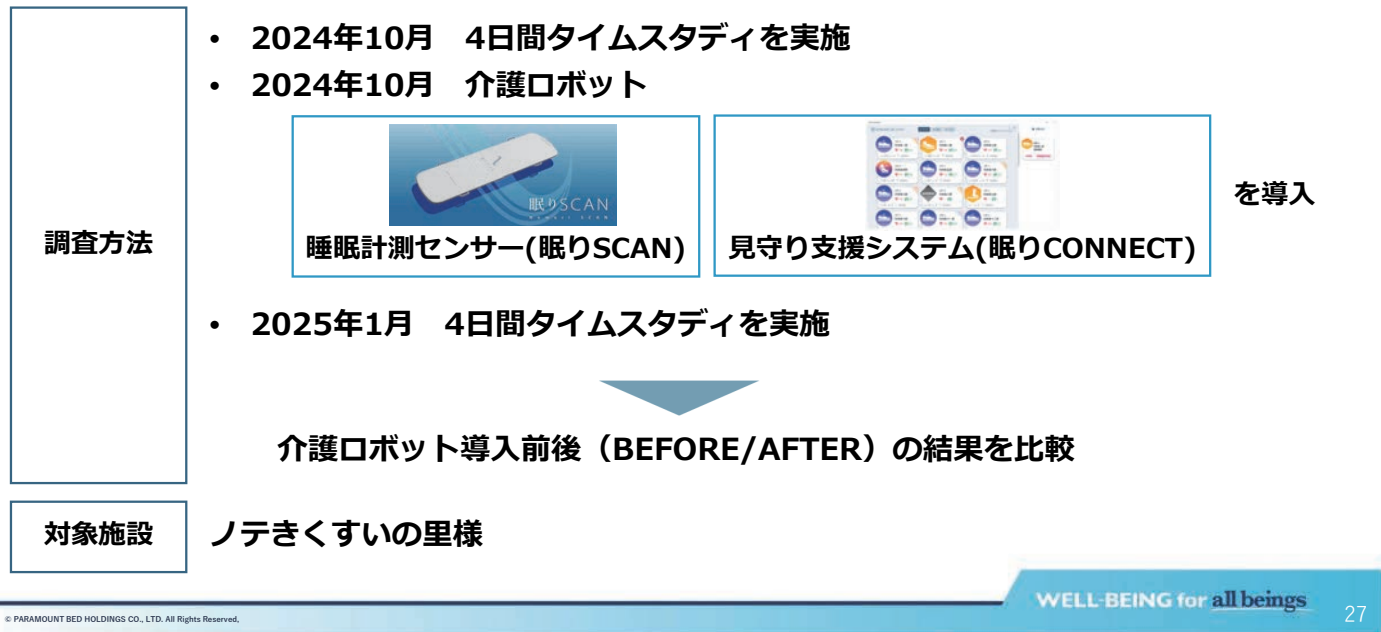
© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

26

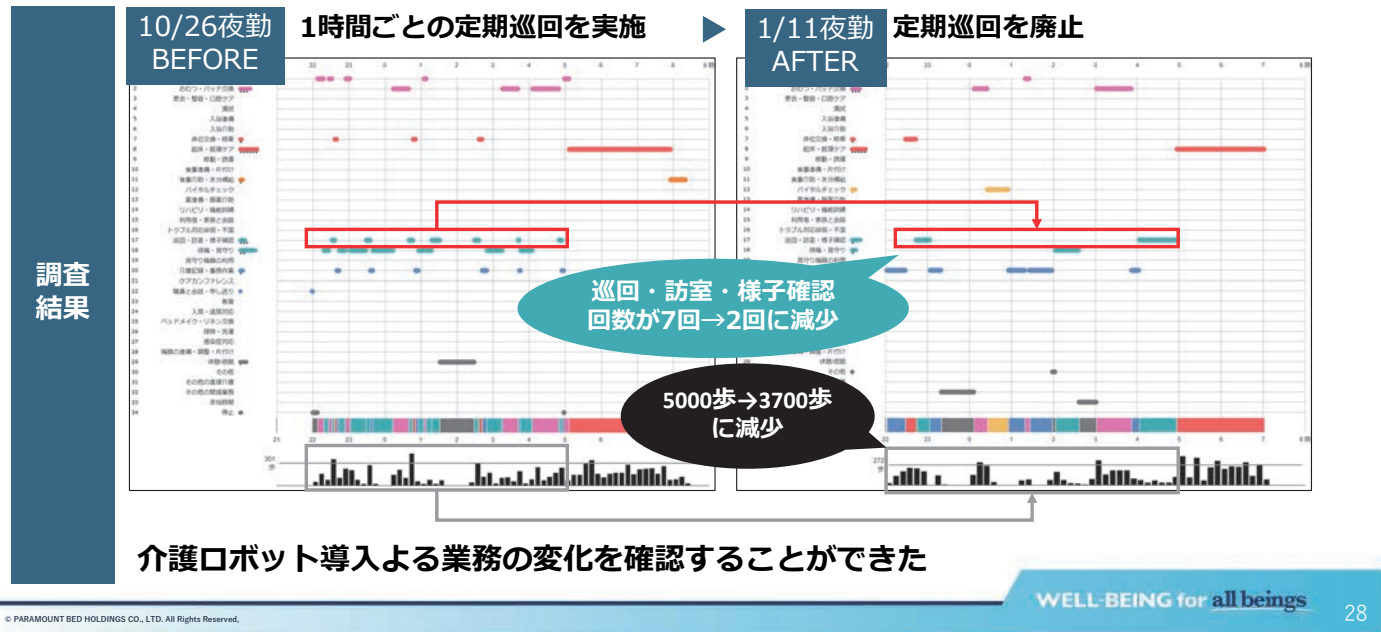
調査結果（２）結果レポート 有用性の評価

②介護ロボット導入効果の見える化



調査結果（２）結果レポート 有用性の評価

②介護ロボット導入効果の見える化



(1) スマートフォンアプリ 有用性の評価

スマートフォンアプリの操作は**簡単**であったというご評価をいただき、記録も**正確に行える**ものであることが確認できました。
一方で、業務をしながらの記録操作には、**慣れるための事前準備**も大切であることがわかりました。



(2) 結果レポート 有用性の評価

今まではイメージでとらえていたものが数値化・グラフ化され、**「介護施設の健康診断のようでとても良い」**とのお声をいただきました。
また、介護ロボットの導入前後で使っていただくことで、業務割合や歩数の**変化を可視化**することもできました。



パラマウントベッドはときKANRIを含めた介護DXで
介護施設の生産性向上を支援します。

ご清聴ありがとうございました。

介護ロボット全国フォーラム

介護施設における薬の仕分け、 配薬ミス削減・生産性向上に 資する製品・システムの社会実装

2025年 1月 31日

エトリア株式会社

BSP本部 周辺機事業部 技術開発室

徳植 義人

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

アジェンダ

1

1. エトリア株式会社について
2. 介護施設における服薬業務とその課題
3. お薬仕分け業務の課題を解決する「お薬パック自動仕分け機」
4. 社会実装に向けた装置導入検証の事例紹介

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

1. エトリア株式会社について

© ETRIA

ETRIA
 Your Digital Device Partner

会社概要

エトリア株式会社

設 立	2024年7月1日
本 社 所 在 地	神奈川県横浜市西区高島1丁目2番5号
事 業 内 容	事務機器・産業機器・光学機器、およびその周辺機器・消耗品等の開発・生産・販売等
代 表 者	中田 克典
資 本 金	500百万円
従 業 員 数	約3,200名 ※2024年7月1日現在



代表取締役
社長執行役員
中田 克典

エトリアグループ

グ ル ー プ 企 業 数	15社（6ヶ国）
グ ル ー プ 従 業 員 数	約11,400名（国内：約3,400名、海外：約8,000名） ※2024年7月1日現在

© ETRIA

ETRIA
 Your Digital Device Partner

会社設立の背景

株式会社リコーと**東芝テック株式会社**から、オフィスプリンティング事業を核として開発・生産機能を移管して設立された会社

株式会社リコー（持ち株比率85%）

事業 オフィスプリンティング事業
移管対象機能 開発・生産
人 員 約8,400名
（国内：約3,000名、海外：約5,400名）
関 連 会 社 世界5ヶ国 9社



東芝テック株式会社（持ち株比率15%）

事業 オフィスプリンティング事業
Auto-ID事業
移管対象機能 開発・生産
人 員 約3,000名
（国内：400名、海外：2,600名）
関 連 会 社 世界5ヶ国 6社

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

エトリアが目指す新規事業

長年のオフィスプリンティング事業で培われたエレクトロニクス、メカトロニクス、ソフトウェア技術を活用し、**現場の業務課題を解決寄与**できる事業テーマを選出

事業テーマ①

お薬パック自動仕分け機（今春発売予定）

導入現場：
介護施設、調剤薬局

業務課題：
介護施設の入居者様に処方する薬剤を**手作業**で
日別・用法別に仕分けしている

解決したいこと：
機械化することによる**作業負担軽減**、**配薬ミス防止**

事業テーマ②

薬包針なし綴じ機（今夏発売予定）

導入現場：
調剤薬局

業務課題：
介護施設の入居者様に処方する複数の薬包を
ホチキス止めをして一体化している

解決したいこと：
ホチキス針を無くすことによる**入居者様の誤飲撲滅**

本日の講演はこちらの装置を介護施設に導入し、その効果を検証した事例紹介となります

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

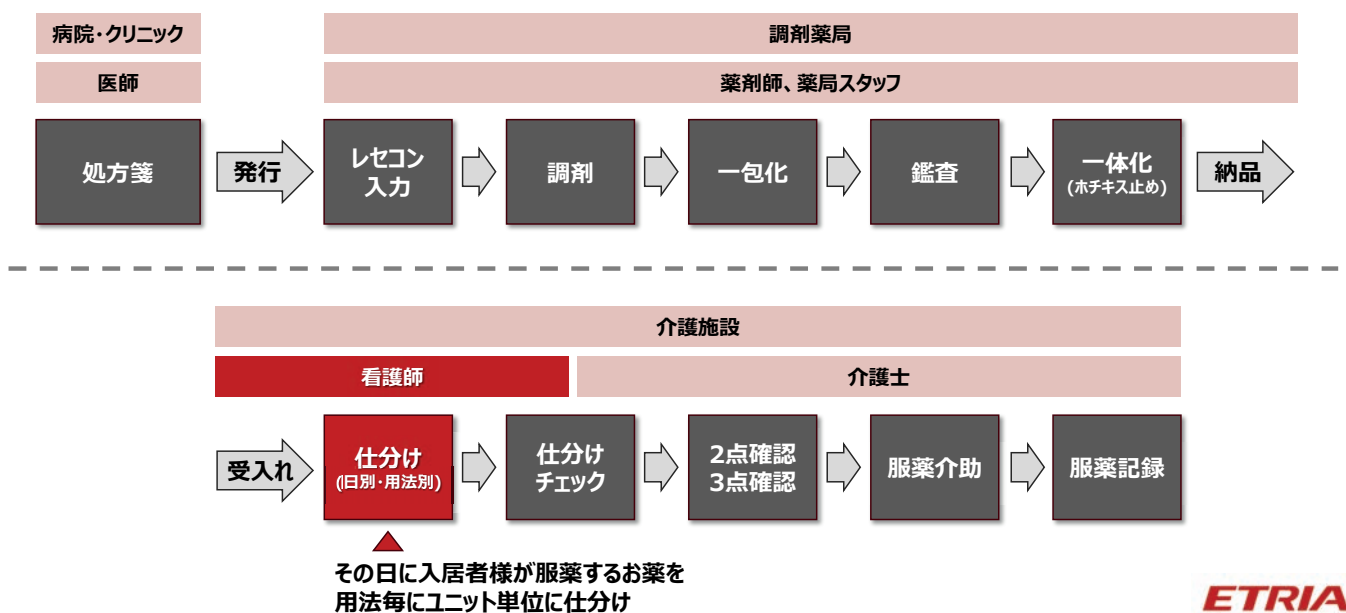
2. 施設における服薬業務とその課題

© ETRIA

ETRIA
 Your Digital Device Partner

服薬業務の主な流れ（調剤業務から服薬介助まで）

7



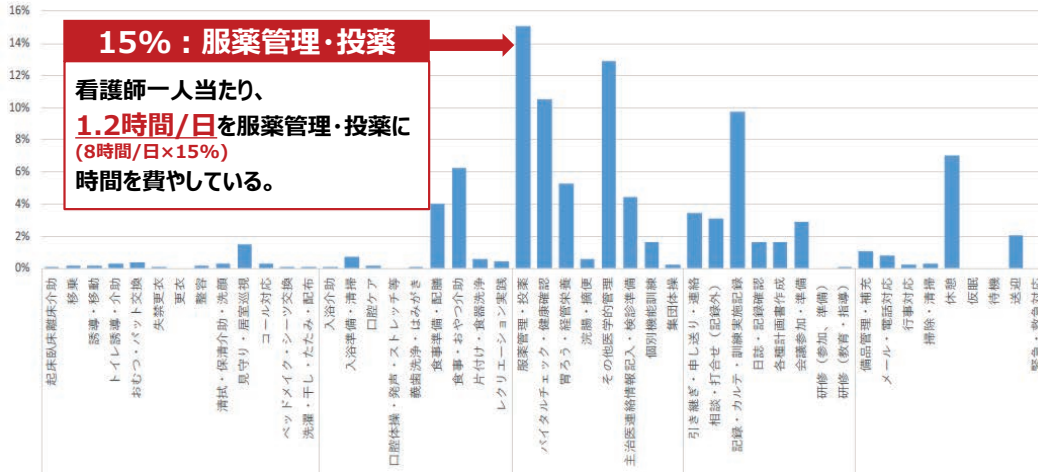
© ETRIA

ETRIA
 Your Digital Device Partner

服薬業務における施設看護師の困り事 ①

薬剤仕分け業務に時間を費やし、**入居者様と向き合う時間が十分に取れない。**

施設看護師の施設内でのサービス提供や行動の1日の割合（10施設39名によるアンケート調査）



出典：「全国老人福祉施設協議会における生産性向上（業務効率化）に向けた取り組み」より引用

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

服薬業務における施設看護師の困り事 ②

薬剤仕分けにミスが生じると、**大きなインシデントに発展**する可能性がある。

各自治体に届けられた介護事故報告（令和5年度）

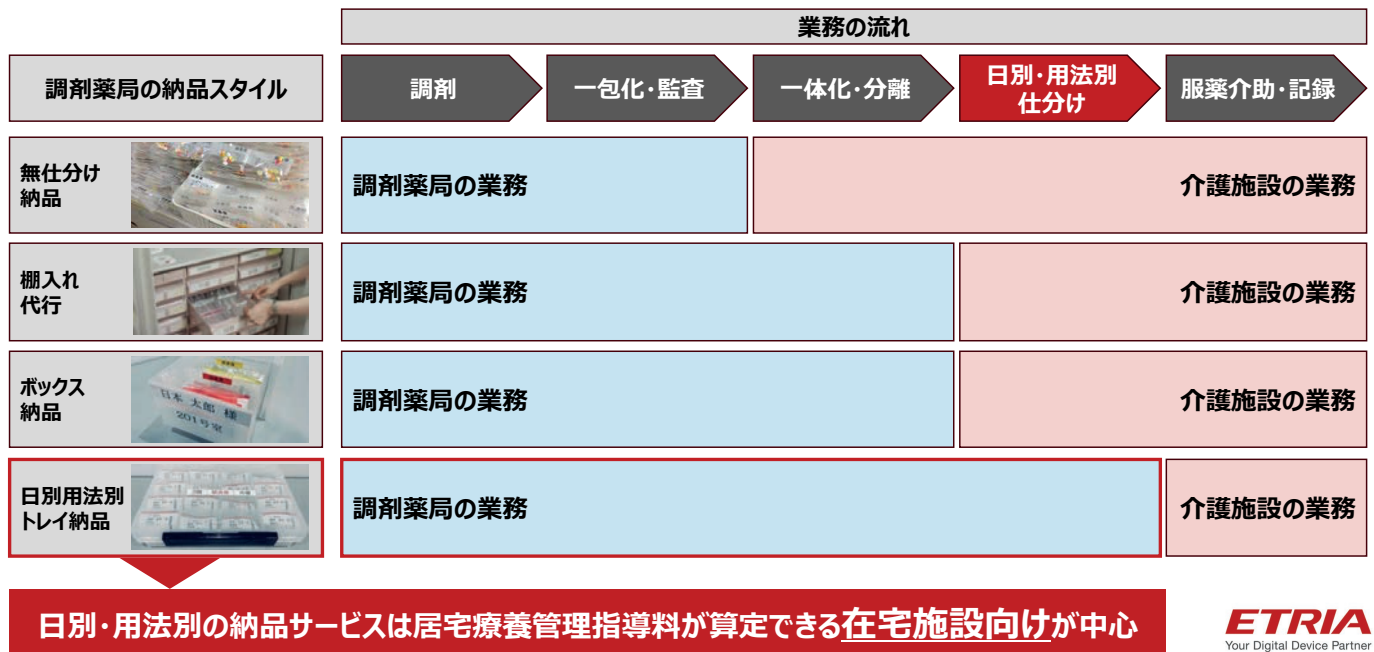
事故原因	長岡市		高崎市		世田谷区		川崎市		北九州市		福岡市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
転倒	385	34.8%	514	54.0%	852	54.5%	2,126	47.1%	925	54.3%	1,576	35.8%
転落	59	5.3%	99	10.4%	79	5.1%	289	6.4%	167	9.8%	292	6.6%
誤薬・与薬漏れ	356	32.2%	63	6.6%	245	15.7%	927	20.5%	154	9.0%	314	7.1%
誤嚥・窒息	21	1.9%	12	1.3%	22	1.4%	72	1.6%	38	2.2%	102	2.3%
感染症の発生			2	0.2%	12	0.8%	124	2.7%			1,154	26.2%
その他	149	13.5%	230	24.2%	291	18.6%	788	17.5%	420	24.6%	962	21.9%
不明	135	12.2%	31	3.3%	62	4.0%	186	4.1%				
合計	1,105	100%	951	100%	1,563	100%	4,512	100%	1,704	100%	4,400	100%

「誤薬・与薬漏れ」の構成比は自治体によってまちまちだが、介護事故原因の上位にランク

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

調剤薬局による納品サービス



ETRIA
Your Digital Device Partner

3. お薬仕分け業務の課題を解決する 「お薬パック自動仕分け機」

お薬パック自動仕分け機とは

お薬パック自動仕分け機とは、

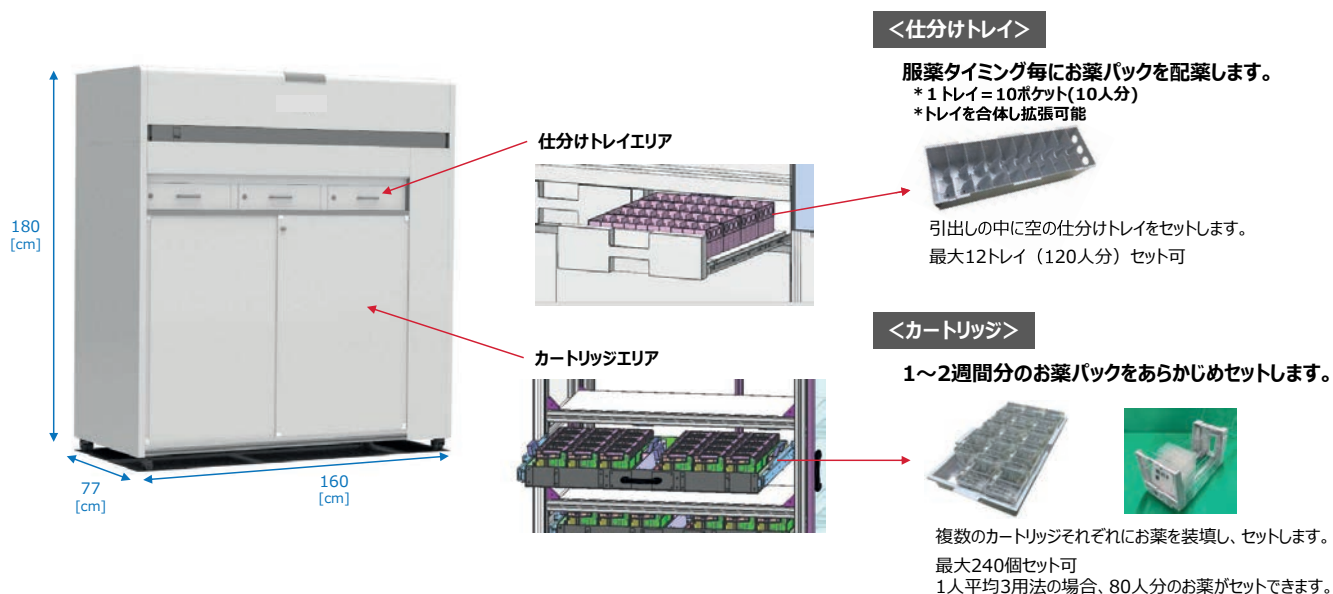
高齢者介護施設の入居者様のお薬を**服薬タイミング毎（日別・用法別）に自動仕分け**することで、**誤薬の防止**と**業務効率化**を目指したソリューションです。



© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

装置本体の概要



© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

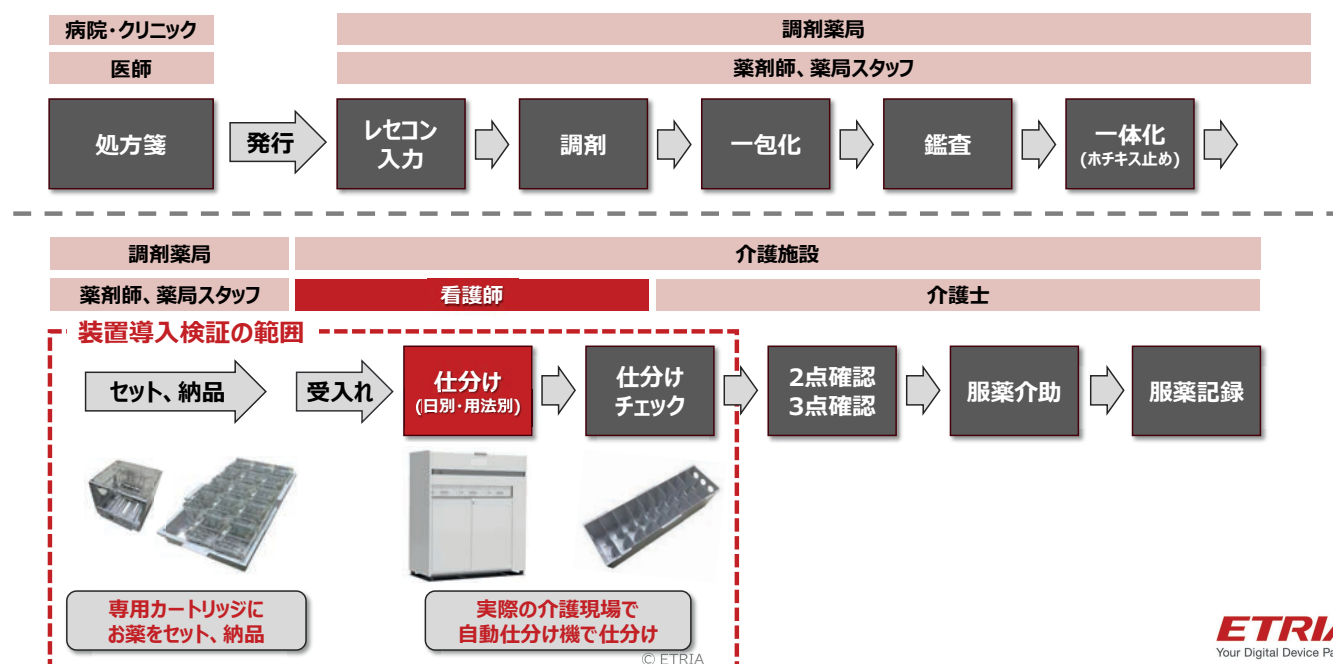
介護施設における薬の仕分け、配薬ミス削減・生産性向上

4. 社会実装に向けた装置導入検証の事例紹介

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

装置導入検証の範囲



ETRIA
Your Digital Device Partner

検証に協力いただいた介護施設様、調剤薬局様の紹介

アイングループ 株式会社アインホールディングス

➤ 本社 : 北海道札幌市白石区東札幌5条2丁目4-30

➤ 店舗数
・総店舗数 : 1,312 店舗
・調剤薬局 : 1,231 店舗
・コスメ&ドラッグストア : 81 店舗
(2024年4月期末)

アイン薬局 とよとみ店

➤ 所在地 : 千葉県船橋市豊町699-1

つしま医療福祉グループ 社会福祉法人 ノテ福祉会

特別養護老人ホーム ノテ船橋

➤ 所在地 : 千葉県船橋市高根町1665-2

➤ 総室数 / 定員数 : 70室 / 100名

・ユニット型一人部屋/50室・4人部屋/10室
・短期入所ユニット型一人部屋/10室

装置導入効果検証

専用カートリッジにお薬をセット、
ノテ船橋様に納品して頂きました。

納品

→

**カートリッジを
装置にセット**

実際の介護現場で、1ヶ月間
自動仕分け機を使って頂きました。

© ETRIA

Your Digital Device Partner

検証目的

調剤薬局と介護施設の**実業務の中に**「お薬パック自動仕分け機」を取り込むことで、
提供価値が発揮でき、困り事の解決手段になり得るかを検証いただく。

社会実装に向けた課題把握と提供価値の検証項目

- ① 仕分け業務に拘束される**看護師の作業時間の最少化**
- ② 仕分けの**ミス・誤配薬の防止**
- ③ 調剤薬局、介護施設の**実用性（使い易さ）の向上**

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

提供価値を実現する「お薬パック自動仕分け機」の機能検証

実現したい提供価値	「お薬パック自動仕分け機」の機能検証項目
1. 看護師の作業時間(仕分け)最少化	① 「エア吸着&分離機構」を採用し、 多様なお薬タイプの取り扱いに対応 ② 「容量の異なる2種類のカートリッジ」を準備し、 お薬の用量変動に対応 ③ 「状態表示ランプの機能」により、 現場から離れた看護師に動作状態を通知
2. 仕分けのミス・誤配薬の防止	① 「処方箋に基づいた服薬スケジュール」にて、 日別・用法別に仕分け ② 「QRコード認識機能」を採用し、 正確な取り出し・仕分けミス防止を実現 ③ 万が一自動仕分けが完了しなかった場合、「 エラーメッセージ 」で通知
3. 実用性（使い易さ）の向上	① 「3面から出し入れ可能なカートリッジ構造」で、 簡単にお薬をセット ② 「カートリッジトレイ方式」で、 一括移送・ハンドリング時間を短縮 ③ 「カートリッジセット位置のフリーアドレス化」で、 セット時間を短縮 ④ 汎用的な書庫に収まる仕分けトレイサイズで、 収納性を向上 ⑤ 「倒れ防止機構」で、お薬の お名前を一目でチェック、簡単に仕分け確認 ⑥ 「ワンタッチ式識別プレート」で、 新たな入居者のトレイを容易にセッティング

装置へのお薬
セット業務

お薬の配薬
業務

© ETRIA

Your Digital Device Partner

お薬パック自動仕分け機の概要



© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 1-①

実現したい提供価値	機能検証項目
看護師の作業時間最少化	「エア吸着&分離機構」によるお薬の仕分け この機構により 多様なお薬タイプ をピック&プレイスでき、 煩雑な手仕分け作業から自動仕分けに置き換えられるか 検証しました。



多様なお薬タイプの例



© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 1-②

実現したい提供価値	機能検証項目
看護師の作業時間最少化	「容量の異なる2種類のカートリッジ」を準備し、お薬の用量変動に対応 お薬の用量の少ない人、多い人に対して柔軟に対応し、装置本体に収納することで、 多くの手仕分け作業から自動仕分けに置き換えられるか 検証しました。



用量の多い方(厚み)のお薬も収納できます

大容量カートリッジ



標準カートリッジ

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 1-③

実現したい提供価値	機能検証項目
看護師の作業時間最小化	「状態表示ランプの機能」により、現場から離れた看護師に動作状態を通知 稼働中の装置の状態を離れたところから目視できるとで、 看護師が入居者様のケア等の別業務に集中 できるか検証しました。



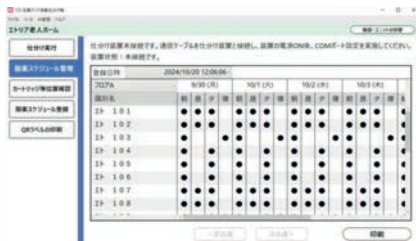
	●：電源オン/待機中 ☀：装置動作中
	●：ドアオープン ☀：軽度のエラー発生
	●：重度のエラー発生 ☀：—

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 2-①

実現したい提供価値	機能検証項目
仕分けミス・誤配薬の防止	「処方箋に基づいた服薬スケジュール」にて、日別・用法別に仕分け 服薬スケジュールアプリに処方箋情報を展開することで、 正確な自動仕分けが実現できるか、容易にアプリを操作できるか 検証しました。



▲ 仕分けスケジュール管理

入居者様各人の仕分けタイミングを設定



▲ 仕分け実行の指示

日別・用法別に実行を指示



▲ 仕分け実行状態のモニタリング

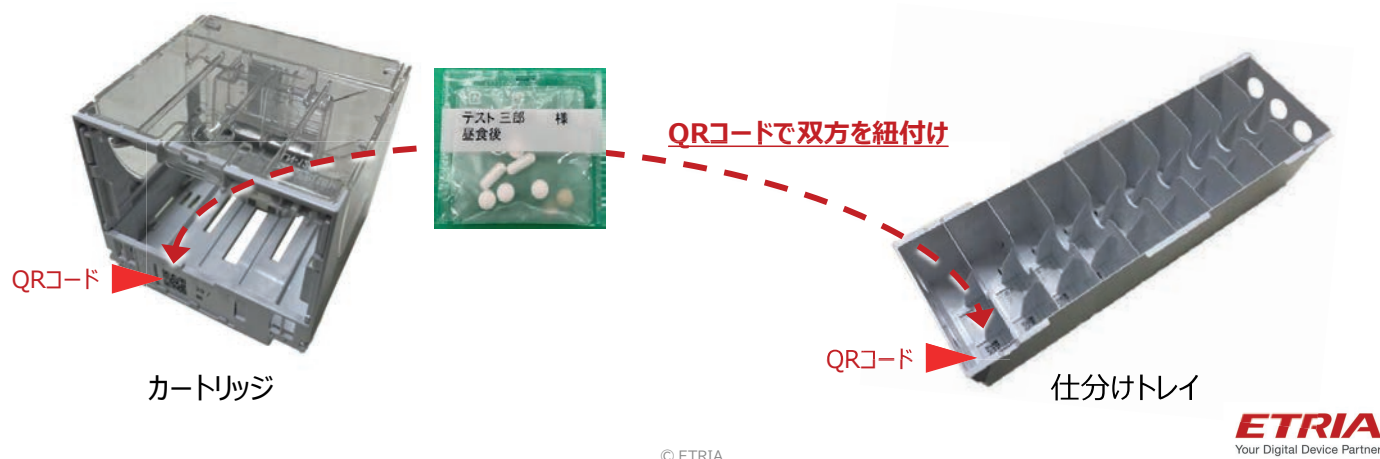
- ・ 終了予定時間表示
- ・ エラー発生時はエラー通知*
- * 指定された仕分け完了まで継続稼働します

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 2-②

実現したい提供価値	機能検証項目
仕分けミス・誤配薬の防止	「QRコード認識機能」を採用し、正確な取り出し・仕分けミス防止を実現 手作業であるが故に発生していた 仕分けミスを自動認識機能により無くすることができるか 検証しました。



実業務の中で検証したこと 3-①

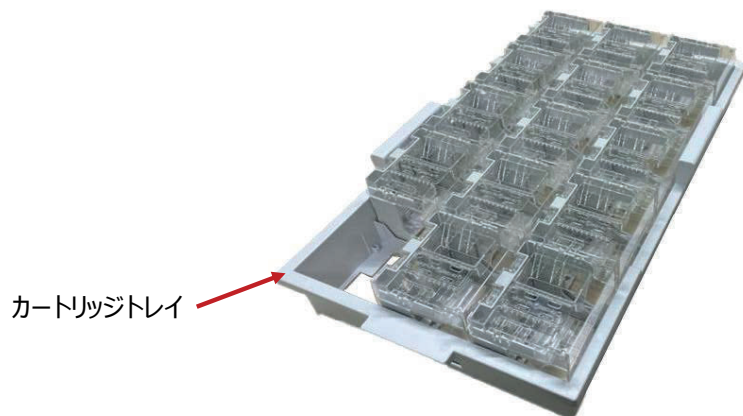
実現したい提供価値	機能検証項目
実用性（使い易さ）の向上	「3面から出し入れ可能なカートリッジ構造」で、簡単にお薬をセット カートリッジの上部、両サイドの面がオープンになることで、薬局の薬剤師が ストレスなく容易にお薬をセットできるか 検証しました。



カートリッジの透明カバーを開けた状態：上・両サイドの3面がオープンに

実業務の中で検証したこと 3-②

実現したい提供価値	機能検証項目
実用性（使い易さ）の向上	「カートリッジトレイ方式」で、一括移送・ハンドリング時間を短縮 お薬を詰めた15個のカートリッジを一つの専用トレイに搭載することで、 手間なく調剤薬局から介護施設に移送できるか、装置へのセットが容易にできるか 検証しました。



© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 3-③

実現したい提供価値	機能検証項目
実用性（使い易さ）の向上	「カートリッジセット位置のフリーアドレス化」で、セット時間を短縮 QRコードを用いた「紐付けシステム」により、カートリッジ、仕分けトレイを装置内のどの場所に置いてもしっかり仕分けすることができます。 置く場所を意識しないことでストレスなく、セット時間が短縮できるか 検証しました。

仕分けトレイを
どの場所に置いて
もしっかり仕分け

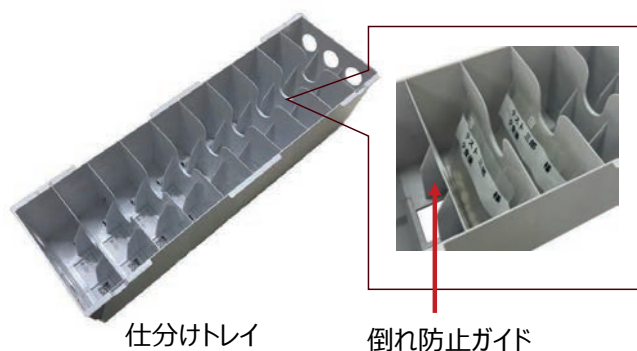
カートリッジを
どの場所に置いて
もしっかり仕分け


© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

実業務の中で検証したこと 3-⑤

実現したい提供価値	機能検証項目
実用性（使い易さ）の向上	「倒れ防止機構」で、お薬のお名前を一目でチェック、簡単に仕分け確認 トレイ内でお薬が倒れないガイド機構により、看護師、介護士からお薬の印字面が見やすく、入居者様の名前を一目でチェック、簡単に仕分け結果を目視確認できるか検証しました。



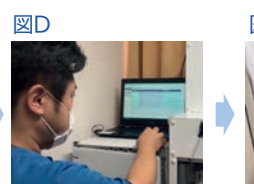
© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

検証活動の様子：施設側

<介護施設での作業プロセス（看護師）>

1. 当日配薬分の仕分けトレイ内お薬を確認(図A)
(服薬チェック表をもとに2名でチェック)
2. 仕分けトレイを各フロアへお届け(図B)
(各フロアの保管棚にある空トレイと入れ替え)
3. 空の仕分けトレイを装置にセット(図C)
4. 服薬スケジュールアプリによる仕分け実行(図D)
- <装置動作中>
5. 装置から仕分け済みトレイを取り出し
6. 手仕分け分のお薬を仕分けトレイへセット(図E)
7. カバーを取り付けて非定時薬をテープ止め(図F)
8. 仕分けトレイを装置横の保管棚へ保管(図G)



仕分けトレイは、
一般的な書庫に収納できます

© ETRIA

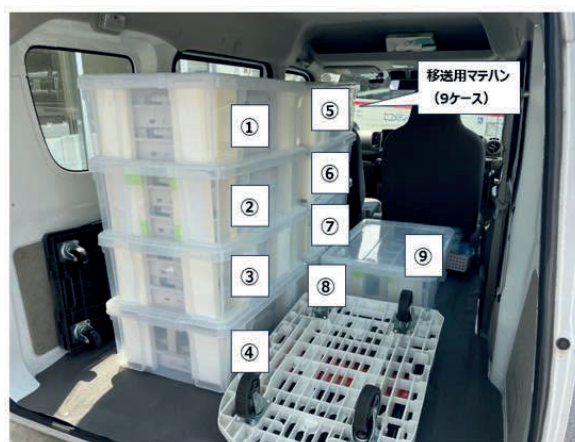
ETRIA
Your Digital Device Partner

検証活動の様子 : 薬局側

アイン薬局・とよみ店様での事前レクチャーの様子



納品時の積載状況

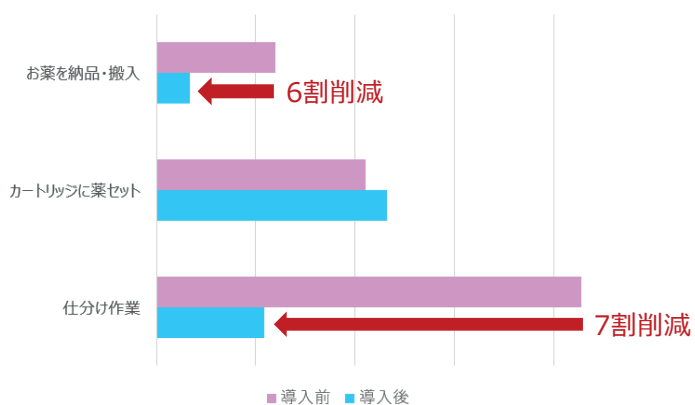


© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

検証の結果：作業時間の削減

装置導入による時間削減



検証実施効果

- 調剤薬局内の業務
 - 納品・搬入作業 : 約**6割**時間**削減**
 - お薬セット作業 : 約**1割**時間**増加**
- 介護施設内の業務
 - 仕分け作業 : 約**7割**時間**削減**

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

検証に参加頂いた方からのコメント

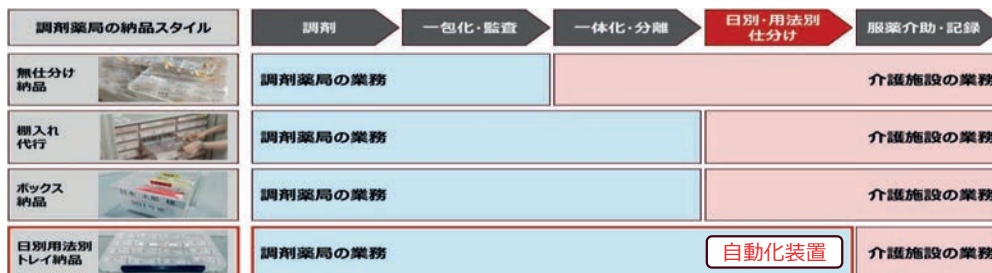
検証した提供価値	検証後の参加者のコメント
看護師の作業時間(仕分け)最少化	看護師A様（ノテ船橋） 装置を使ったことで仕分け業務はずいぶん楽になりました。 今回は、装置が医務の部屋から離れていたため薬の変更や確認の際に移動するのに少し手間がかかりました。
仕分けのミス・誤配薬の防止	看護師B様（ノテ船橋） お薬が変更になったときにカートリッジ内のお薬パックを取り出したり、臨時薬を追加する作業を新しく担当する看護師にもできるように、マニュアルなどを用意して進めようと思います。
実用性（使い易さ）の向上	看護師C様（ノテ船橋） 慣れていないので最初は仕分けトレイのハンドリングに手間どったが、仕分け結果の確認や配薬までの流れは、問題は無く作業ができました。 薬剤師D様（アイン薬局） 従来のケースでの納品に比べて、装置カートリッジに装填する作業時間はほぼ変わらない。 自動化できないお薬（規定数以上の複数綴じ）を、今後対応できるようにしてもらえると、更に使い易くなると思います。

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

お薬パック自動仕分け機の社会実装に向けた展望

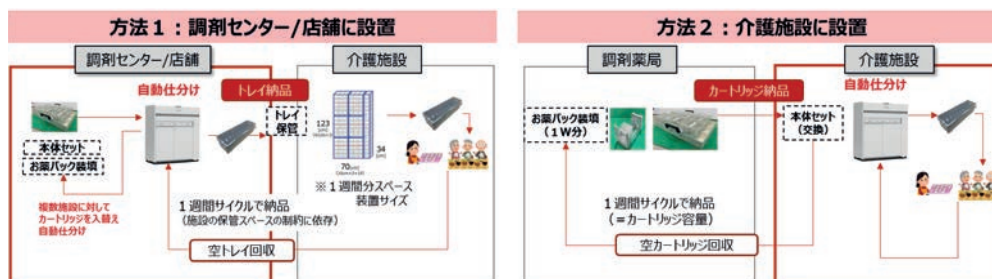
1. 日別・用法別仕分け作業の自動化



展望-1

- これまでは調剤薬局の納品サービス高度化で介護施設の負担が軽減されてきた。
- 日別・用法別仕分けの**自動化**を追求し、更なる生産性向上に貢献していく。

2. 調剤薬局のお薬納品サービスの生産性向上、品質向上に活用



展望-2

- 調剤センター等店舗での仕分け作業を自動化して生産性向上、品質向上を促進する。
- 介護施設における仕分け作業を自動化して作業負担軽減、配薬ミス防止を促進する。

© ETRIA

Your Digital Device Partner



- ✓ 従来の手作業による仕分けを、お薬パック自動仕分け機によって自動化することで正確な仕分けを実現し、業務負担の軽減が期待できます。
- ✓ 私たちエトリアは、**2025年にお薬パック自動仕分け機を上市**いたします。
- ✓ 調剤業務における**対物業務の自動化**を通じて、これからも皆様の現場を支え、**医療の未来に貢献する企業であり続けたい**と願っています。
- ✓ ぜひ、**皆様からの助言や要望をお聞かせください**。

以下の弊社の問合せ窓口にアクセス頂き、お薬パック自動仕分け機を選択頂き、お問合せ下さい。
<https://webform.ricoh.com/form/pub/e00284/inquiry>

© ETRIA

ETRIA
Your Digital Device Partner

ご清聴ありがとうございました。

ETRIA
Your Digital Device Partner

© ETRIA

介護ロボット全国フォーラム (2025年1月31日)

スタッフが本来の業務に**集中** **できる環境づくり**とその効果

～ **今すぐ**に始められる！

サービスの質向上を実現するための**ICT・DX**の活用 ～



株式会社プレイフル 代表取締役 藤井裕太
ナーシングホームLiBひらか

自己紹介

・ 藤井 裕太 (ふじい ゆうた)

1986年生まれ。秋田県横手市（現在人口約8万人）出身。
10年以上、訪問介護員や介護事務員として勤める。
2023年、看護師の妻、OA機器商社の友人と3人で
株式会社プレイフルを創業。
2024年4月にナーシングホームLiBひらかをオープン。

・ ナーシングホームLiB (リブ) ひらか

秋田県横手市にある住宅型有料老人ホーム（26床）。
訪問看護、訪問介護、障害福祉サービス事業所を併設。
スタッフは介護職員17名（内、2名パート）、
看護職員13名、事務他4名。 総勢34名。
24時間、看護師が常駐。
医療依存が高い方や看取り対応も可能な施設。



本日のながれ

- 秋田の現状とテクノロジーの重要性
- 進化するための準備
- さあ、5つの“て”を無くしましょう！
- すぐに始められる業務短縮の紹介
- その作業・・・外注しませんか??
- まとめ
- さいごに・・・

秋田の現状とテクノロジーの重要性

秋田県は超高齢化。 **10年先の日本の現状**。

つまり、**未来**です。

現状は皆さんが思っている**数倍以上の人手不足**・・・

今後も緩まることなく襲い掛かります。



©DESIGNALIKIE

秋田の現状とテクノロジーの重要性

このような時代が皆さんの地域でも必ず起きます。

そう、この必ず来る日を **Xデー** としましょう。

6600万年前、恐竜は滅びました。

あんなに大きく、そして強いのに・・・。

でもゴキブリは生きています。

なぜでしょう??



秋田の現状とテクノロジーの重要性

それは・・・

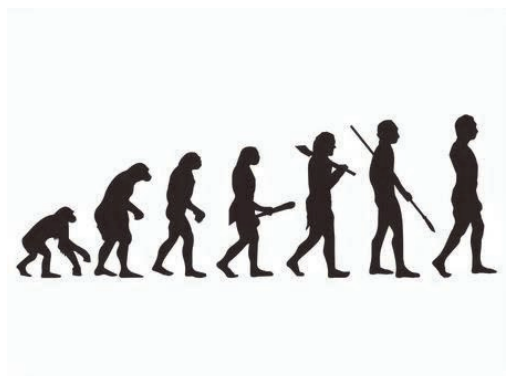
変化に対応しながら、**進化**してきたからです。

強いから生き延びたのではありません。

かならず訪れる **Xデー** も同じでしょう。

変化に対応できるか、どうか重要です。

今から進化の準備していきましょう。

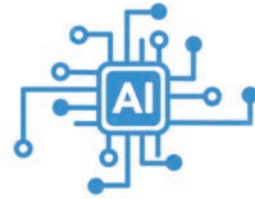


秋田の現状とテクノロジーの重要性

このXデーを乗り切るには、
テクノロジーの力が必須です。

マンパワーには頼れない時代がきます。

労働人口の減少は、
確実に訪れる未来なのでから・・・



進化するための準備

まずは、経営者や管理者が一人で悩まない事。
これはチームで挑まなければ、無理な問題だからです。

チームの構成例

役 割	担 当
意思決定	経営者・施設長
マネジメント	管理者、主任、リーダー
サポート	スマホ等の機器に詳しい方

サポートメンバーの選定例

- スマートフォンの設定をいじれる人
Wi-Fi設定やBluetoothのペアリングがスムーズにできる。
アプリのインストールや通知設定を調整している。
- スマート家電
音声アシスタント（Alexa, Google Assistant）で家電を操作。
- 格安スマホ使用者

サポートメンバーの選定が、
鍵となります！

さあ、5つの“て”を無くしましょう！

①手間（てま）

アプリ等のシステムで手間を無くそう！

②手書き（てがき）

スマホやタブレットを使うことで業務効率UP！

③転記（てんき）

これぞ、無駄オブザ無駄

④適当（てきとー）

ちょっと、微妙に、だいたい・・・人によって違いますよね？

属人化を防ぎ、業務の適正化を！

⑤敵（てき）

新しい事、無理！無理！ 導入反対！！ 導入するなら、辞めます・・・を無くそう！

さあ、5つの“て”を無くしましょう！！

“て”を無くすことで得られる効果

●業務効率化:

- ICT（情報通信技術）を活用することで、介護記録のデジタル化や、スケジュール管理の自動化が進み、業務の効率化が図られます。スタッフの業務負担が軽減され、より**多くの時間をケア**に割り当てることができます。

●リアルタイム情報共有:

- クラウドベースのシステム**を導入することで、施設内外からのリアルタイムな情報共有が可能になります。

これにより、介護スタッフ、看護師、管理者間での**連携が強化**され、利用者様に対する対応が迅速かつ的確になります。

さあ、5つの“て”を無くしましょう！

“て”を無くすことで得られる効果

●人材不足への対応:

- DXや業務委託によりスタッフの負担を軽減し、少ない人数でも高いパフォーマンスを発揮できる環境を整えます。

日常業務の一部を自動化し、より専門的なケアに集中できます。

①第一の“て” 手間（てま）を無くそう

LINE WORKS（ラインワークス）

情報伝達 の手間（てま）を無くそう



- 用途: 内・外部コミュニケーション
- 効果: 迅速な情報共有が可能になり、スタッフ間の連携が強化。業務指示や連絡がスムーズに行えます。外部連携の例として、看護スタッフとDr、薬局とグループを組むことでDrからの指示が一括で行えます。
LINEのビジネス版なので、説明しなくても使える。
口頭での伝達ゲームが無くなり、言った言わない問題の解消。
- 料金: 1 ユーザー月額594円（税込み） 弊社はスタンダードプラン。無料プランもある。

ICTで何からやってわからない時は、ラインワークスのようなチャットツールの導入から始めましょう！

①第一の“て” 手間（てま）を無くそう

オプラス (Oplus)

シフト作成 の手間（てま）を無くそう



- 用途: シフト作成
- 効果: 勤務時間やシフト管理が自動化され、労務管理が簡単に。属人化されたシフト作成も解決され、この後紹介するマネーフォワードとも連動できる為、給与計算の自動化に役立ちます。
- 料金: 1 ユーザー月額330円（税込み）

エクセルで作っていた手間から卒業しましょう！

①第一の“て” 手間（てま）を無くそう

バディコム (Buddycom)

誰かを探す の手間（てま）を無くそう！



- 用途: スマホアプリを利用したインカムシステム
- 効果: スマートフォンにアプリをインストールするだけでインカム機能が利用可能。現場スタッフが即時にコミュニケーションを取ることができ、情報の伝達がスムーズになります。
- 料金: 1 ユーザー月額660円（税込み）

誰かあ～手伝える人いませんか？？
そんな、だれかを探す手間から卒業できます。
管理者へのホウ・レン・ソウ もこれでOK！



②第二の“て” 手書き（てがき）を無くそう

ケアウィング

サービス記録 の手書き（てがき）を無くそう！



- **用途:** サービス記録の管理
- **効果:** 介護記録の入力が簡素化され、情報共有が迅速に。負担軽減につながります。
- **料金:** 月額66,000円（税込み）（訪問介護・看護、障害福祉サービスの3事業分）



文字入力しなくてもいいので、83歳の方も使っています



電子記録は、のちに紹介するチャットGPTとの相性抜群！

②第二の“て” 手書き（てがき）を無くそう

Adobe電子契約



契約書 の手書き（てがき）を無くそう

- **用途:** 契約書の電子管理
- **効果:** 契約手続きがデジタル化され、紙の管理が不要に。契約業務が迅速かつ効率的に進められます。
- **料金:** 月額1,980円（税込み）

スマホ1台で契約完了！

手書きの時間が無くなり、契約時間は1/3程に減少しました。

③第三の“て” 転記（てんき）を無くそう

マネーフォワード (Money Forward)

 Money Forward クラウド

給与計算でタイムカードから の転記（てんき）

領収書を会計ソフトへ の転記（てんき）を無くそう

- **用途:** 経理と労務管理
- **効果:** 自動仕訳機能で経理作業を効率化するだけでなく、タブレットをタイムレコーダーとして活用し、給与計算も自動で行います。これにより、**経理と労務管理が一元化され、業務の効率化**が図られます。
- **料金:** 月額約3万円（契約内容による。弊社は会計、労務、勤怠など）

MFカードで買い物をすることで、キャッシュレス決済！

小口現金は、ほとんど使いません！

④第四の“て” 適当（てきとー）を無くそう

クローバーノート (Clova Note) (現在は、ラインワークスAIノート)



適当（てきとー）な会議録を無くそう！

- **用途:** 会議録作成支援
- **効果:** Clova Noteを使い、GPTと組み合わせることで、**会議録作成にかかる時間を大幅に短縮**。より効率的な会議運営が可能になります。 **この後、実演します。**
- **料金:** 無料

チャットGPTとの相性抜群！

誰が作っても同じ物が出来上がり！

業務の属人化防止に！

④第四の“て” 適当（てきとー）を無くそう

ChatGPT

適当（てきとー）な報告書などを無くそう！



・用途: 情報整理と資料作成サポート

・効果: 膨大な情報を短時間で整理し、効率的に資料作成が可能。
アイデア出しや文章の整備に大きく貢献しました。
報告書やモニタリング、看護サマリーも記録ソフトからのデータを入れることにより
2～3時間ほどかかる作業が10分に短縮されます。

・料金: 月額約3,000円～4,000円（税込み）

モニタリング報告書やサマリー、会議録を誰が作っても同じ物がつくれます。

⑤第五の“て” 敵（てき）を無くそう

“わからない人”を置いていかない組織

サポートを充実させて 敵（てき）を無くそう！

質問しやすい環境作り

誰でも気軽に相談や質問ができる風土を。

個別サポートの提供

特定の課題を抱える人には、サポートメンバーがバックアップ。

フィードバックの文化作り

定期的に意見を交換し、改善点や理解度を把握。

新しいこと無理！無理！ 私・・・分からないので辞めます・・・
を無くしていきましょう！



⑤第五の“て” 敵（てき）を無くそう

“わからない人”を置いていかない組織

サポートを充実させて 敵（てき）を無くそう！

まずは

- ①見える化・・・ガイドライン（ルール）の作成
（例：○時以降はLWで連絡しない。
希望休は○日までオプラス入力）



- ②分かる化・・・サポート体制、ルールを図（イラスト）に、
ICT推進キャラの作成



- ③徐々に浸透



いぶわん

すぐに始められる業務短縮の紹介

- サービス記録ソフト と ChatGPT を使った モニタリング作成
- クローバノート と ChatGPT を使った 会議議事録作成

を紹介します。

すぐに始められる業務短縮の紹介

サービス記録ソフトとChatGPTを使ってモニタリングを作成します。

毎月発生する書類作成・・・

モニタリングだけでなく、サマリー等。

作成者の方がこの作業に追われていませんか？

誰が作っても同じ質で作成できます。

誰でも出来るため、属人化を防ぐことも可能。

作成者の時間が有意義に使え、利用者様や職員管理に時間が使えます。

サービス実施記録

施設名称：訪問介護事業所いしほ

実施期間：令和6年9月1日（日）～令和6年9月30日（月）

氏名：〇〇様

予定時間	サービス名	身体介護01・床
7:00～7:19	サービス名	身体介護01・床
実施時間	7:00～7:19	実施時間
内容	更衣介助、体位変換、健康チェック、排泄援助、移動援助、情報伝達・提供、安全確認、排泄介助	
バイタル	血圧 (mmHg)	体温 (℃)
	脈拍 (回/分)	呼吸 (回/分)
	血酸素 (％)	
様子		
指示内容	【担当：小笠原様】排泄援助・更衣介助行ってください	
特記事項	【担当者】排泄援助しましたが、排便ありませんでした。1000cc前後まであります。更衣介助の際は右側着脱上下の力があまるので巻き込みにご注意しております。後述あり、看護士へ報告しております。	

予定時間	サービス名	身体介護01
14:40～14:59	サービス名	身体介護01
実施時間	14:40～14:59	実施時間
内容	排泄・排泄介助、体位変換、健康チェック、排泄援助、移動援助、情報伝達・提供、安全確認、排泄介助	
バイタル	血圧 (mmHg)	体温 (℃)
	脈拍 (回/分)	呼吸 (回/分)
	血酸素 (％)	
様子		
指示内容	【担当：小笠原様】排泄・排泄介助行ってください	
特記事項	【担当者】排泄は良好で、更衣内やや詰まっていたため、更衣調整しております。オムツ確認時、便少量あり。洗浄及びパット交換行っております。体位交換後確認みられたため、看護士に報告し報告引いたいただきました。	

すぐに始めれる業務短縮の紹介

- クローバノート と ChatGPT を使った 会議議事録を作成します。

月に何回もある委員会や会議・・・

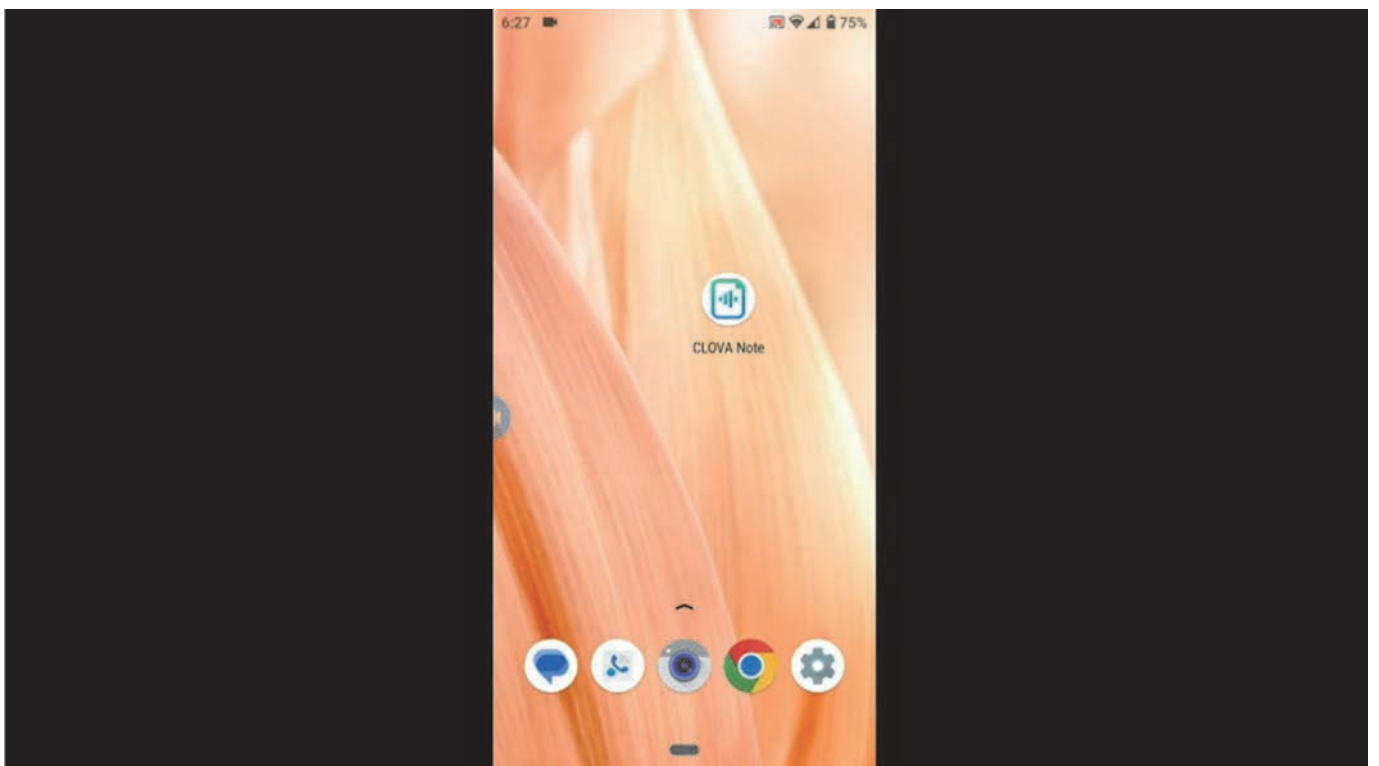
その都度必要な会議録。当番制にしてる施設も多いと思います。

それにより、完成が早い、遅い

文章が上手い、下手

内容が十分、不十分など

属人的な業務の改善が可能です。



その作業・・・**外注**しませんか？？

①経理&労務管理 編

経営者を支えるMFと外部サポートの力

経理、労務管理など日々の業務に事務員の時間が使われていく・・・

それが「当たり前」と思っていないですか？

そして、事務員が辞めれば、また1から指導して・・・

事務員が**経営者の右腕、左腕**になってくれば、

経営者が**意思決定に集中**でき、**より良いパフォーマンス**が発揮できるのに・・・

その作業・・・**外注**しませんか？？

①経理&労務管理 編

経営者を支えるMFと外部サポートの力

弊社は、経理、労務管理業務でMFを使った**DXサポート**を、
税理士・社労士業務を**ワンストップ**で行える

タスキー株式会社

様からサポートを受けています。

経営者が**意思決定（本業）**に集中できる環境ができます。

私の考え方とタスキー様の理念が一致しているので、契約させて頂きました。

すべて**オンライン**でミーティング等を行っています。オンラインで全く問題ありません。

その作業・・・**外注**しませんか？？

①経理&労務管理 編

経営者を支えるMFと外部サポートの力



その作業・・・**外注**しませんか？？

①経理&労務管理 編

経営者を支えるMFと外部サポートの力

（青色）事務職員の実務

（赤色）その他

ざっくりとしたイメージ <勤怠・給与計算 編>



その作業・・・**外注**しませんか？？

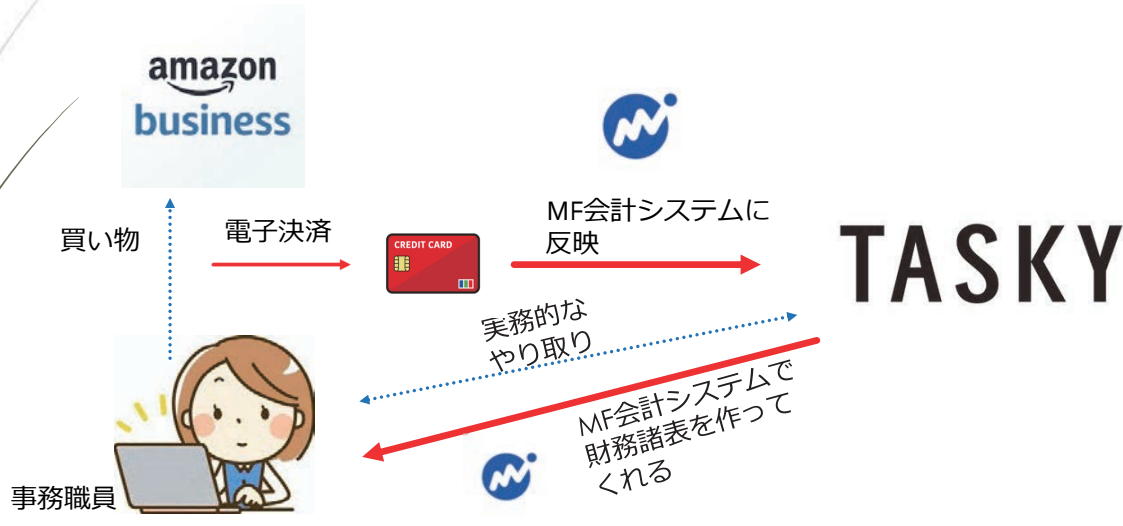
①経理&労務管理 編

経営者を支えるMFと外部サポートの力

ざっくりとしたイメージ <会計 編>

（青色）事務職員の実務

（赤色）その他



その作業・・・**外注**しませんか？？

②薬もぎり 編

看護師の薬もぎりからの解放



利用者様の**薬をもぎる作業**。 朝、昼、夕、寝る前・・・

この業務に時間を奪われている**看護師**はいませんか？

これが無ければもっと利用者様のケア **（本業）** に時間が使えるのに・・・

その作業・・・**外注**しませんか？？

②薬もぎり 編

看護師の薬もぎりからの解放

その作業、してくれる薬局ありますよ！

居宅療養管理指導等サービス

薬局と利用者様の契約で、10人以上の建物で342円

(介護保険適用 1割負担の場合)

こんな感じで持ってきてくれます。

全国展開してます

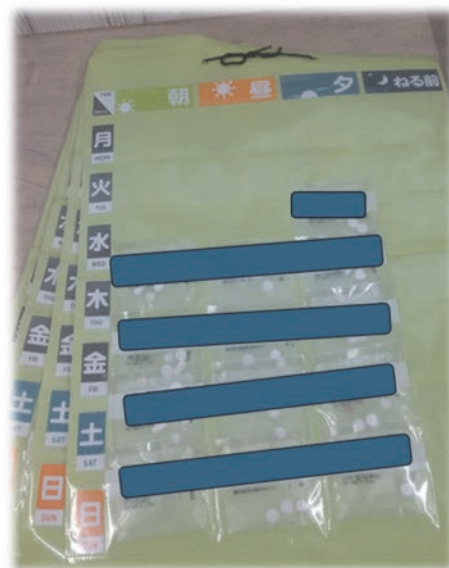
弊社は



様を

ご利用しています。

これにより、看護師は**“薬もぎり”から解放**されます。



まとめ

①Xデーの対策

労働人口の減少で、マンパワーには頼れなくなる日は、訪れます。
今からしっかり**進化の準備**をしておく必要があります！

②経営者、施設長一人で悩まない事

これは、一人で何とかできる問題ではありません。**チーム作成から**始めてみましょう！

③5つの“て”を無くそう！

“て”を無くして進化しよう！

④外部委託も考えてみよう！

全部、自分たちでやらずに、本業に集中させる環境を作ることが、利用者様のケアに直結します。



さいごに

この20分という時間では、伝えきれなかった部分が、かなり多いです。

導入したいけど、何から手を付けていいの・・・

実際に何を？スマホ？PC？ どう用意すればいいの・・・

不安を感じている方も多いと思います。



さいごに

そもそも私自身、10年以上、介護事業にいましたので、テクノロジーの導入の難しさ・一人で挑む厳しさも理解しております。

だから自分が独立した際に、**真っ先に行ったのが、テクノロジーの導入**です。

これからの時代、テクノロジーを使い、**ケアに集中する時間を作る**。

それが、利用者様、職員を幸せにするための近道です。

口癖のように「人がいない、人がいない・・・」と言っていました。

それでは、**何も生まれません**でした。

マンパワーにはいずれ限界がくる・・・

そう思ってテクノロジーの導入に力をいれています。

さいごに・・・

株式会社プレイフルは、

“関わる全てのひとを幸せにし、この業界の地位をぶち上げる”
それが存在意義です。

この業界の地位をぶち上げるために、全国の医療福祉施設の
“デジタルを使う力”の底上げが必須と考えています。

この令和の時代、ものすごい勢いで変化しています。

進化が必要な時です。

さいごに・・・

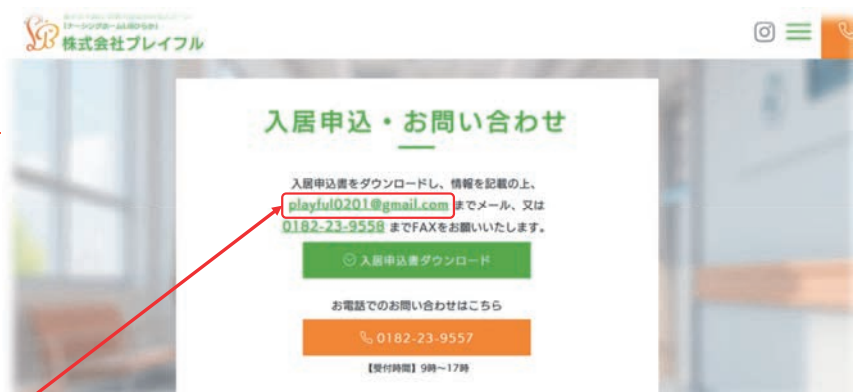
詳細など、聞きたい方は、
弊社のメールアドレス

playful0201@gmail.com

にご連絡ください。

「秋田県 プレイフル」

で検索するとホームページが出てきます。
そちらにもメールアドレスの記載あります。





最後までご視聴ありがとうございました

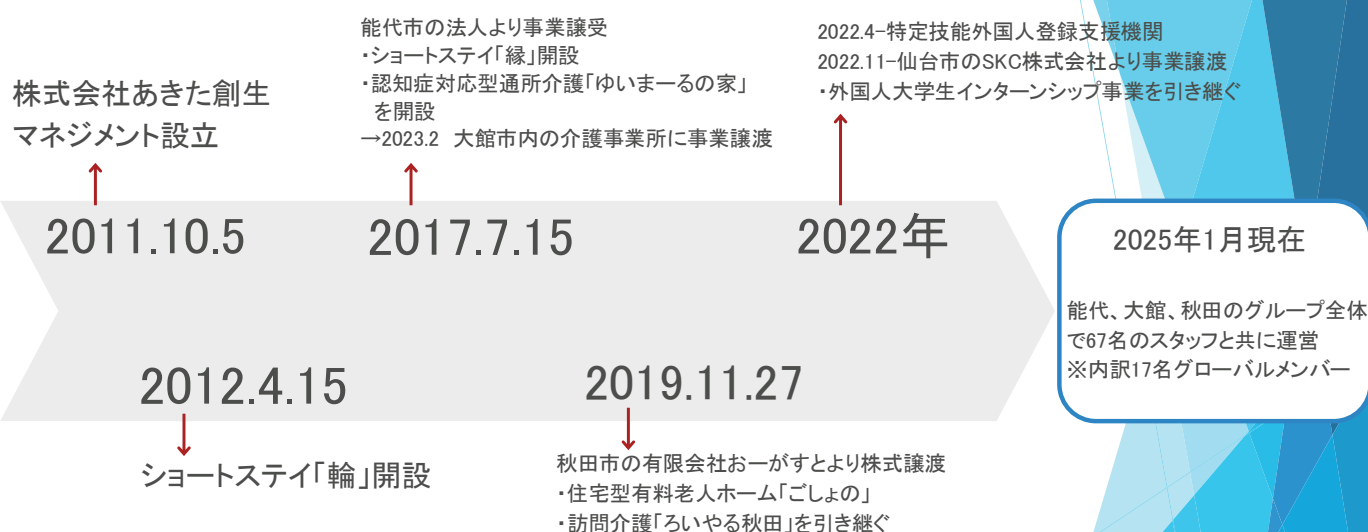
人口減少社会に介護経営をリデザイン！ 『業務棚卸』をキーワードに 介護現場のDX化を推進する

株式会社あきた創生マネジメント
代表取締役 阿波野聖一



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

これまでの歩み



2021年を期にロゴの変更



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.



背景

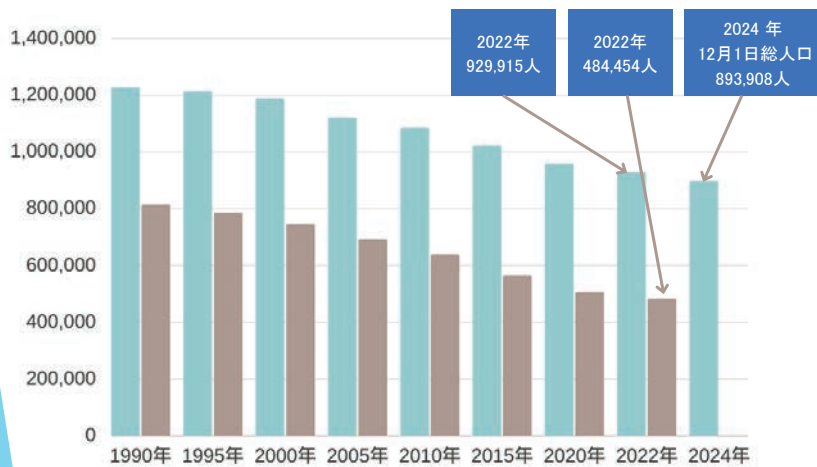
© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

背景

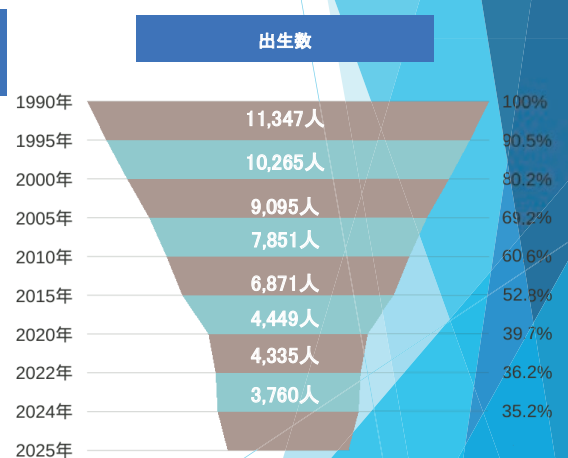
秋田県の労働人口の推移と出生数

(単位:万人)

● 秋田県の総人口 ● 秋田県の労働人口(15~64歳)



参考資料: 美の国あきたネット
秋田県公式ホームページより



出生数
3,366人 (R5/10-R6/9)

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

地域医療情報システム 能代市

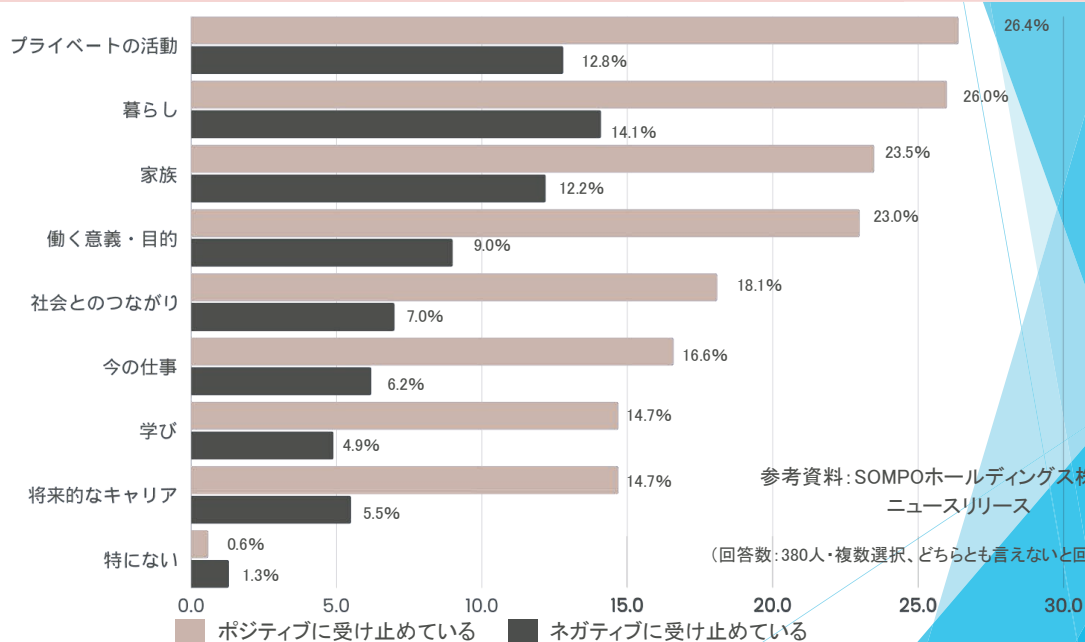
高齢者人口は2020年でピークを迎え、後期高齢者人口は2030年でピークを迎え
2035年には高齢者人口が生産年齢人口を超える

年齢階層		国勢調査	将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 2023年12月推計)					
		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	年少人口 (0～14歳)	4,231	3,151	2,474	2,012	1,796	1,574	1,325
	生産年齢人口1 (15～39歳)	8,506	7,055	6,133	5,454	4,446	3,621	2,799
	生産年齢人口2 (40～64歳)	16,456	14,715	13,021	11,180	9,460	7,830	6,801
	高齢者人口 (65歳以上)	20,775	19,827	18,625	17,475	16,498	15,456	14,048
	後期高齢者人口 (75歳以上＝再掲)	11,476	12,054	12,087	11,466	10,623	9,830	9,296
総人口		49,968	44,748	40,253	36,121	32,200	28,481	24,973

注目：生産人口と高齢者人口が逆転している

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

Q コロナ禍での働き方により、何を前よりも重視したいと思うようになりましたか？

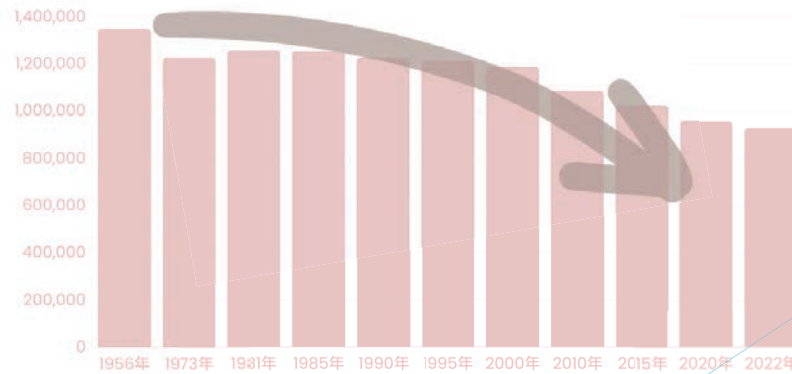


© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.



キーワード

人口推移と価値観変容



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

株式会社あきた創生マネジメントの取り組みをAIで集約

Genspark

▶株式会社あきた創生マネジメントは、人口減少と少子高齢化に対応するため、多様な人材を受け入れる環境を整備しています。その一環として、業務を「棚卸」し、業務内容を可視化して時間ごと、月ごと、年ごとに細分化しています。業務は人手とテクノロジーに分けられ、さらに人手の部分も細分化し、アウトソーシング可能な部分を明確にしています。特に海外人材が理解しやすいようにICTツールを活用し、効率的な翻訳や教育、コミュニケーションを促進しています。また、テクノロジーを活用して介護業務の効率化や事務スタッフの生産性向上を図り、テレワークやリモートワーク、フレキシブルな勤務形態を推進しています。

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

はじめに

- 株式会社あきた創生マネジメントは、人口減少と少子高齢化に対応するため、多様な人材を受け入れる環境を整備しています。
- 業務を棚卸しし、業務内容を可視化して時間ごと、月ごと、年ごとに細分化しています。

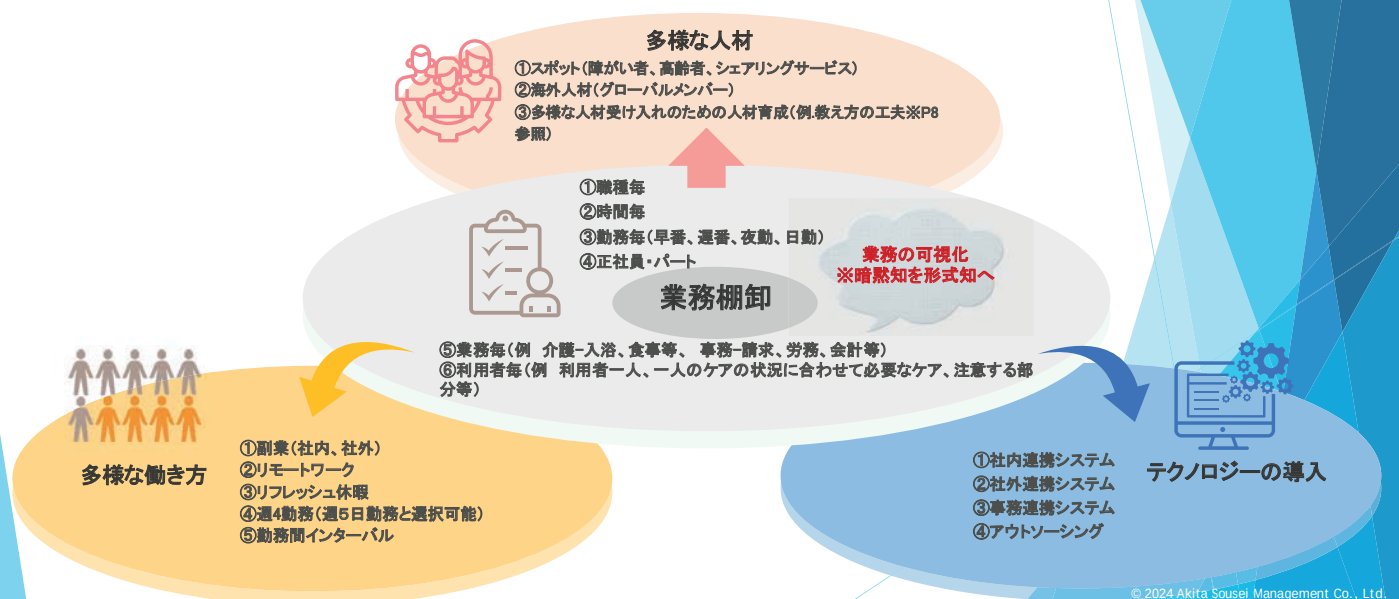
5つのキーワード

- ✓ 関係・キッカケづくり
- ✓ 多様な働き方
- ✓ テクノロジーの活用
- ✓ グローバルメンバー
- ✓ 情報発信



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

業務棚卸図(概要の考え方)



プロジェクト詳細 多様な人材(関係人口)



すきま時間を活用して働きたい人と、
人手を必要としている介護施設を
マッチングするサービス

オンラインMTGツール「zoom」
を活用して、未来の介護について
語り合う機会を定期的開催

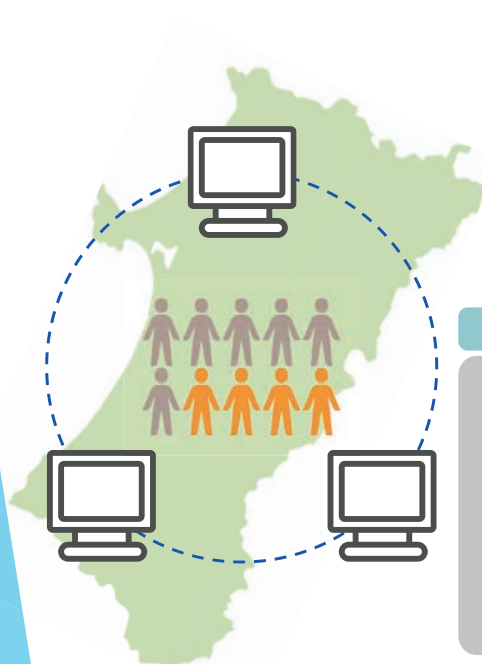


2022年10月、11月全国に遠征スケッターを呼びかけ！！

コロナの残務処理にて遠征スケッター(26名)を
活用してお手伝い

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

プロジェクト詳細 多様な働き方



人口減少が進む地方だからこそ、これまでの雇用関係に縛られず
副業やリモートワークが可能にすることや多様な働き方を取り入れ
る必要。

内容は

副業とリモートワーク

- ①社内での副業を『社内パラレルキャリア』
- ②社外での副業を『社外チャレンジワーク』
- ・リモートワーク

- ・リフレッシュ休暇
- ・週4勤務(週5日勤務と選択制)
- ・勤務間インターバル

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

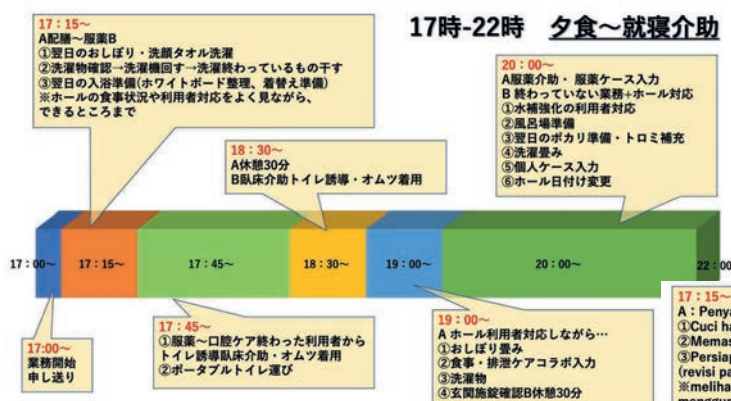
プロジェクト詳細 テクノロジーの導入

	システム名	特徴
社内連携	carecol Labo	利用者の生活の様子をスタッフと家族で共有
	Happiness	マットレスの下にセンサーをセット体の異常をキャッチ
	LINE WORKS	チャット、掲示板、カレンダーで仕事の効率アップ
	BONX WORK	話しかけたタイミングでのみ相手と通信
社外連携	Doctor Mate	医療相談 現役医師がオンラインでアドバイス
	HELP YOU	バックオフィス等のオンラインアウトソーシング
事務	KING TIME	従業員の打刻データをリアルタイムで確認
	Drop Box	資料、写真動画ファイルを複数人をネット上で共有
	freee	正確な記帳、計算、大幅時間削減会計状況をリアルタイム確認



© 2024 Akita Sousai Management Co., Ltd.

プロジェクト詳細 教え方の工夫(海外人材用)タイムテーブル



時間軸で業務内容を切り分け(業務分解)、可視化することで、目で見えてわかり易く、短い文章で書くことで翻訳もし易く、海外人材にも伝わり易くなる。

Time Table



© 2024 Akita Sousai Management Co., Ltd.

取り組みの浸透のために プロジェクト導入前にすること

目的の共有と相談体制

災害等の有事に備えたリアルタイムな情報把握、共有とともに下記の目的のために使用する。

コミュニケーションの活性化



事業所間、事業所内タテ、ヨコのコミュニケーション活性化。

チーム内のコミュニケーションを密にして、チーム内の目的や目標を明確にし方向性を統一する

情報とノウハウの共有



会社からの情報や業務上のノウハウ共有

企業文化の浸透



会社のミッション・ビジョン・バリューの浸透

相談体制の整備



操作指導、確認

不安、不満等の感情の確認

その他、LINEWORKSを導入したことに関わることの確認

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

取り組みの浸透のために プロジェクト導入後にすること

ガイドラインの作成と内容

使用目的やルールを決める

ガイドラインの目次

- P2 LINEWORKSの使用目的
- P3 ガイドライン目次
- P4 就業前/就業後の使い方
- P5 休日の使い方
- P6 こんな時どうすれば
- P7 緊急とはどんな時...
- P8 個人スマホの使用について
- P9 こんな時どうすれば 個人スマホ、LINEWORKSの使用について
- P10 LINEWORKSを仕事に組み込む
- P11 こんな時どうすれば連絡についての前提と理解
- P12 注意・指導について
- P13～P18 LINEWORKSと他情報共有ツールとの線引き
- P19～P23 LINEWORKS参加してないスタッフへの対応

LINE WORKS

具体的な内容は...

就業前・就業後の使い方/
個人スマホでのLINEWORKSの使用についてなど

こんな時どうすれば？
仕事時のLINEWORKSの確認
は？ 仕事時仕事に関係ない連絡は？



就業前/就業後の使い方は？
就業前、終業後の通知は切ってもいい？

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

プロジェクトの成果やインパクト

プロジェクトの波及効果とインパクト

プロジェクトの波及効果とインパクト

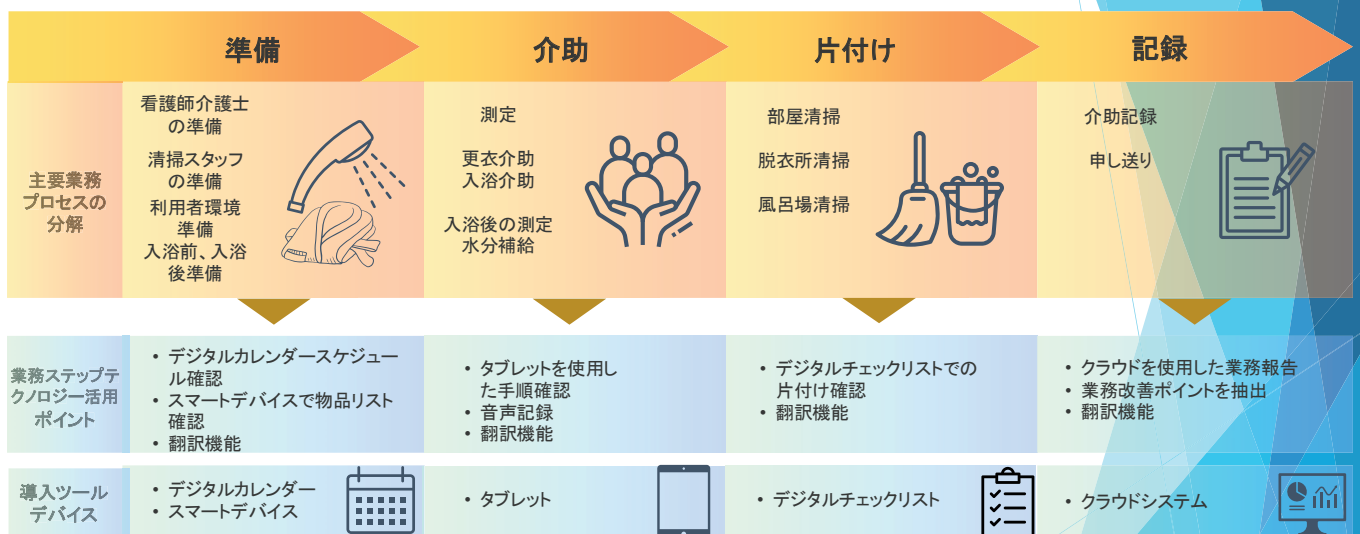


これらを実現させるためには各職種の業務の暗黙知を形式知へ業務を可視化し“業務棚卸”が必要不可欠

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

デジタル活用のポイント

業務棚卸とテクノロジー活用例 入浴介助



業務棚卸とテクノロジーの導入により、海外人材とのコミュニケーション、人材育成も円滑になり、介護現場で多様な人材の受け入れが促進されます。

© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

取り組みの成果や効果

▶労働力不足の解消:

副業制度やリモートワークを導入することで、多様な人材の確保が可能となり、特に地域で顕著な労働力不足に対応することができました。
※高齢者雇用4名、障がい者雇用3名、海外人材雇用17名(2023年1月末現在)



▶生産性の向上

ICTツールやテクノロジーの活用により、業務効率が向上し、スタッフの業務負担が軽減されました。また、業務棚卸によって業務内容の可視化・共有が進み、作業効率が向上しました。
※残業時間が事業所あたり月平均50時間(2018年度)の残業が5時間未満へ減少(2023年度実績)



▶従業員の働きやすさの向上

週休3日制やリフレッシュ休暇、勤務時間インターバルの導入により、ワークライフバランスが向上し、従業員の満足度やモチベーションが高まりました。2022年度以降、定着率は安定し、採用も十分できている。
※定着率 96.4%(2021年度実績)から、従業員定員の増加に転じ、103.8%(2022年度実績) 103.5%(2023年度実績)と、定着率は安定し、採用率も外国人雇用等の成果もあり増加となっています。



▶有給取得率(6日以上)35%(2020年実績)→95%(2023年度)

before



after



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.

私たちのビジョンマップ

私たちは業務棚卸を通して、介護現場の暗黙知を形式知に切り替え、可視化し、多様な人材を受け入れられる環境(多様な働き方、テクノロジー活用)創りし、この環境をベースにグローバル展開を目指していきます。



© 2024 Akita Sousei Management Co., Ltd.